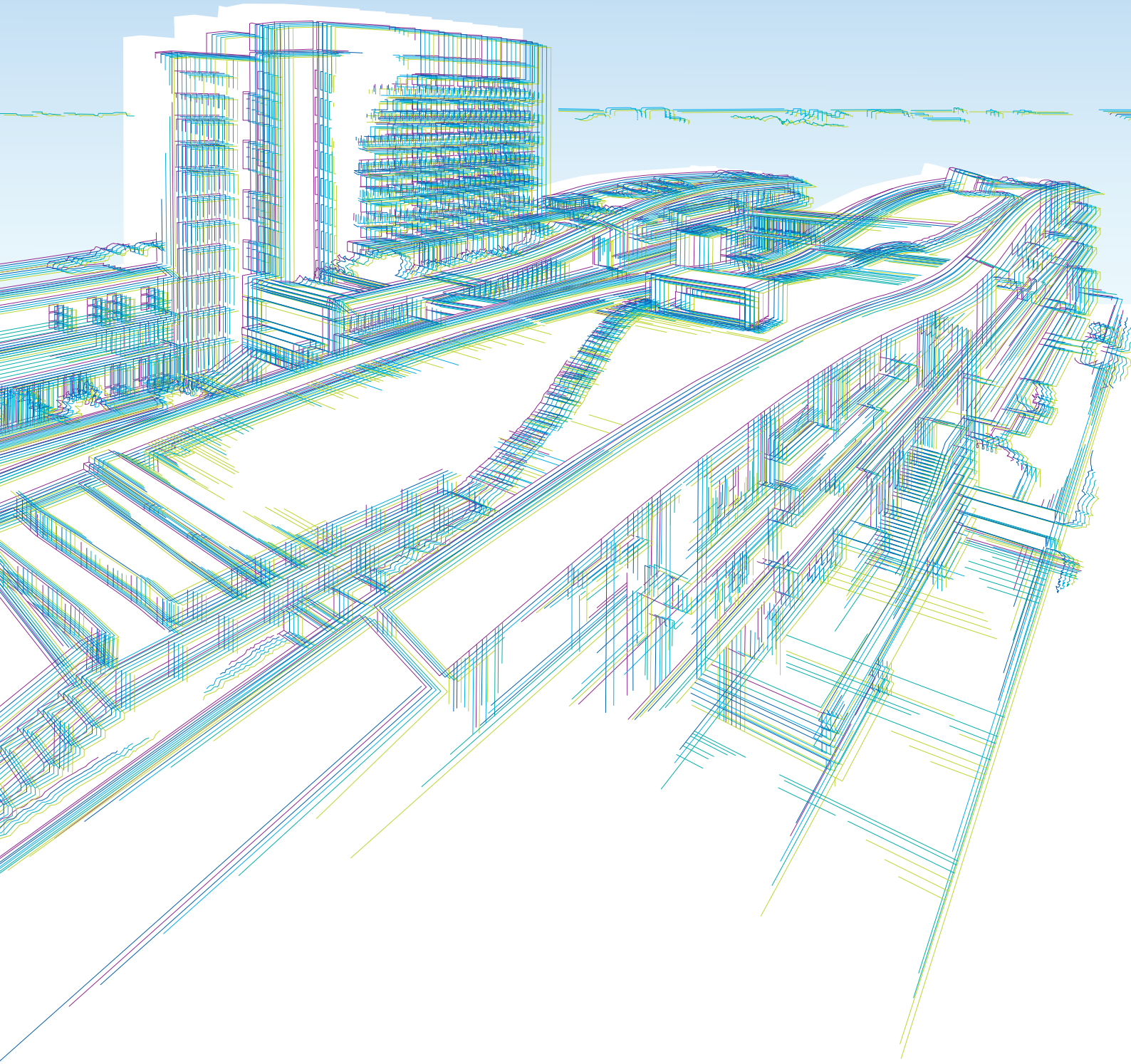


大学案内 _ SUAC 2025

公立 | 静岡文化芸術大学

文化政策学部・デザイン学部　　大学院／文化政策研究科・デザイン研究科

様々な要因が複雑に絡み合う世の中の事象や、
めまぐるしく変わる時代の中で、
自分の未来と向き合い、進んでいくために。
ジャンルやカテゴリーにとらわれず、
横断的に学び、交わり、共創する学びを始めよう。

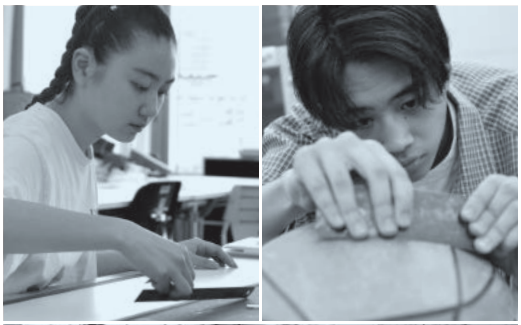
いろんな価値観や考え方、個性と出会い、体験する中で
新しい自分をみつける、越えていく。

Update

知と実践の力

複雑な社会課題に向き合う力をつける体系的な学びへ

▶▶▶ 2025年4月スタート 新カリキュラムの内容はp017



私たち［公立］静岡文化芸術大学は、こんな大学です。

大学名から「文化と芸術」に特化した「芸大」をイメージされたとしたら、実際は違います。いわゆる音楽家や画家を育てる大学ではありません。文化や芸術の学びを活かして、社会やビジネス領域での課題解決のための企画ができ、それを実現できる人を育てる大学です。この考えのもと、芸術と文化を社会に活かすマネジメントに比重を置くのが「文化政策学部」、デザインに比重を置くのが「デザイン学部」です。

静岡文化芸術大学が教育を進める上で、重きを置いているのが「知と実践の力」です。課題と向き合い、問いを立てる「知」の力と、リアルな現場の中で課題解決していく「実践」の力。これらを学びの両輪とし、自らを鍛えた多くの卒業生がここから巣立ち、国内外に活躍の場を広げています。

文化とデザインの力こそ

これからは、文化とデザインの時代です。

20世紀には、科学や技術がさまざまな分野で発達し、それぞれに大きな力を人類にもたらしました。

しかし全体として、人間社会を美しく輝かせたでしょうか。遠近の環境にも、次世代の人たちにも

ツケをまわすことのない、日々感動にみちた社会 —— じつは、そのような理想に近づくのは、

これから先のことなのです。

この大きな課題は、地域でも、地球規模でも、さまざまなかたちで膨らんでいます。

それらに前向きにとり組める人とは、文化の力、デザインの力への豊かな感性を持ち、

それらの力を有効に働かせる知性と技能を、現場で発揮できる人です。

静岡文化芸術大学は、このような人を育てたいと、24年前、

今世紀の幕がまもなく開こうとする時に開学しました。

しだいに諸外国にも知られ、才能ある人たちが遠近からつどい、対話を重ねつつ学んでいます ——

そう、数々の創造者を生み出した稀有の地、浜松の歴史と風土に思いをめぐらせつつ。

皆さん、まずはこの一冊をご覧ください。

静岡文化芸術大学　学長

横山俊夫

私たちはこのような大学を目指します

実務型の人材を養成する大学

豊かな人間性と的確な時代認識や社会認識を持ち、
国際社会の様々な分野で活躍できる人材を養成する。

社会に貢献する大学

地域、国際、世代が教育研究の場で幅広く融合する
「開かれた大学」として地域社会や国際社会の発展に貢献する。

目次

001 知と実践の力
003 学長挨拶
005 巻頭特集 知と実践の力
017 新カリキュラム
021 アドミッション・ポリシー
022 学部・学科の構成
023 **文化政策学部**
025 国際文化学科
031 文化政策学科
037 芸術文化学科
043 文明観光学コース
044 オプショナル・スタディーズ
045 文化政策学部教員紹介
047 **デザイン学部**
049 デザイン学科
053 匠・プロダクト系
055 メディア系
057 建築・環境系
061 工房紹介
065 デザイン学部教員紹介
067 教育・研究を支える3つのセンター
068 **大学院**
069 文化政策研究科
071 デザイン研究科
073 キャリアサポート
078 国際交流
081 キャンパスライフ in SUAC
089 学費・学生支援制度
090 **カリキュラム一覧**
097 入試情報

巻頭特集

知と実践の力 1 学びのキーワード

国際交流 × SUAC

p005 SUACから世界へ 世界からSUACへ

地域貢献 × SUAC

p007 心温まる映像作品で病院のクリスマスを演出

2学部の協働 × SUAC

p009 持続可能な社会をつくる知恵とデザイン

知と実践の力 2 学びの現場

未来の行政 × SUAC

p011 特別誌面講義【文化政策学部編】／田中 啓 教授
公務員の「これから」を考察する

価値の創造 × SUAC

p012 特別誌面講義【デザイン学部編】／高山 靖子 教授
社会は共創するデザインを待っている

知と実践の力 3 学びのその先へ

卒業生の活躍 × SUAC

p013 卒業生からのメッセージ

国際交流 × SUAC

To the World ⟫ From the World

SUACから世界へ 世界からSUACへ

世界を肌で感じる交換留学のススメ

長期休暇を利用して語学研修やデザインサマースクールに参加したり、休学して１年間の長期留学に挑戦したりと、留学のスタイルは人それぞれ。留学先では様々な活動やプログラムに参加し、コミュニケーション力や語学力、プレゼンテーション力を磨いています。現地の生活や文化を肌で感じ、体験することで得られる学びは、人生の糧となるはずです。

文化や国籍を超える新しい学びと出会い。交換留学で広がる世界

Perla Chamoun ペルラ・シャムン
BESIGN The Sustainable Design School
（フランス）３年

篠田泰成
デザイン学科３年
岐阜県立岐阜工業高校出身

日本語が通じない環境で価値観もグローバルに成長

ＳＵＡＣデザイン学科の篠田さんは、日本の常識が通用しない異文化に身を置き、何かを作り上げてみたいという思いから、海外協定校のＢＥＳＩＧＮへ１年間、留学しました。印象に残っている授業は、ＢＥＳＩＧＮが提携している企業とのパートナーシッププログラム。「デザインアプローチが企業的なビジネス視点であることがＳＵＡＣと大きく違う点で、面白く勉強になりました」。留学中は英語で授業や課題に取り組む必要があるため、篠田さんの英語力や適応力は飛躍的に向上。グローバルな価値観も身についたといいます。「帰国後すぐ、外資系広告代理店の長期インターンに参加したのですが、海外を視野に入れた就職活動は、留学経験がなければありえなかったと思います」。旅行者としてではなく、現地に住み、現地の人と関わることで初めて分かるものがあることを実感した篠田さん。「知るだけではなく理解する。見るだけではなく体験する。世界を肌で感じてみてください」。

世界各国から集まる留学生ＳＵＡＣで学び、交流する日々

ＳＵＡＣでは日本人学生や多様なバックグラウンドを持つ学生、外国人留学生が共に学んでいます。フランスのデザイン系大学ＢＥＳＩＧＮからの交換留学生ペルラさんは、デザイン学科の学生と共に、専攻している建築系を中心に、彫金、モックアップなど、ものづくり系の授業に加え、写真や映像メディアなど新たな分野も学んでいます。「留学前は不安もありましたが、授業では先生が英語の資料を用意してくれたり、周りの学生がサポートしてくれたり。フレンドリーな環境に助けられています」。ペルラさんをはじめ外国人留学生との交流は、ＳＵＡＣ生にとっても語学力の向上や積極性、多文化を理解する機会にもなっています。「言語や文化が異なる新しい環境に身を置き過ごした日々は、学問だけでなく個人的にも成長でき、一生の宝物。ＳＵＡＣで学んだデザインの新しいテクニックや新しいアプローチ、新しい視点はフランスに帰国後も活かせると思います。留学したいと考えているなら、吸収力のあるうちに挑戦してみてください」。

世界とつながる国際交流様々なスタイルでサポート

ＳＵＡＣでは「国際社会に貢献する開かれた大学」の実現に向けて、海外の多様な大学と提携を結び、グローバルに活躍できる人材の育成を目指しています。留学中に修得した単位がＳＵＡＣでの修得単位として認められる長期の交換留学や、春季・冬季の休暇を利用して、現地で外国語や海外文化に接することができる短期の語学研修や文化体験プログラムなど、様々な留学制度によるサポートでグローバルな視点を持つ人づくりに取り組んでいます。

Pick Up

留学した先輩たちの声をまとめました！「留学 SUAC VOICE」

SUAC では、留学体験者の声を取材した「留学 SUAC VOICE」をこの春発刊。留学を考える学生に役立つ情報を発信しています。公式 Web サイトでも、先輩たちの留学レポートを紹介する「留学近況レポート」や、先輩が留学体験を動画で語る「留学体験談」など、リアルな情報を届ける体制を整えています。

SUACの特色

世界に広がる留学先 留学支援制度も充実

静岡文化芸術大学には、短期留学（長期休暇を利用した語学研修やデザインサマースクール等）から長期留学（１学期以上の海外協定校への交換留学・交流留学）まで、豊富な留学プログラムが用意されています。また、本学学生の留学支援のための奨学金制度や留学生活をサポートする危機管理サービスも用意。海外からの留学生への支援制度もあります。

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

地域貢献 × SUAC

Christmas Present from SUAC

心温まる映像作品で病院のクリスマスを演出

SUAC × 浜松医科大学医学部附属病院

リニューアルされた病院の中庭に集まったのは、入院する患者とその家族や職員の皆さん。温かい飲み物が提供され、和やかな雰囲気でイベントが始まりました。
学生が制作した映像作品の投影をはじめ、クリスマスソングの演奏が行われ、その様子は SUAC にも生配信。教職員も一緒にクリスマスのひと時を共に過ごしました。

映像の力で夢や癒しを。地域とつながるプロジェクト

片岡愛果
デザイン学科３年
大阪府立和泉高校出身

入院中の大人も子どもも クリスマスを楽しめる映像を

儀村克郎教授（デザイン学部）を中心に連携を進めている浜松医科大学病院。入院中の患者や家族が憩える病院中庭リニューアルの完成を控え、クリスマスに開催される完成イベントで「クリスマスの雰囲気を感じてもらう演出をしてほしい」という依頼がＳＵＡＣに。中庭ウッドデッキから建物と空間を彩る映像作品を制作しました。作品を制作したデザイン学科３年の片岡さんは、映像学や映像技術を専門とする百束准教授のゼミ生。映像制作を学ぶ中で、モーショングラフィックに興味があり、地域と密に関わる実践的な経験ができることにも魅力を感じ、プロジェクトに参加しました。入院中の子どもたちに楽しんでもらう空間をつくることを目的に、絵コンテの提案から先方とのすり合わせ、映像制作までを担当。当初の予定よりも制作期間が短縮され、タイトなスケジュールの中で作業を進め、無事に完成。クリスマスに上映することができました。

学んだ知識や技術を使い 地域や人々の力になる表現を

クリスマスを病院で過ごす人々のために、デザインでできることは何か？「具体的な場所とターゲットがある作品づくりは初めてで、授業では得られない体験ができました」という片岡さん。ゆったりと落ち着いて観られる映像を意識し、目に優しい色使いを心がけました。サンタクロースのそりが夜空を駆け抜けると、街の家並みに一軒ずつ灯りが点いていくという５分間の作品を提案。ループ再生を考慮し「映像を途中までしか観られない場合や、途中から見た場合でも、理解できる構成を目指しました」。サンタクロースのイラストは仲間のゼミ生が担当し、それ以外のイラスト、パーティクル素材、アニメーション、エンドロールは片岡さんが制作。「絵コンテの制作など授業で学んだことをベースに、現場での臨機応変な対応など身をもって経験できました。多くの人の目に触れる作品を制作できたことにやりがいを感じ、もっといろいろな作品をつくりたいと思う機会になりました」。

地域と一体となり未来をつくる 実践的な力を身につける

イベント当日は百束ゼミの先輩たちが駆けつけ、病院とＳＵＡＣをつなぐ生配信を行い、感動の瞬間を共有しました。ＳＵＡＣでは、地域や自治体、企業など社会とつながる多くのプロジェクトを展開しています。課題を解決したり、人を楽しませたり、暮らしをアップデートしたりするデザインの力、社会での実践力は、これからの社会にますます求められる力です。キャンパスから地域へ、世界へ、羽ばたける人材を育てます。

Pick Up

地域とつながる自分をみつける

学生が地元遊園地の周年事業をプロデュース

SUAC には専門的な知識やスキルを社会に活かす機会が用意されています。「地域連携演習」をはじめとした演習科目や、ゼミ単位での地域課題への取り組み、社会調査、フィールドワークなど、産学官と連携しながら学外にも豊かな学びの場が広がっています。それらの活動を通して学生は実践力を身につけるとともに、社会に出てからの自分の将来像を見つめ、さらなる学びへと発展させています。

SUACの特色

産学官連携を通じて、社会に役立つ人材を育む

「社会に貢献する大学」を基本理念の一つに掲げるＳＵＡＣには、教員の専門知識や学生の若い感性を求め、企業や行政などから共同研究、受託研究、受託事業という形で依頼を数多くいただきます。教員の指導のもと、学生たちはプロジェクトに取り組むことで視野や興味関心が広がり、さらに深い学びへと発展させます。

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

2学部の協働 × SUAC

Sustainable Design for Our Future

持続可能な社会をつくる知恵とデザイン

静岡県ものづくり文化展 ー浜松100年企業の世界ー

日本の企業は「長生き・長寿」と言われますが、浜松市内・近郊には 100 年の長きにわたって活動している「老舗企業」が多く存在します。その技や製品、知見を伝える展示「静岡県ものづくり文化展」を SUAC で開催。展示会場には企業を長く続ける秘訣を探った調査内容をまとめたパネルを展示し、各企業から貴重な製品が出展されました。

変えない“強さ”、変えていく“勇気”。百年企業から見えたこと、学んだこと

林　鈴菜（右）
デザイン学科４年
愛知県立国府高校出身

鈴木姫蘭（左）
文化政策学科３年
静岡県立浜名高校出身

SUACの特色

文化政策×デザイン 学部・学科・学年を越える

SUAC生たちは、学部や学科、学年の枠を超えて、様々な企画やプロジェクトに取り組んでいます。実践演習のような授業としてのプログラムはもちろん、学生たちが自主的に活動するユニットが多いのもSUACの特長です。様々な協働を通して、自分とは違う感性に触れ、今まで知らなかった考え方に出会う創造的な学びが待っています。

初めてのフィールドワーク デザイン学部生の挑戦

2023年12月、学内ギャラリーにおいて、浜松市近辺で百年近く活動している企業について、その技や製品を紹介し、知見を伝える展示会が開催されました。企業の開発担当者や職人の方々に学生が聞き取りを行い、その内容をまとめたパネルを展示。文化政策とデザインの両学部の学生たちが協働して取り組みました。日本で唯一の製法、伝統の木桶熟成で看板商品の「トリイソース」造りを続ける、鳥居食品株式会社を訪問したデザイン学部4年の林さんは、調査のための企業訪問は初めての体験。社長からの「ソースの量り売りという売り方自体を工夫・デザインしたい」という言葉をヒントに、SDGsの取り組みにもつながる展開としてパネルを制作し、読みやすさ、分かりやすさを考慮してQ&A形式にまとめました。ベテラン職人が一人で担ってきた工程を、社員で共有できるようにマニュアル化した取り組みも新鮮で、「伝統を受け継ぐためには、時代に合わせた進化が必要であることに気づくことができました」。

デザインの視点にも着目 文化政策学部生の気づき

文化政策学部3年の鈴木さんは、カンパンや源氏パイで知られる三立製菓株式会社を訪問。企業概要や代表的な商品の説明を受けたあとで、事前に用意した質問シートを手に2度目の訪問。ゼミ活動で学んだフィールドワークの手法を実践します。着目する商品を「チョコバット」に絞り、技術者に取材しました。長い歴史で培った独自の技術はもちろん、パッケージの変遷についても話が膨らみ、展示内容に盛り込むことに。「変わらない“安心や満足が長年愛される商品につながっていると感じました。経営の話、技術の話に加え、デザイン面にも着目でき面白かったです」。今回の取り組みで、二人が共通して感じたことは「お客様への想い」と「感動」「熱量」というキーワード。お客様ファーストのものづくりを大前提に、全国展開を目指して企業を拡大していくことよりも、地元の素材を使い、地元に根ざした企業であり続けたい願う想いの強さに、新たな発見と驚きがあったようです。

学科の枠を越えて交流し 体験を通して理解を深める

今回の取り組みは、学生たちの学びと発表の場となると同時に、地域の方々に企業の魅力を伝え広げる機会となりました。SUACでは、学部や学科、学年を越えて、共通の課題に取り組むプロジェクトや教育プログラムを豊富に用意しています。専門分野だけにとらわれず、目的や価値観を共有しながら、文化政策とデザインという異なる学部の学生たちが、それぞれの視点で同じテーマに取り組み、刺激し合い、共鳴し合える場があることはSUACの強みとなっています。

Column

ものづくりのまち 浜松

静岡県浜松市でよく聞くキーワード「やらまいか精神」。“何事もまずはやってみよう”という気質のことで、浜松市の産業発展を支えました。1926年、浜松市出身の高柳健次郎は、世界初のブラウン管を使ったテレビ実験に成功。総合楽器音響メーカーのYAMAHAも、創業者山葉寅楠が1台の壊れたオルガンの修理をきっかけにして創業しました。自動車メーカーHONDAの創業者本田宗一郎は浜松の小さな町工場から事業をスタートしています。SUACのある浜松市は、世界を舞台に活躍する大企業が立地するとともに、高度で独自性を持つ技術を有する中小・ベンチャー企業が集積する有数の産業集積都市。産学官連携を通じて、豊かなフィールドを活かした学びを深めていきます。

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

未来の行政 × SUAC

特別誌面講義 文化政策学部編【科目／行政学】

公務員の「これから」を考察する

少人数のゼミ演習では、行政に関するテーマについて議論

静岡県議会本会議の傍聴や議員との意見交換会を実施

文化政策学科の「行政学」という科目では、中心的なテーマとして「公務員」を取り上げます。公務員とは、いわゆる役所に勤務する人を指しますが、国の行政機関（中央府省）に勤める国家公務員と地方自治体に勤務する地方公務員に大別されます。2023 年度時点の公務員数は 339 万人であり、内訳は国家公務員が 59万人、地方公務員は 280万人となっています。意外かもしれませんが、日本の公務員数は先進国の中では際立って少ない部類に属しており、全就業者数に占める公務員数の割合は、OECD 加盟国平均の３分の１程度に過ぎません。

公務員は、雇用や給与が安定していることや、国や地域への貢献につながる仕事に関わることができることから、大学卒業後の就職先として長らく高い人気を維持してきました。しかし近年は、職場の高残業体質や民間企業と比較した給与水準の低さなどから、その人気に陰りが生じています。とはいうものの、文化政策学科の学生の間では、卒業後の進路として公務員人気は依然として根強く、私のゼミからも毎年のように何人かの学生が公務員になる道を選んでいます。

行政学で公務員を中心テーマとして取り上げるのは、公務員が極めて重要な役割を果たしているからです。中央府省や自治体は、社会の問題を解決し、人々がより幸福になるために様々な政策を立案し、実施しています。政策を立案するのは、政治家（首相、閣僚、国会議員、首長、地方議員）の役割です。そして、政治家が立案した政策を実行に移すのは、中央府省や自治体の職員、すなわち公務員の役割です。

政治家がどんなに理想的な政策をつくっても、公務員がその政策を適切に実行しない限り、その政策は社会に対して何の効果ももたらしません。公務員に求められるのは、政治家の意図を汲んだ上で、政策を実行可能でかつ有効性の高い計画に落とし込み、さらにその計画に基づいて政策を着実に実施することです。

社会を取り巻く環境が大きく変化し、解決すべき社会問題が複雑化する中で、公務員がこうした仕事を首尾よくやり遂げるのは、以前とは比較にならないほど難しくなっています。これに伴い、公務員のあり方にも変化が求められています。

行政といえば、かつては変化に取り残されるものの代名詞でしたが、ようやく変化の兆しが現れています。例えば、2021年９月に発足したデジタル庁は、約千人の職員の半数を民間出身者が占めており、勤務形態や仕事のスタイルも、従来の中央府省とは一線を画した方式を採用しています。また、中央府省であれ自治体であれ、今や行政が単独で政策を実施する機会は少なくなっており、他の行政機関や企業、NPO 等と連携して、政策の実施に取り組むことが当たり前になっています。

社会の変化に即して公務員のあり方は変貌を遂げつつあります。公務員についての理解が深まれば、公務員が果たすことのできる役割の可能性と限界も見えてくるはずです。

文化政策学部 文化政策学科
田中 啓 教授
行政学／政策評価・行政評価

米国生まれ福井市育ち。専門領域は政策評価や行政改革。行政機関が有効に機能するための組織や業務のあり方や、政策評価について研究している。主な著作は『自治体評価の戦略 - 有効に機能させるための 16 の原則』（東洋経済新報社、2014 年）等。

変化のめまぐるしい社会において、公務員が取り組む社会課題も複合化・多様化していることから、民間の活力やノウハウを積極的に取り入れたり、産学官民をはじめとしてあらゆる社会主体との連携を強化したり等、社会変化を鋭敏に捉え柔軟に計画・施策を構想し有効に実現していく力が公務員に求められていると考えました。

太田ほの香　文化政策学科３年　浜松市立高校出身

価値の創造 × SUAC

特別誌面講義 デザイン学部編【**科目／プロダクトデザインプロセス**】

社会は共創するデザインを待っている

アイデアスケッチやプロトタイプの制作を繰り返しデザインを練り上げていく

日本とトルコの学生たちが混成チームを作り一つの課題に取り組むワークショップ

みなさん、プロダクトデザイナーになるためには、何が必要だと思いますか？　絵を描くテクニックでしょうか？　美しいスタイリングを創り出すセンスでしょうか？　もちろん、それらは大切な能力の一つですが、他にも多様な能力が必要です。

プロダクトデザイナーがデザインする対象は多くの人が使う製品ですから、多くの人に影響を与えます。製品は、人々の暮らしを創り、社会を変え、やがて文化を形成していきます。そのデザインを生み出す仕事には責任が伴いますから、まずは人を、社会の動きを、地球環境を十分に考えデザインという行為に臨まなくてはなりません。使う人が日本人でなければ、使われる国の風習や文化を理解し、環境や歴史を含めて、その人の気持ちの動きやそれに影響を与える要因をとらえるのです。このような役割を果たす製品をデザインする時には、もはやモノそのものだけではなく、サービスやそのシステムも同時に考える時代になりました。

そのためのプロセスでは、 調査（市場・環境・技術背景等）▶分析▶コンセプト立案▶具現化するアイデアの創出▶プロトタイプの制作▶検証▶詳細なデザイン設計▶量産のための設計▶プロモーション▶販売▶検証を繰り返します。製品の条件によっては、プロセスの途中から出発することもありますし、途中から遡ることもあります。アイデアは様々な段階で生まれ、様々な事象と結びつき、様々に展開するからです。調査からコンセプト立案に至るまでには、課題解決だけでなく、顕在化していない課題を発見することも大切です。過去には、外観にエステティック（審美的）なデザインを施すのがデザイナーの仕事と誤解されていた時期もありましたが、近年は課題発見や解決方法を見出し、それを具現化する計画立案もデザインの仕事であることが理解されつつあります。一方、過去のエステティックに偏ったデザインの誤解を解くことに注力するあまり、この部分が忘れられがちになることもありますが、誰しも美しいものに心を奪われるように、エステティックは人の心を動かす機能を果たす重要な要素です。

このように述べると、全てを担うデザイナーになるのは大変そうですよね。しかも、劇的なスピードで変化し続ける社会では、全てを把握することなど至難の業です。こうした背景から、様々なジャンルで共創（コ・クリエイション）の取り組みが進んでいます。ユーザーと企業はもちろん、電機メーカーが化粧品メーカーと、自動車メーカーが医療関係者と、様々なステイクホルダー（利害関係者）が力を発揮して、新たな価値を創造するのです。

さて、みなさんは、この共創チームにどのようなメンバーとして参画しますか？　全て一人でできるなら、チームで創る必要はないですよね？　チームの一員として活躍できる自分のスキルをこれから磨いていきましょう。それは、何でも構いません。

高山 靖子 教授
プロダクト・サービスデザイン

愛知県出身。総合電機メーカーでデザイナーとして製品開発を経験した後、本学に着任。デザインマネジメント、グローバルデザイン教育を専門とし、トルコ・イズミル経済大学やワルシャワ美術大学との連携事業など、協定校との取り組みも推進する。

これから先、社会の中でデザイナーに求められる価値が変わっていくからこそ、時代やニーズに合わせて形態を変えて新しい価値を創造していくことが大切だと思いました。私もそんな共創メンバーの一員として活躍していけるよう、これからもたくさんの経験を積んでいきたいです。

岡田 夏奈　デザイン学科 3年　愛知県立豊橋東高校出身

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

卒業生の活躍 × SUAC

MESSAGE from GRADUATES

01

日本航空株式会社
客室乗務員
文化政策学部 国際文化学科卒業
飯田梨央奈 さん

03

株式会社共立
施設開発事業本部 企画課
文化政策学部 芸術文化学科卒業
藤巻嘉月 さん

05

株式会社日本テレビアート
ドラマ・映画部 デザイナー
デザイン学部 空間造形学科卒業
松浦なつみ さん

02

ローランド ディー.ジー.株式会社
コーポレート本部 役員秘書
文化政策学部 文化政策学科卒業
松下英里香 さん

04

三菱電機株式会社
統合デザイン研究所 デザイナー
デザイン学部 生産造形学科卒業
栗山大紀 さん

06

静岡県周智郡森町 地域おこし協力隊
デザイン学部 メディア造形学科卒業・デザイン研究科修了
松葉知香 さん

それぞれの思いを胸に、自分の道を進んでいる卒業生たち。
どのような学びを重ねてきたのか、そして今、どんな力を発揮しているのか。
先輩たちの「過去」と「今」を知ることが、あなたの「未来」につながっていく…。
自分が成長していくチャンスを見つける、道しるべにしてください。

”世界中の心を笑顔にする“ために
安全、快適、最高のサービスを
プロフェッショナルとして
届けたい

夢の実現 × SUAC

小学 3年生の頃から客室乗務員に憧れを抱き、目指してきました。コロナ禍の就職活動では思い通りにいかないこともありましたが、あきらめずに自己研鑽を続けて念願の客室乗務員になりました。現在は国内線に乗務しています。私たちの役割は、お客さまを安全に目的地までお運びし、乗務員が一つのチームとなって最高のおもてなしを提供することです。ちょっとした気づきと工夫とで、お客さまの心に残るサービスを目指しています。在学中は「英語模擬国連」で他大学の学生と英語で議論したり、学内でネイティブの先生方との会話を重ねたりと、語学力の向上に邁進しました。中国で1年間の交換留学に挑戦したことで習得した中国語は、現在も自分の強みになっています。ゼミ活動ではさまざまな企業の方々と交流し、視野を広げる経験になりました。何事にも挑戦できる環境が整っている SUAC は、自分次第で世界が広がり、価値観を大きく変えることができる大学です。今後の目標は国際線に乗務することです。お客さまに最高のサービスをお届けできるようにトレーニングを重ね、努力したいと思います。

飯田梨央奈さん　文化政策学部 国際文化学科 2019年度卒業
日本航空株式会社
客室乗務員

学びを通した発見 × SUAC

広告・看板用インクジェットプリンターや 3次元ものづくりツールを製造・販売するメーカーで役員秘書業務を担当しています。スケジュール管理や出張の手配など役員の方々の業務のサポートや、取締役会の会議の運営など業務の範囲は幅広く、細かなチェックが欠かせません。複数の業務を並行して進めるため、臨機応変な対応も必要ですが、役員の方々の心の動きに着目し、それぞれに最適なサポートをしていく上では、大学で学んだ心理学の知識が活きていると思います。多忙な役員が集まる会議の昼食が少しでも和みの時間となるように、季節に合わせた御弁当などを取り入れるようにしたところ、「今月は何？ いつも楽しみにしてるよ」という声をいただいたことも。人を支える側になりたいとの思いから今の部署に異動して 1年、入社当初は自分が秘書になるとは夢にも思いませんでした。4年間の学びを通して、専攻したゼミで心理学の学びを深めたように、自分の進むべき道が見つかるフィールドが SUAC にあります。皆さんも将来への一歩を踏み出してください。

松下英里香さん　文化政策学部 文化政策学科 2021年度卒業
ローランド ディー. ジー. 株式会社
コーポレート本部 役員秘書

プラスαの価値を提供できる
秘書になることが目標。
これからも成長し続けたい

文化芸術のチカラ × SUAC

高校の頃から「文化芸術」と「仕事」が一番身近で結びついた「ホール」で働きたいという思いがありSUACへ。夢が叶い、公立文化施設の管理運営から文化振興事業までトータルマネジメントする会社で、施設の管理運営に関わる企画・提案業務を行っています。在学中は、芸術文化政策やアートマネジメントなどの政策系から、音楽、演劇、美術などのコンテンツ系までバランスよく文化芸術の領域を全方位で学びました。ホスピタルアート活動でプロジェクトの企画・提案、運営までトータルで携わり、浜松市のアートセンターではアルバイトを通して大学での学びを現場で実践。文化芸術に根ざした浜松で学べることは大きな魅力だと思います。今後は受付事務や事業企画などホールのマネージャー的な現場の仕事も経験し、経営的視点も踏まえた夢とリアリティを両立した企画・提案をすることが目標です。全国のホールを飛び回って知見を広め、将来は、ホールでのワークショップなどを企画し、公園のように人が集まる場づくりがしたいと考えています。

藤巻嘉月さん　文化政策学部 芸術文化学科 2020年度卒業
株式会社共立
施設開発事業本部 企画課

充実した学びの環境 × SUAC

社会人６年目で、キャリアアップのため転職。現在は主に、自動運転化に向けた路面バスの実証実験や将来ビジョンを描く研究に、GUI デザイナーとして携わっています。学生の頃の目標は、自分が携わった製品が世の中に届き、使ってもらうことでしたが、自動車メーターの液晶画面の GUI のデザイン開発等、様々な経験を積んだ今では、ユーザーに長く使われ、楽しい記憶に寄り添うような製品づくりを目指しています。“デザイナー” という職業を知った高校２年までは画塾の存在すら知らず、デッサンを学ぶにはスタートが遅い方でしたが、入学後、どれだけ周りに追いつき、追い越せるかを自分の課題にしてチャレンジ。充実した設備を活用して手を動かす学びに加え、人間工学などの座学の学びも自分の礎になっています。コンペやプロジェクトにも積極的に参加し、演習室で切磋琢磨し合える仲間とものづくりに没頭した大学時代は、自分が動いた分だけ経験も広がる、一番充実した学びの期間でした。SUAC で素敵な４年間を過ごしてください。

栗山大紀さん　デザイン学部 生産造形学科 2014年度卒業
三菱電機株式会社
統合デザイン研究所 デザイナー

好きがつながる × SUAC

自分がデザインしたセット 描きたい世界観を 仲間と創り上げる喜び

日本テレビが制作するドラマのセットをデザインする仕事をしています。台本を読み込み、脚本家や監督のイメージを尊重しながら、どんな部屋や内装にするか、コンセプトをもとにデザインを起こし、小道具や大道具など美術スタッフと相談しながら進めています。様々な役割の方々と仕事を進めるのは大変な面もありますが、みんなで一つのセットを創り上げるのは、楽しくてやりがいのある日々です。元々テレビドラマが好きで、特に建物や内装に興味があり、建築やデザインが学べる SUAC へ進学。建築の領域を中心に幅広く学びながら、インテリアコーディネーターの資格取得や、商店街活性化のプロジェクトへの参加など、やりたいことを自由にできる環境も魅力でした。職場には美大出身者も多いのですが、セットのデザインを提案する際など、SUAC で身につけたプレゼンテーションスキルが強みになっています。目標は一人前のチーフデザイナーになること。ドラマを盛り立てる世界観が描けるよう、街並みや日常の風景を観察して目を養い、知識を蓄積していきたいです。

松浦なつみさん　デザイン学部 空間造形学科 2016 年度卒業
株式会社日本テレビアート
ドラマ・映画部 デザイナー

今あるものの価値を デザイン思考で見直すこと。 森町から、新たな魅力を発信

地域の課題 × SUAC

総務省事業の「地域おこし協力隊」として、静岡県森町で特産品の開発、地域の魅力発信をする拠点づくり、町内への広報活動を担当しています。具体的には地元特産品の和栗ビールの企画販売、古民家を改装した魅力発信施設「たまどん」の開設と企画運営、協力隊の活動を紹介する新聞づくりと、幅広い業務を行います。SUAC では学部から大学院へ進み、卒業後、一旦就職しましたが、大学院で触れた地域の課題をデザインの力で解決する「地域デザイン」の学びを思い出し、「挑戦するなら今だ」と思い切って飛び込みました。学部時代はインターフェイスを中心に学んでいましたが、デザインの中でも自分で課題を見つけ、その解決提案をする思考プロセスの部分が好きだったことが、今の仕事につながっています。現在の活動では、今も交流の続いている SUAC 卒業生の友人に仕事を依頼することも。興味関心が同じ仲間が周りにいる環境は想像以上に心地よく刺激的でした。「何を学ぶか」も大切ですが「誰と学ぶか」も大事にして、好きを学ぶ大学生活を楽しんでください。

松葉知香さん　デザイン学部 メディア造形学科 2017 年度卒業
デザイン研究科 2019 年度修了
静岡県周智郡森町　地域おこし協力隊

Update

知と実践の力 | 新カリキュラム SUAC2025

複雑な社会課題に向き合う力をつける体系的な学びへ

社会課題が分野を越えて混ざり合い、人々の価値観や仕組みが激しく変化する時代。
より柔軟に、より多角的に対応できる人材を育成するために「知と実践の力」を高める
新カリキュラムがスタート。学部・学科の枠を越えて、他分野も横断的に学ぶことで、専門だけでなく、
複合的な視点を身につけ、将来の活躍の場を広げます。

Update 4つのポイント

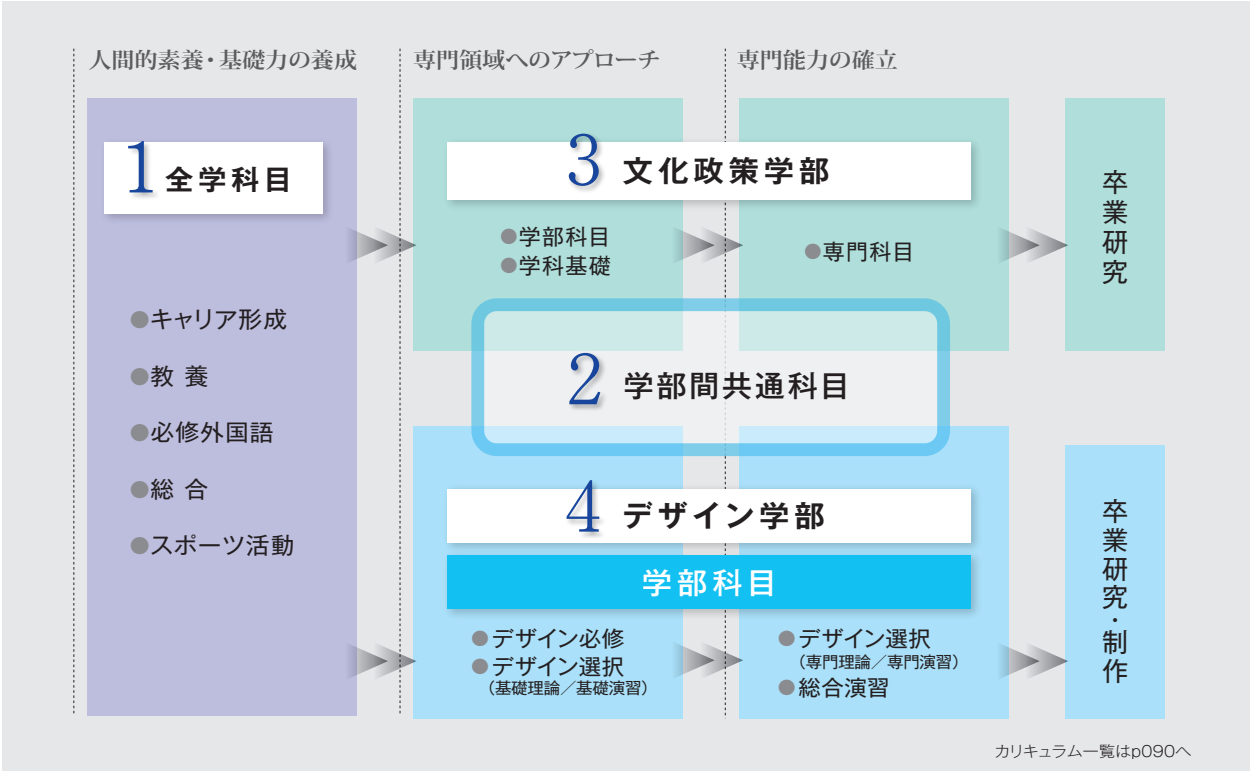
新カリキュラムの詳細は
公式Webサイトへ

SUAC2025
新カリキュラム

複雑な社会課題に向き合う
力をつける体系的な学びへ

1 **全学科目**／キャリア教育の充実と必修外国語の多様化
2 **学部間共通科目**／視野を広げる学際的な学び
3 **文化政策学部**／学科を越えた多様な学びを実現
4 **デザイン学部**／3つの系をベースにした横断的な学び

SUACで学ぶ4年間



カリキュラム一覧はp090へ

1
SUAC2025
新カリキュラム

文化政策学部・デザイン学部

「教養と感性」「知識と能力」を身につける

全学科目／キャリア教育の充実と必修外国語の多様化

キャリア形成

本学ならではの体験科目と専門教育につながる
リテラシー科目で学びの基礎を身につけます。

「情報・データサイエンス」「キャリアデザイン」に関する科目群を新たに設置。
これまでの「導入」「実践演習」とともに、1 年次から開講することにより、卒業後のキャリアを見据えた学びを展開します。

学びの基礎と感性を養う

導入

●「文化芸術体験演習」 開講年次／1年次前期

少人数編成で行う演習科目。プロフェッショナルの講師を招き、日本の伝統文化や芸術表現の実技体験を通して、文化や芸術への接し方や表現力について学びます。

○演習内容（令和6年度）／落語、狂言、写真、茶道

●「学芸の基礎」 開講年次／1年次前期

学びの基礎として必要なリテラシー（読み・書き・情報活用能力）を身につけ、レポート・論文作成の基礎知識や、プレゼンテーションの技法等、社会で役立つ実践的スキルを磨きます。

自らのキャリアを構想する

キャリアデザイン

社会の現状や仕事や働き方について学び、自分の良さを将来の進路に結びつけていく能力の重要性について理解し、自分自身の生き方をデザインするための知識やスキルを身につけます。社会で活躍するプロフェッショナルを招いた講座や、企業から提示される課題に対してチームで取り組む演習を通して、社会で働くことのイメージを具体化させます。

●「キャリアデザイン概論」／開講年次:1年次後期
●「キャリアデザイン講座」／開講年次:2年次前期
●「キャリアデザイン演習」／開講年次:2年次後期

情報社会のスキルを身につける

情報・データサイエンス

PCをはじめとするICT機器を正しく活用し、その技術を利用してさまざまな情報を収集・分析、適切に判断する能力、AIやデータサイエンスの知見や活用能力を身につけます。さらに、画像の図形描画や処理方法の基礎的なスキルについても学びます。

●「ICTスキル基礎」／開講年次:1年次前期
●「デジタル表現基礎」／開講年次:1年次
●「データサイエンス入門」／開講年次:1年次後期

地域社会とつながる

実践演習

実社会の課題を見つけ、体験を通して理解を深め、解決する方法を学ぶ演習科目。社会で実践的に活躍するために知識や技術、行動力を養います。学生たちは学部・学科の枠を越えて、実践的な学びに取り組みます。

●「企画立案演習」／開講年次:1年次
●「地域連携演習」／開講年次:1年次
●「自主課題演習」／開講年次:2年次

必修外国語

国際社会で力を発揮するための実践的な
語学能力と幅広い文化的知識を身につけます。

必修外国語として8か国語から選択が可能に。多様な言語学習のニーズに対応します。

英語	韓国語
中国語	インドネシア語
フランス語	イタリア語
ポルトガル語	ドイツ語

2
SUAC2025
新カリキュラム

文化政策学部・デザイン学部

社会の複合的な課題に、学部を横断して取り組む

学部間共通科目／視野を広げる学際的な学び

学部の枠を越えた学際的な授業で、学生の視野を広げる「学部間共通科目」を新設。文化政策学部の学生はデザイン学部の専門科目を、デザイン学部の学生は文化政策学部の専門科目を、所属学部の専門科目として履修することが可能です。

文化政策学部で受けられるデザイン学部提供の科目

- デザイン概論
- 現代デザイン論
- 生体機能論
- 世界建築史
- ユニバーサル／インクルーシブデザイン概論
- メディア産業論
- グラフィックデザイン概論
- 都市デザイン論 ※1
- デザインとマーケティング ※1
- デザイン思考 ※2
- 空間演出総合計画 ※2

デザイン学部で受けられる文化政策学部提供の科目

- 視覚芸術論
- 産業遺産と産業史
- 美術史（日本・東洋）Ⅰ・Ⅱ
- 広報・広告論
- 経営学
- 経営戦略論
- マーケティング論
- ルネサンス文化史
- 地域ビジネス論
- 劇場芸術論
- メディア文化論
- 文化と芸術D
- 都市経営論
- 美術史（西洋）Ⅰ・Ⅱ

※1 文化政策学科を対象に開講　※2 芸術文化学科を対象に開講

3
SUAC2025
新カリキュラム

文化政策学部 ▶▶▶ 詳しくはp043

専門分野を横断し、社会の複合的な課題に文化政策で取り組む

文化政策学部／学科を越えた多様な学びを実現

オプショナル・スタディーズ 3学科横断型プログラム

所属学科での専門的な知識に加えて、さらに学びを広げる学科横断型プログラム。
テーマに沿ってまとめられた他学科の体系的な科目群を履修し、物事を総合的・学際的に捉える視点を養います。

所属する学科での専門的な学び ＋（さらに／プラス） 他学科科目を中心に構成されるプログラム

文明観光学コース コースの科目構成を刷新

文明観光学の学際的な特徴を鑑み、コースの科目ラインナップを大幅に拡充。
自身の興味関心に合わせた履修を可能とし、多様で柔軟な学びを実現します。

4
SUAC2025
新カリキュラム

デザイン学部 ▸▸▸ 詳しくはp047

より自由度を高く、社会の複合的な課題にデザインで取り組む

デザイン学部／3つの系をベースにした横断的な学び

社会の中でのデザインを取り巻く環境の大きな変化に対応するため、デザインのプロセスにおいて
多角的な視点で分析したり、領域を越境してユニークなコンセプトを立案する力が求められています。
柔軟なデザインの思考力を養うため、さまざまな分野の内容を総合的に学び、広範囲で専門性に富んだカリキュラムを用意。
それぞれの進路を踏まえながら必要な科目を履修し、分野を横断しながら幅広く深い学びを獲得します。

総合的なデザイン基礎の学び

必修科目・選択科目
（基礎理論／基礎演習）

専門的な学び

匠・プロダクト系
- プロダクトデザイン
- 工芸・造形デザイン

メディア系
- グラフィック・コミュニケーション
- 映像・メディアコンテンツ

建築・環境系
- 建築
- インテリア・空間デザイン

横断的な学び

卒業研究・制作

基礎教育から進路までのイメージ

1〜2年次前期 → 2年次後期 → 3年次 → 4年次 → 卒業後

幅広いデザイン知識と技術の修得

1、2年次前期までは幅広くデザインの基礎を学びます。特に各分野の概論を履修することで3つの系の特性を理解し、自分の進路の方向性をイメージすることが重要です。

希望と適性を踏まえた方向性の選択

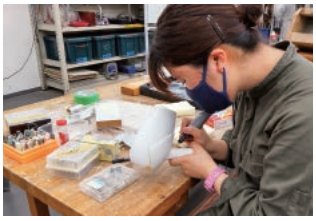
デザインの基礎を身につけ、デザイン分野で幅広い選択肢があることを認識した上で、自分の興味や希望、適性や卒業後の進路を見定め、主軸とする系や科目履修を判断します。

3つの系を横断する学び

専門的な学びにつながる多彩な学科専門科目、これらの配置は各系の区別が設けられているわけではなく、自分の進路を意識しながら必要な科目を横断的に履修し幅広く学べます。

多様な活躍の場

現代社会ではデザインを総合的に捉える力を専門分野の実践の中で活かす機会が増えています。デザイナーという職業を主体として、企業や官公庁など多様な活躍の場が待っています。



理念への共鳴、学びへの強い意欲。社会を動かす人材を育てます

本学は、豊かな人間性と的確な時代認識を持ち、国際社会の様々な分野で活躍できる人材を養成するために、
教養教育と専門教育が調和したカリキュラムを通して、知性と感性を磨き、
新しい価値や文化を創造する力の育成に努めています。
このような理念に共鳴し、強い意欲を持って学ぼうとする皆さんの入学を期待します。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

3ポリシーは
公式Webサイトへ

文化政策学部 アドミッション・ポリシー

文化政策学部は、本学部の教育研究上の目的に基づき、
国際文化学科、文化政策学科、芸術文化学科の3学科を設置し、
以下のような関心と意欲をもつ人を、積極的に受け入れる。

国際文化学科	日本と世界の多様な文化に関心があり、それらを深く学びたい人 外国語を使い、世界の人々と交流し相互理解を深めたい人 ビジネスや国際協力、地域貢献を通して、グローバル社会で活躍したい人
文化政策学科	社会と文化について総合的に学び、その問題を発見・解決したい人 社会調査の方法、政策立案の手法を身につけたい人 行政や企業、NPOなどで活躍し、地域社会と産業に貢献したい人
芸術文化学科	文化・芸術とそれをとりまく社会について研究したい人 芸術やアートマネジメントに関する実践的知識を身につけたい人 文化・芸術を通じて地域を活性化し、創造性をもって社会に貢献したい人

デザイン学部 アドミッション・ポリシー

デザイン学部は、時代とともに変化する人や社会の価値観、文化の多様性を視野に入れ、
さまざまな人の立場で考えるデザインを基本に、快適に暮らせる生活空間や環境を提案し、
国際社会の発展や文化の向上に貢献できる人材を育成する。
この教育方針の下、デザイン学科を設置し、以下のような関心と意欲をもつ人を、積極的に受け入れる。

デザイン学科	デザイン分野に強い関心をもち、幅広くデザインを学びたい人 論理的な思考にもとづき、新しい価値の創出を目指す人 直観力や審美眼をみがき、自らの発想を的確に表現したい人 地球環境及び社会や地域に関心をもち、現状を分析して対応策を考えようとする人

学びのフィールド

文化政策学部

p023

国際文化学科 定員100名

p025

異文化を理解し、国際的にコミュニケートできる人材を養成します。

文化政策学科 定員55名

p031

政策・経営・情報の視点から新たな人間と社会のあり方を探求できる人材を養成します。

芸術文化学科 定員55名

p037

芸術とそれをとりまく社会について理解し、芸術の持つ力を現代社会で活かすことのできる人材を養成します。

デザイン学部

p047

デザイン学科 定員110名

p049

よりよい生活から社会システムまでを提案できるデザインの専門人材を養成します。

大学院

p068

文化政策研究科 定員10名

p069

芸術文化の振興や文化政策の推進を担う高度な専門家を養成します。

デザイン研究科 定員10名

p071

企画から計画推進、造形展開に至るデザイン諸分野での高度な専門能力を養成します。

既成の枠を超えて、文化の新たな地平を切り拓く人材を。

現在につながる歴史の深みと、世界的な社会の広がりを踏まえた視点から、多角的に文化および芸術を認識し、豊かな感受性と、文化の創造・発展に必要な知識を身につけ、国際的な視野を持って新たな時代を切り拓く人材を育成しています。文化政策学部は、人々が「豊か」だと感じる社会の実現を目指し、いきいきとした社会生活を送るための理念や政策を見つけ出していく力を持つ人材を輩出することで、社会に貢献していきます。

文化政策学部

国際文化学科　文化政策学科　芸術文化学科

基礎をつくる4つの科目群

「文化政策とは何か」を理解するために、文化政策学部では学部科目として、＜文化・芸術＞、＜政策・マネジメント＞、＜情報・リテラシー＞、＜観光＞の4つの分野の科目群を設置しています。学生は、これらの中からバランスよく科目を選び学んでいきます。これらは、3つの特色ある学科での専門的な学習に共通する土台となります。

文化・芸術

各学科の専門分野を学ぶ上で必要な、文化や芸術表現の多様性や歴史などを概観するとともに、異なる文化への理解や多様な社会システム、芸術表現等に関わる幅広い知識を養います。

観光

欧州から西アジア、東アジアに至る、そして日本国内における観光交流の歴史的潮流を俯瞰し、また産業革命以降、近現代の観光産業の発展にも目を向け、地域の伝統文化や地場産業を活かした観光の基礎知識を学修します。

政策・マネジメント

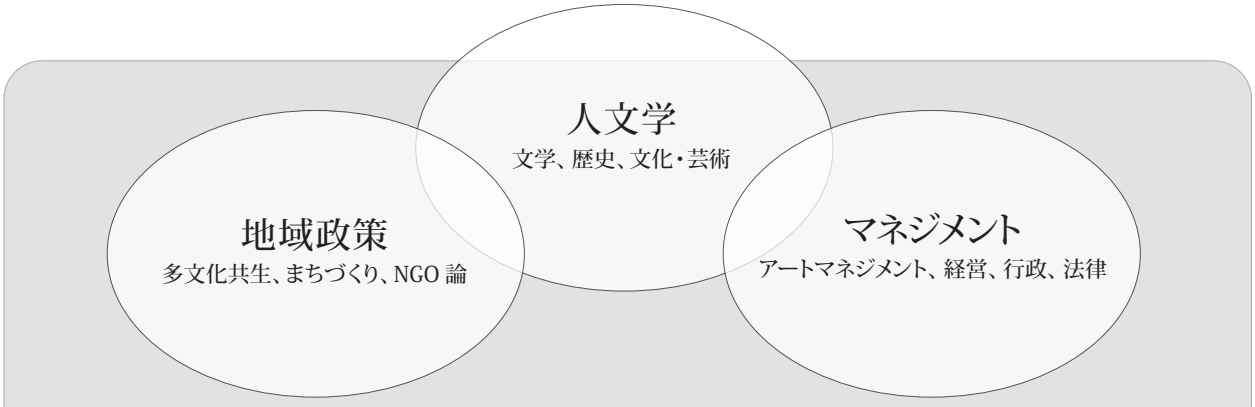
企業に加え、政府、自治体、NPO／NGOといった非営利組織も含めた、幅広い経営体における政策の企画立案や評価、経営体のマネジメントの基本を学びます。これらを通じて、人と人、人と社会のより良いあり方に資するための実践的な能力を発揮できるようになることを目指します。

情報・リテラシー

社会の課題に対する構想力、企画力、問題解決能力を養うとともに、専門的な研究やその成果を、広く社会に向けて発表・表現することや、多様な市民社会の中での合意形成を促進するための実践的なスキルを身につけます。加えて、多様化する情報社会の中で、慎重にこれらに対処するための法的・制度的知識や自身の情報リテラシーの素養を身につけます。

文化政策学部で学べること。3学科での関連ワード

文化政策学部では、「国際文化学科」「文化政策学科」「芸術文化学科」の3つの学科を設け、社会と文化の関わりを専門的に学びます。複雑、多様な社会について、専門領域だけでなく周辺領域の知識にも触れながら、広く、深く学んでいきます。



Department of Intercultural Studies

国際文化学科

韓国文化　言語研究　応用言語学
東南アジアの社会　中国語圏探求
日本・東アジア
古文書読解　教育心理学　国際的な人の移動
伝承文学　日本近現代史
NPO・NGO　経済開発
イタリア文化　アメリカ教育学
地中海・西欧・北米
英語文化　フランス文化
ヨーロッパ近世史
地域統合論　フェアトレード
中東地域の国民統合
多文化共生
Global Issues　日本語教育学
第二言語習得

Department of Regional Cultural Policy and Management

文化政策学科

消費者心理　**経済**　社会経済統計
法律　図書館
グローバル化　**地域**
少子高齢化
広告　憲法改正
プランニング（企画・計画立案）
キャッシュフロー管理
中山間地域　ジェンダー
政治　社会福祉
GDP統計　**歴史**
地方分権　**情報**
リサーチ（調査・研究）
まちづくり　**行政**
広告とメディア

Department of Art Management

芸術文化学科

少子高齢　現代建築
パフォーミングアート
芸術文化政策　茶文化
サブカルチャー
美術史・音楽史・演劇史
補助金制度　市民ボランティア
文化的経済学　非営利芸術組織
アニメ　コスプレ
マーケティング
アートマネジメント
宗教美術　民芸論運動
観光資源　国宝
プロデューサー

3学科横断型の **文明観光学コース** ◎p043で紹介
3学科横断型の **オプショナル・スタディーズ** ◎p044で紹介

文化政策学部の3学科で取得可能な資格等

※詳しくは p076 へ

◆教育職員免許状［中学校教諭一種・高等学校教諭一種］
国際文化学科／国語（中学・高校）・英語（中学・高校）
文化政策学科／社会（中学）・公民（高校）

◆図書館司書
◆博物館学芸員
◆日本語教員養成課程
◆社会調査士

文化政策学部 国際文化学科 定員100名

異文化を理解し、国際的にコミュニケートできる知性と感性にあふれた人材を養成します。

今、世界は、大きく変わろうとしています。

国を越える経済や人の交流は信じられないほどの速さで進んでいます。

そして宗教、伝統文化も大きく変わろうとしています。

国際文化学科は、こうしたグローバルな社会を冷静に見極め、積極的な価値を発見する力、

なによりも人間共存のための創造力、行動力を生み出す学びを進めています。

外国語コミュニケーション能力の向上にとどまらず、

学生が多様な文化の構造や発展を学ぶ豊富な科目群、そして学びを具体的な行動に

置きかえていくための場を多様に設定しています。

経験豊かな教員がチームワークで学生と向き合い、つねに多様なニーズに対応しています。

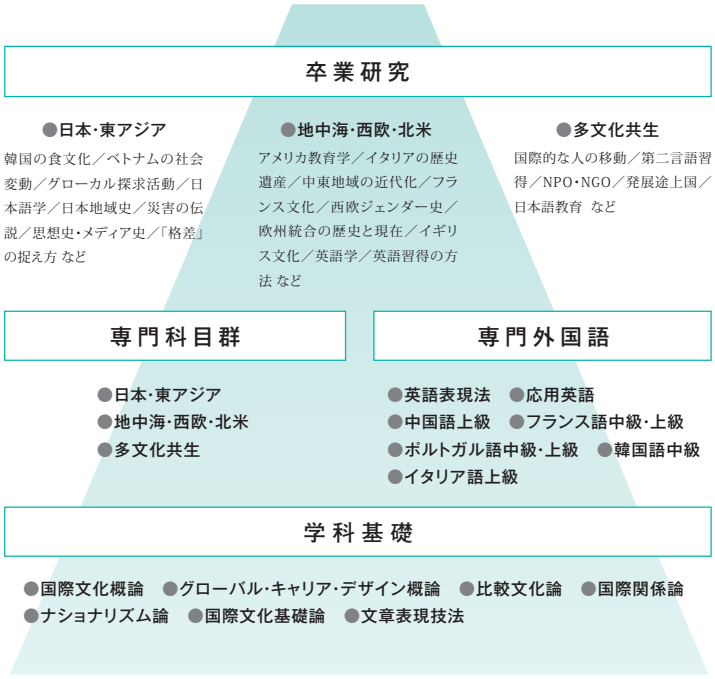
そして、毎年多くの学生が留学や海外でのインターンシップを実現しています。

取得可能な資格 ▸▸▸ 詳しくはp076をご覧ください。

- 教育職員免許状:中学校教諭一種［国語・英語］
- 教育職員免許状:高等学校教諭一種［国語・英語］
- 図書館司書
- 日本語教員養成課程
- 社会調査士

複眼的な視点から世界の文化を捉え、多角的に取り組むことで、国際文化をダイナミックに学びます。

世界の様々な事件や状況について考えるには、表面に現れた物事だけでなく、背景まで掘り下げて根源から理解することが欠かせません。自ら問題意識を持ってテーマを見つけ考察する力を養うことが、「学び」の基本です。問題意識を持ち、発見した問題について考察を深め、そして、新たな一歩を踏み出してみましょう。



国際文化学科の学びの体系

「国際文化概論」「国際文化基礎論」といった学科基礎、そして専門外国語を学ぶことで多様な文化のあり方や価値を学びます。それに加えて、3つの専門的な科目群である「日本・東アジア」（21科目）・「地中海・西欧・北米」（22科目）・「多文化共生」（20科目）から各自の関心に沿って科目を選択し、文化を創造的、能動的に学んで、卒業研究の準備をしていきます。また、「グローバル・キャリア・デザイン概論」によって将来のキャリアを早期に構築するサポートをします。

国際文化学科の3つのポイント

1 多文化共生社会を実現する人材の育成

SUACの位置する静岡県浜松市は、2012年に引き続き、2018年に「第2次浜松市多文化共生都市ビジョン」を策定しました。「多文化共生社会」の実現に向け、全国でも先駆的な取り組みが展開されている浜松市で「多文化共生」について学ぶことには大きな意義があります。本学科では、日本語を母語としない人に日本語を教える日本語教員養成課程を履修することもできます。

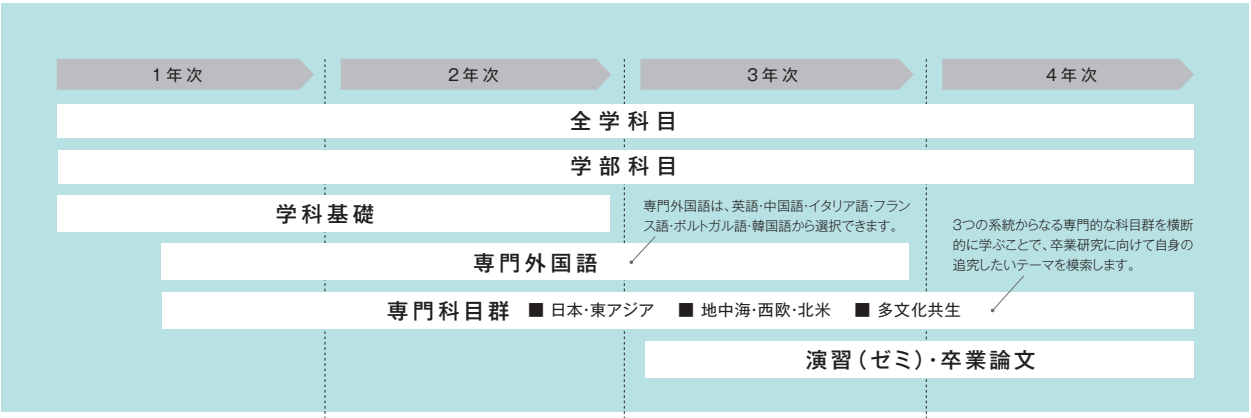
2 外国語の専門性を強化

国際文化学科の学科科目には、英語、中国語、イタリア語、フランス語、ポルトガル語、韓国語をより専門的に深められる科目群（専門外国語）があります。専門外国語科目「応用英語（通訳・観光英語・翻訳・プレゼンテーション英語）」は、英語力を伸ばすだけでなく、英語を道具として使う専門技能を身につけることを目的とした科目です。将来、関連職を目指す人には最適です。

3 グローバルな舞台で活躍するために

「グローバル人材」とは、グローバル社会で積極的に挑戦し、世界で活躍できる人材のことです。学科基礎科目「グローバル・キャリア・デザイン概論」では、国際的な場で活躍できる人材に必要な資質とは何か、それを実現するためにはいつまでにどのような準備をすればよいのか等について、実際に現場で活躍するプロの経験談も交え、将来のキャリアを学生時代から構築するためのサポートをします。

国際文化学科で学ぶ4年間



4年間の流れ

学科基礎科目「国際文化概論」「国際文化基礎論」等を通じて基礎を学び、専門分野への足がかりをつくります。

専門科目が本格的に始動。「専門外国語」を通じて高度な言語力を習得。後期には所属ゼミが決定します。

学科専門の講義では、学びたい分野の科目を積極的に履修するとともに、演習（ゼミ）で専門テーマを深く掘り下げていきます。

大学での研究の集大成として、卒業論文をまとめます。ゼミの中で執筆計画を立てて着実に実行、あわせて卒業後の進路を選択していきます。

開講科目例

▶▶▶ カリキュラム一覧はp090以降をご覧ください。

Global Culture : Thinking Independently Together

「Culture & Society B」【2~4年次 ／専門科目】

この講義は、グローバルな世界で生きることに関する概念や問題を理解することを目的にしています。学生は、簡単な解決策がない現代社会で私たちが直面しているトピックについて批判的に考え、講義やグループディスカッションを通じて様々な視点を得ながら、独自の意見を形成する能力を養います。

異文化理解の基本を確認する

「比較文化論」【1~4年次／学科基礎】

異文化とは何か、異文化とどう向き合うべきかについて、日本と欧米の文化比較を例に考えていきます。異文化を知ることは楽しいだけでなく、誤解が生じたり、時に対立抗争にもつながったりします。先人たちの著書を参考にしながら、文化の違いを冷静に論理的に説明する手がかりを探しましょう。

現場の視点から考える国際協力

「フェアトレード論」【2~4年次／専門科目】

「ビジネスを通じた国際協力」をフェアトレードから学ぶ授業です。フェアトレードは、地域の課題解決の手段であるため、単にフェアトレードの制度や歴史などの知識のみならず、実践活動を意識した企画・立案・評価手法についても学びます。

経済の視点からアジアを読み解く

「アジアビジネス論」【2~4年次／専門科目】

21世紀のアジア経済は、量的にも、質的にも飛躍的な成長を見せています。本科目ではアジア各国の経済発展の経路と実態を理解した上で、格差と貧困、環境保全など共通の課題についても学び、経済学的視点からアジア理解を深めていきます。

ゼミ（卒業研究演習一覧）

ゼミ（演習）とは

3年次前期から始まるゼミナール（演習）では、共通の関心を持つ学生が集まり、毎週行われる授業のほか、現場研修やフィールドワークが企画されるなど、専門的な少人数の授業が行われます。担当教員が個別のアドバイスを行い、4年次には卒業論文の執筆に展開していきます。

文明の根源を探って光を観る
担当教員：青木 健 教授
専門領域：宗教学・西アジア文明

自分だけの韓国を知る
担当教員：林 在圭 教授
専門領域：韓国文化・韓国語

Applied Linguistics and Global Culture
担当教員：Edward Pearse SARICH 教授
専門領域：英語教育

東南アジアの歴史・文化・社会
担当教員：岡田建志 教授
専門領域：東南アジア史

我が国とアメリカの教育学
担当教員：倉本哲男 教授
専門領域：教職実践学・アメリカ教育学

日本語・日本語教育の研究
担当教員：佐野由紀子 教授
専門領域：日本語学・日本語教育

English Education and Global Issues
担当教員：Jack RYAN 教授
専門領域：英語教育

イタリアを知り、世界の文化を読み解く
担当教員：武田 好 教授
専門領域：イタリア語・イタリア文化

ヨーロッパの歴史と文化の研究
担当教員：永井敦子 教授
専門領域：西洋史

古文書から地域の歴史を掘りおこす
担当教員：西田かほる 教授
専門領域：日本史・文化史

文学×民俗学＝伝承文学
担当教員：二本松康宏 教授
専門領域：日本文学・伝承文学

史料との対話から「今」を問い直す
担当教員：水谷 悟 教授
専門領域：日本近現代史

イギリス伝承文化と児童文学
担当教員：美濃部京子 教授
専門領域：イギリス口承文芸

経済を通して中国とアジアを知る
担当教員：兪 嶸 教授
専門領域：中国経済・開発経済学

言語習得メカニズムの探究
担当教員：横田秀樹 教授
専門領域：第二言語習得・心理言語学・英語教育

探求を通じて国内外の社会課題に挑戦
担当教員：石坂貴美 准教授
専門領域：国際協力・地域研究（アジア）

一生使える文化人類学
担当教員：内尾太一 准教授
専門領域：文化人類学・フィールドワーク論

グローカル化の活動で国・企業・人を繋げる
担当教員：崔 学松 准教授
専門領域：中国文化社会・東アジア国際関係・言語社会学

持続可能な未来型共生社会モデルの構築
担当教員：佐伯康考 准教授
専門領域：国際的な人の移動研究

現場の視点から「地域の発展」を考えよう
担当教員：武田 淳 准教授
専門領域：開発人類学・環境と開発

中東などの近現代史を扱う
担当教員：徳増克己 准教授
専門領域：中東北部と旧ソ連の境界地域史

フランスを学び、フランスから考える
担当教員：中田健太郎 准教授
専門領域：フランス文学・視覚文化論

「グローバル社会」の仕組みについて学ぶ
担当教員：西脇靖洋 准教授
専門領域：国際関係論

日本語教育が社会に貢献できることを考える
担当教員：福永達士 准教授
専門領域：日本語教育

しなやかな人文知で文明観光を模索する
担当教員：宮崎千穂 准教授
専門領域：旅と病の歴史・日本とシルクロード

ゼミ紹介（一例）

多角的な視座から国際社会のありようについて検討する

国際関係論ゼミでは国際社会における諸問題の解決や改善に向け、関係する個人や組織がどのような形で協力を実施しているのかについて勉強しています。取り上げられる事例は環境、貿易、市民権等、多岐の分野にわたります。また、私の主な研究対象は欧州諸国ですが、日本を含む他の地域に関しても考察を加えています。ゼミ生は論文や資料の講読のみならず、学外調査や他大学の合同ゼミ発表会といったゼミ内の諸行事への参加を通し、自らの研究課題について理解を深めていきます。

ゼミ担当教員の声

西脇靖洋 准教授 | 国際関係論

山田ひかり | 国際文化学科 3年 愛知県立国府高校出身

ヨーロッパにおける国際関係について、文化政策の比較や歴史など、様々な視点から学べることがゼミ専攻の理由です。最近はヨーロッパ各国の安全保障政策に関心が広がり、週に一度、関連本の内容について発表し、学びを深めています。フィールドワークとしてポーランド食器を扱う店でインタビューを行ったことも実社会を肌で感じる経験になりました。

ゼミ生の声

国際関係をより多角的な視点から考察できるように。フィールドワークでの学びも貴重な体験

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

●●● 在学生の声

貧困の背景にある
教育格差の解決に貢献できる
日本語教師を目指して

海外への関心が強く貧困問題に興味があり、フェアトレード大学として有名なSUACへ。授業では、元々興味があった分野だけでなく、多文化共生や移民問題、国際協力やNPOなど幅広い分野を学んでいます。発展途上国の貧困の背景には教育格差があることを知り、教育面でサポートができるのではないかと考え、日本語教師を目指すように。海外での教員経験のある福永先生のゼミで日本語教育を学んでいます。3年次に国際交流基金が主催する「日本語パートナーズ」に応募し、派遣された台湾で実際に日本語教育に携わることができ、初めての海外、初めての授業体験で得たものがたくさんありました。1年間休学し、思い切ってチャレンジができたのは、全面的に応援してくれた先生のおかげです。将来、日本語教師として海外で活躍することを目指し、卒業後は大学院への進学を考えています。SUACは、自分がやりたいことに向かって一直線に行動できる大学です。助けてくれる先生や職員の方がたくさんいるので、失敗を恐れず挑戦してみてください。

岡野奈々　OKANO Nana

国際文化学科 3年　福井県立敦賀高校出身

高3のとき　貧困問題やフェアトレードに興味があり、SUACを志望

1年次　フェアトレードサークル「りとるあーす」に入り、勉強会や商品開発に参加

2年次　日本語教育に興味があり日本語教員養成課程を履修

3年次　国際交流基金の「日本語パートナーズ」に応募。1年間休学し台湾へ

語学力の向上だけでなく
海外の文化も幅広く学び
新たな視点を培うことができた

高校のカリキュラムで英語や中国語を学んでいたこともあり、より様々な外国語を学べ、その国の文化や背景まで学べる本学科を志望。留学制度が充実していることも魅力でした。授業を通して世界各国の様々な地域について知ることができ、元々興味があった英語圏に限らず、広い視野を持つことで、日本文化も外国文化も幅広く学べたと思います。台湾への語学留学中、LGBTQなどマイノリティの人たちがいきいきと暮らしている姿に、日本との違いを感じた体験を、卒業論文のテーマに。同性婚の法制化が社会に与える影響について、日本と台湾を比較しながら研究を進めています。印象に残っているのは、3年次に出場した「知財活用アイデアプレゼン大会」。デザイン学部の学生やゼミ生と協力して作業を進め、優秀賞を受賞できました。人前で話すことは苦手でしたが、チームリーダーを務めつつ、プレゼン力や協調性を養えた有意義な経験ができました。卒業後は留学で培った中国語スキルを継続して向上させ、語学を活かせる仕事にも挑戦したいと思っています。

平田莉央　HIRATA Rio

国際文化学科 4年　静岡県立浜松北高校出身

高3のとき　国際科での学びにより、英語だけでなく、幅広く学べる本学を目指す

1年次　英語圏に限らずアジアの発展途上国など、海外の文化を幅広く学ぶ

2年次　前期はコロナ禍。2年次終了の春休みから1年間休学し、台湾への語学留学

3年次　中国語のゼミに進み、「知財活用アイデアプレゼン大会」に参加、優秀賞となる

4年次　5、6月は就職活動。内定が決まり、卒業論文に取り組む

進路　プライムアースEVエナジー株式会社

国際文化学科の知と実践の力

Discussing Important Global Issues in English with Students from Around the World

英語模擬国連（Japan English Model United Nations）

The goal of JEMUN (Japan English Model United Nations) is to positively affect the lives of university students and motivate them to become better global citizens. Every year at JEMUN, university students from within Japan and around the world research and discuss important global issues from the perspective of their assigned country. Participation in JEMUN deepens the participants' understanding of contemporary international issues through consensus building.

特許を活用した新ビジネスを提案

知財活用アイデアプレゼン大会

「第8回知財活用アイデアプレゼン大会」にて、崔研究室より学生30名で編成された4チームが出場し、そのうち、2チームが最優秀賞と審査員特別賞を受賞（7年連続）しました。大会は、地域活性化とキャリア教育の理念に賛同する協賛各社からの課題に、多くの大学生が挑戦。企業が使用を許諾している特許を利用し、各大学生チームが考案した「新ビジネス」をプレゼンします。様々な問題の解決策を考えることを通じて、幅広い調査分析能力、研究発表能力、自主的行動力やチームワーク・マネジメント力などマルチスキルを向上させています。

卒業生の主な進路（令和３年～５年度卒業生、抜粋）

公務

静岡県庁（行政）
石川県庁（行政）
浜松市役所
藤枝市役所
豊橋市役所
町田市役所
静岡県教育委員会（教員）
愛知県教育委員会（教員）
大阪府教育委員会（教員）
横浜市教育委員会（教員）
名古屋市教育委員会（教員）
航空自衛隊（一般曹候補生）

製造・建設業

（株）アイエイアイ
エンシュウ（株）
（株）シャンソン化粧品
（株）小糸製作所
（有）春華堂
スズキ（株）
（株）鈴木楽器製作所
（株）SUBARU
セキスイハイム東海（株）
東海エレクトロニクス（株）
浜松ホトニクス（株）
（株）日立ソリューションズ
プライムアース EV エナジー（株）
ヤマハ発動機（株）
ヤマハモーターエレクトロニクス（株）
ヤマハモーターパワープロダクツ（株）
（株）ユタカ技研
ローランド ディー．ジー．株式会社

運輸・旅行業

（株）エイチ・アイ・エス
NCA Japan（株）
金谷ホテル観光（株）
（株）上組
（株）自遊人
清和海運（株）
東伸運輸（株）

卸売・小売業

（株）アダストリア
イオンリテール（株）
ウエルシア薬局（株）
（株）遠鉄ストア
（株）杏林堂薬局
（株）ZOZO
（株）中部日本プラスチック
トヨタカローラ静岡（株）
（株）ニトリ
浜松日産自動車（株）
（株）ライフコーポレーション

金融・保険業

岡崎信用金庫
（株）静岡銀行
静銀ビジネスクリエイト（株）
（株）清水銀行
第一生命保険（株）
東海東京フィナンシャル・ホールディングス（株）
東京海上日動火災保険（株）
とびあ浜松農業協同組合
長野県信用組合
西尾信用金庫
日本生命保険（相）
浜松磐田信用金庫

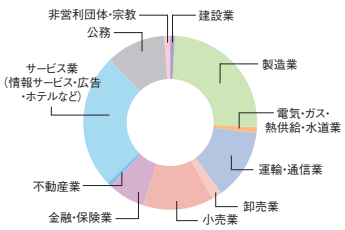
サービス業など

遠鉄システムサービス（株）
GTS協同組合
静岡県民共済生活協同組合
（株）静岡新聞社・静岡放送（株）
（福）春風会
（株）スズキビジネス
生活協同組合コープながの
聖隷クリストファー中・高等学校
東邦ガステクノ（株）
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス（株）
日本赤十字社 徳島県支部
パーソルキャリア（株）
（株）バンダイナムコスタジオ
（株）マイナビワークス
ヤマハモーターソリューション（株）
（株）リクルート

大学院進学

静岡大学
静岡県立大学
静岡文化芸術大学

就職データ



（2023年度実績）

- 建設業　…1%
- 製造業　…25%
- 電気・ガス・熱供給・水道業　…1%
- 運輸・通信業　…13%
- 卸売業　…2%
- 小売業　…13%
- 金融・保険業　…7%
- 不動産業　…1%
- サービス業（情報サービス・広告・ホテルなど）…25%
- 公務　…11%
- 非営利団体・宗教　…1%

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

文化政策学部 文化政策学科 定員55名

生活の質や生きがいの向上を目標に、地域社会と産業の持続可能な姿を探究し学際的・実践的なカリキュラムを通じて、それを実現するための構想力と実行力を培います。

「文化政策」とは、より良い社会のあり方を探究し、これを実現するための方策を意味します。そしてその方策について、文化政策学科では、主として社会科学の視点から学びます。特に「政策」「経営」「情報」という3つの分野を、総合的かつ集中的に学ぶ特色あるカリキュラムを用意しています。

地域社会や企業の様々な課題を総合的に捉え、持続可能で包摂的な社会の実現に向けた、行政施策・企業戦略・市民活動などを構想し、それを有効に実現することができる人材を養成します。

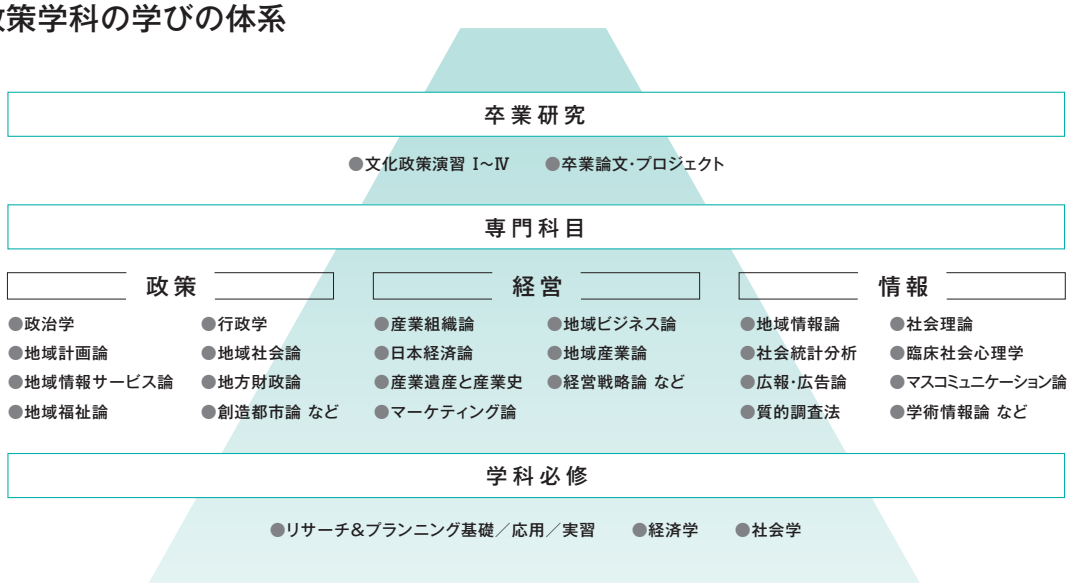
取得可能な資格 ▸▸▸ 詳しくはp076をご覧ください。

教育職員免許状:中学校教諭一種［社会］	社会調査士
教育職員免許状:高等学校教諭一種［公民］	図書館司書

文化政策学科の多角的な学び

文化政策学科には、政策や行政、経済や経営、文化や情報、社会や心理、法律など多岐にわたる専門分野の教員がいます。
まず入学から2年間は、多様な学科科目を履修しながらじっくりと学びたい分野やテーマを設定します。
3年次からのゼミや4年次の卒業論文・プロジェクトでは、自らが関心を持ったテーマについて、
専門知識を持つ教員の指導のもとで学びを深めていきます。専門的な指導にあたっては、
55名の入学定員に対して14名の専任教員を擁し、少人数クラスでのきめ細かな教育を行います。

文化政策学科の学びの体系



1 調査研究や企画立案の手法を身につける

学科必修では、文化政策の基礎となる知識と共に、基本的なアカデミックスキルや実践的な調査研究・企画立案手法を学びます。また、政策、経営、情報の3つの視点から現代社会の様々な課題を理解し、実社会での問題の解決に貢献できる知識と実践力を養っていきます。

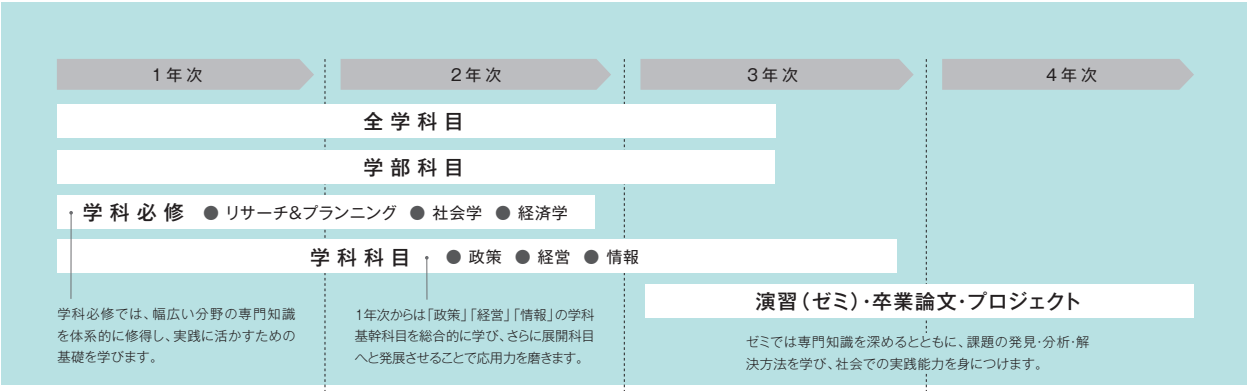
2 地域社会の豊かさを構想する

都市や農山漁村、コミュニティや集落、組織や集団を主な調査研究対象として、そこに住み、働く人々の生活や考え方を、観察やインタビューを通じて調べます。そして、多様な学科科目から学んだ知識を、調査で得られた情報の分析に応用しながら理解を深め、問題点を明らかにし、解決策を提言します。こうして、現実的で実現可能性の高い政策や事業計画を立案する力を習得します。

3 産業社会のあるべき形を考える

地域における製造業、サービス業、農林水産業の実態、様々な種類や規模の企業や公共団体の経営・運営について、統計的なデータはもちろんのこと、現場の経営者や労働者、そして消費者の体験や視点を踏まえながら学びます。さらに、企業や公共団体の経営戦略や運営形態を調査して、評価方法などを習得します。企業の社会的責任など企業と地域社会の関係についても学びます。

文化政策学科で学ぶ4年間



4年間の流れ

社会を見つめる視座と基礎的能力の開拓

幅広い教養科目といくつかの学科基礎科目の履修を通じて、文化政策を学ぶことの意義や、自らの目指す分野について考えます。同時に、情報リテラシー、データ検索、レポート作成、プレゼンテーションなどの基礎能力を身につけます。

多様な専門知識の習得

多様な学部・学科科目の履修を通じて自らの専門領域の確立を目指します。また、企画立案や社会調査士資格に関する科目の履修を通して調査研究能力を高めます。2年次の終わりには卒業後の進路選択も視野に入れつつ、3年次から始まる演習(ゼミ)を決定します。

演習(ゼミ)を通じた専門の深化

いよいよ演習(ゼミ)が始まります。担当教員の指導のもと、少人数で学習に取り組むことにより、専門知識を深化させるとともに、自ら課題を発見・分析・解決していく能力に磨きをかけます。学外のプレゼンテーションイベントにも参加します。

「大学での学び」の集大成

大学生の総仕上げの学年です。これまでの3年間の学習成果の集大成として、ゼミ担当教員のもとで卒業論文の執筆や卒業プロジェクトに取り組みます。こうして培われた幅広い知識と実践力を活かして、就職や大学院進学などの進路を決定します。

開講科目例

▶▶▶ カリキュラム一覧はp090以降をご覧ください。

地域の課題解決策を立案するプロセス

「リサーチ&プランニング 基礎／応用／実習」【1~4年次／学科科目】

調査研究や企画立案の手法を体系的に学び、データ分析と課題解決の能力を身につけるための科目群です。「基礎」「応用」「実習」の3科目(必修)で構成されています。「基礎」と「応用」では、データ分析の基礎と社会調査手法を学びます。「実習」では、公共政策や企業経営などに関する課題を設定し、各自が調査研究に基づき課題解決策を立案し、その結果のプレゼンテーションを行います。

多面的な観点から今日の行政を考える

「行政学」【2~4年次／学科科目】

行政学には2つの視点があります。一つは、政治と市民をつなぐ行政の役割に注目する視点です。政治が決めた政策は、行政が実施して初めて効果を発揮します。また、市民の声に耳を傾けるのは行政の役割です。もう一つは役所の「経営学」の視点です。行政をうまく運営するための方法論に注目します。この2つの視点を意識することにより、行政の仕組みを理解するだけでなく、行政のあるべき姿について考えていきます。

地域の視点で考える企業経営

「地域ビジネス論」【2~4年次／学科科目】

近年、日本の地域、経済を支え、活性化を担っていく存在として、地域に根ざした企業、とりわけベンチャー、ファミリービジネス、長寿企業などに注目が集まっています。このため、本講義では企業経営の歴史的な発展過程や経営学理論等に触れながら、具体的な企業の事例を挙げて、特有の経営課題および経営戦略などについて理解します。また、経営史的な視点を通じ、企業経営の特質について学びます。

現代社会における広報・広告のあり方とは

「広報・広告論」【2~4年次／学科科目】

この講義では、現代社会における広報・広告のそれぞれの役割や機能、また両者の関係性について考えます。グローバル化やデジタル化の進展、広告表現をめぐる問題など、企業や行政における広報・広告をめぐる環境は現在、大きく変化しています。そのため講義では従来の広報・広告論の視座に加え、映像文化論やコミュニケーション論の知見も取り入れ、広報・広告のあり方を学びます。

ゼミ（卒業研究演習一覧）

ゼミナール（演習）とは

3年次前期から始まるゼミナール（演習）では、共通の関心を持つ学生が集まり、毎週行われる授業のほか、現場研修やフィールドワークが企画されるなど、専門的な少人数の授業が行われます。担当教員が個別のアドバイスを行い、4年次には卒業論文の執筆に展開していきます。

メディア・消費文化から社会を見る
担当教員：加藤裕治 教授

メディアや消費の文化と日常文化が分かちがたく結びついている現代社会の状況を理解し、その課題を明らかにしていきます。ゼミでは社会学を中心とした方法や研究をもとに、各自の研究テーマに取り組むことになります。

社会の中の人間の心に関する研究
担当教員：小杉大輔 教授

まず、心理学の研究法について、グループで体験的に学びます。そして、社会心理学を中心とした最新の研究動向を参考に、各自で研究テーマを決定し、調査を実践していきます。

行動や政策についての経済学的研究
担当教員：鈴木浩孝 教授

消費者や企業にとっての合理的行動をベースに、社会にとって望ましい状態を実現するためのルールや産業政策について、経済学の見地から客観的に考えていきます。

経営戦略論、組織論を切り口に企業を研究
担当教員：曽根秀一 教授

経営学、とりわけ経営戦略論、組織論、経営史の視点から現代社会において重要な位置を占める大小様々な「企業（会社）」について、理論およびフィールドワークも交えながら、研究を進めていきます。

公共政策の分析と評価
担当教員：田中 啓 教授

公共政策の対象となる社会や地域の現状を深く理解することを重視します。その上で、社会的課題の解決方法や政策の有効性を分析・評価する技法について学び、自身の関心のあるテーマに応用します。

情報技術を活用した社会の研究
担当教員：野村卓志 教授

生活の質を向上させるための社会システムを考えるのが文化政策です。そこで、情報技術を活かした社会をつくるにはどうするかをテーマとして、各学生は研究を進めています。

公共図書館を通して地域を見る
担当教員：林 左和子 教授

公共図書館を研究するにはその地域についても知る必要があります。図書館を通して地域にアプローチし、地域のために図書館は何ができるかを考えることを目標としています。

都市・地域計画、まちづくりの研究
担当教員：藤井康幸 教授

都市・地域の計画、まちづくりは間口が広く、幅広いトピックの学習、分析から入り、卒業論文に向けて関心分野を絞り込んでいきます。事例研究とフィールドワークを重視します。

中山間地域についての社会学的研究
担当教員：舩戸修一 教授

ゼミでは、まずフィールドワークを通して中山間地域（農山村）の現状や課題を社会学的に把握することを学びます。そして各自で研究テーマを設定し、入念な現地調査をした上で、中山間地域を社会学的に分析します。

マーケティング視点で社会と向き合う
担当教員：森山一郎 教授

経営やマーケティング分野の研究を行います。つねに生活者の立場で発想し、それを具体的な行動につなげていく。このような姿勢を養うために、講義等で身につけた知識を現実社会の様々な課題に対して活用していきます。

経済史・産業史から現代を見る
担当教員：四方田雅史 教授

経済学・経営学の基本的な考え方を学ぶとともに、これまで経済・産業・企業がどのような変遷をたどったか、その背景にある経済・経営的要因について分析し、討論します。

家族と地域福祉に関するライフコース研究
担当教員：小林淑恵 准教授

個人や家族のライフコースと地域福祉の関係を扱います。行政機関との連携活動を通じて地域福祉に関する理解を深め、各自の設定した課題について実証的な研究としてまとめることを目指します。

都市・文化をめぐる行政規制や資金をめぐる法を学ぶ
担当教員：塩見佳也 准教授

文化政策を行政規制や資金調達の側面から考察し、公民連携をめぐる基本的な法の仕組みやPFIの実施事例を研究します。その際、都市や文化財保護をめぐる法技術を修得し、理論的背景も考慮しながら複眼的に考察していきます。

排除の力学の社会学的研究
担当教員：野島那津子 准教授

マイノリティ（社会的少数者）をめぐる問題を中心に、ある種の人々が、なぜ、どのようにして社会的に排除されている／きたのかを、社会学や近接領域の文献を参照しながら考えていきます。

ゼミ紹介（一例）

官民連携事業など公共政策を法的観点から評価・構成する方法を学ぶ

憲法は国家と個人や社会の法関係を統治機構と基本権の観点から研究し、行政法は法規制・行政訴訟・行政組織・国有公有財産（公物）の法的構造を研究します。国の基本組織・構造を「実質的意味での憲法」と言い、従来、実質的意味の憲法は公法の領域でしたが、現代では民法などの財産法との関連が強くなっています。たとえば所在者不明土地の管理権限をめぐる物権法と収用法の相互関係、PFI法上物権とされるコンセッションとプロジェクトファイナンスにおける担保法や債権法と公物法の関連などです。ゼミでは学生の関心に応じ具体例に即し関連法領域の法律論と実態調査双方の観点からリサーチします。

ゼミ担当教員の声

塩見佳也　准教授　｜　国法学（行政法・憲法）／ドイツ法

ゼミ生の声

安間堅信　｜　文化政策学科 3年　浜松市立高校出身

宅地建物取引士の資格勉強をしていたことから法律に興味を持ち、塩見ゼミに入りました。現在は民法を中心に取り組んでいます。ゼミ生と資料の論文を読んだり、重要な判例を題材に内容をまとめたりしています。一つの判例でも様々な法律が絡んでくるため、法律を体系的に理解できるようになり、法律同士の関係性や趣旨まで考えるようになりました。

日常生活に関わる民法を、判例を通して学び、法律を体系的に捉える

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

●●● 在学生の声

興味のある分野を横断的に学べるSUAC。実践する力も身についた

「経営」「情報」「政策」の3つの専門分野を広く学ぶことができ、その上で進みたい分野に絞れることに惹かれて進学しました。座学だけでなく実践的なカリキュラムが充実していることもSUACの魅力で、本学科ならではの学びは「リサーチ&プランニング実習」。学生が自主的に課題を見つけ、調査研究を行い、成果を発表する授業で、私は「大学生における推し活の実態」をテーマに200人にアンケートを実施。資料の分析やプレゼンテーションは大変であると同時に楽しくもあり、自分の成長につながったと感じています。「文化芸術体験演習」では狂言や落語などのプロフェッショナルからレクチャーも受けられ、世界が広がりました。今はメディア系のゼミに所属し、先生やゼミ仲間と活発に意見を出し合いながら映画広告について研究を深めています。初めは学びたいものが決まっていなくても大丈夫。学科の学びを横断的に学ぶことが、視野を広げるチャンスです。

木俣萌花 KIMATA Moeka
文化政策学科 3年　浜松日体高校出身

高3のとき　高2で志望校をSUACに絞り、コロナ禍のオープンキャンパスにオンラインで参加

1年次　入学前から興味がたくさんあり、デザイン系もメディア系も幅広く学ぶ。音響照明技術研究会「P@tch-code」に参加

2年次　「リサーチ&プランニング実習」などで実践的な学びを深めつつ、専攻するゼミを絞る

3年次　メディア系のゼミに所属し、専門分野の学びを深める。同じ企業のインターンに複数回参加し、人脈を作る

「政策」を学ぶためにSUACへ。公務員を目指しつつ地域に貢献できる力を養えた

高校生の頃から公務員の仕事に興味があり、政治や経済、身近な生活にも関係がある「政策」について学びを深めたいと考え、本学科を志望しました。社会学や行政論など幅広い学びに触れる中で、自分の興味にぴったり合ったのが「都市経営論」。まちづくりや人々のつながり、インフラ整備など、都市政策について興味深く学べ、ゼミ専攻にもつながりました。今、研究しているのは、行政の取り組む防災について。近年、多発する集中豪雨などによる災害の対策や、インフラの老朽化による災害時の輸送路の確保など、地域社会をどう支えていくか、興味深いテーマとして取り組んでいます。「文化政策」という学びが、まだよく分からない人でも、経営や経済、社会学や心理学など幅広い分野から、自分に合う分野を選べるのもSUACの強み。地方公務員になるという最初の目標は達成できたので、都市政策分野、さらには舞台芸術や美術など文化事業の分野でも、SUACでの学びを活かして地域に貢献したいと思っています。

鈴木優真 SUZUKI Yuma
文化政策学科 4年　愛知県立豊丘高校出身

高3のとき　「政策」が学べる大学を探す中でSUACを知り、志望校の一つに絞る

1年次　コロナ禍で前期はオンライン授業。自動車免許を取得

2年次　学科の授業を受ける中で、ゼミ専攻を考えつつ科目を絞る

3年次　夏季、冬季の休暇中、市役所のインターンシップに参加

4年次　前期は地方公務員試験に取り組む日々。後期に念願の車購入

進路　愛知県庁

文化政策学科の知と実践の力

中山間地域の問題解決や集落の維持を考える

フィールドワークを通じた地域づくりの実践

昨今、人口減少や高齢化によって中山間地域の集落が消滅するような主張が見られます。しかし、集落の人口が減少しても、住民の高齢化が進んでも、そこから転出した子どもやそこに地縁を有する孫がその集落に通い、実家の生活を支援したり、集落の行事に参加したりしている限り、そう簡単に集落は消滅しません。舩戸ゼミでは、浜松の中山間地域における集落を訪ね歩き、現地で米作りや蕎麦作りなどの集落の共同作業に参加し、集落外に居住する子ども・孫と実家・集落との関係について調査研究しています。そして、その結果に基づく地域づくりの方策を現地で開催する調査報告会で発表し、地域住民の方々と共に地域の問題解決や集落の維持を図る実践活動に取り組んでいます。

障害を持つ方と社会とをアートでつなぐ

華を結うひとたちプロジェクト2023

静岡県文化政策課や障害者アートセンターの方々と共に官学連携活動を行っています。2023年度はコミュニティアート活動として、障害を持つ方と学生が「手形アート」として大きな作品を共に作り上げました。「東アジア文化都市2023」のロゴマークから発想を得て、プロジェクトのテーマを「華を結う」としました。「結う」には「作り上げる」という意味があります。手形アートを通して華やかな個性が作り上げられる様子を表し、障害の有無にかかわらず、ワークショップの参加者全員で作り上げる大型作品では、「春・夏・秋の季節の華」を表現しました。
ワークショップの様子を記録した動画は、本学ギャラリーに作品と共に展示。また静岡県障害者芸術祭でも展示され、多くの方に見て、感じていただくことができました。

卒業生の主な進路 （抜粋）

公務

静岡地方検察庁
静岡労働局
警視庁
愛知県庁
群馬県庁
静岡県庁
山梨県庁
静岡県警察本部
静岡市役所
浜松市役所
名古屋市役所
磐田市役所
御前崎市役所
掛川市役所
菊川市役所
沼津市役所
袋井市役所
富士市役所
三島市役所
焼津市役所
蒲郡市役所
新城市役所
豊橋市役所
福井市役所
渋谷区役所
杉並区役所
静岡県教育委員会（教員）
浜松市教育委員会（教員）

金融・保険業

遠州信用金庫
岡崎信用金庫
蒲郡信用金庫
（株）静岡銀行
静岡県経済農業協同組合連合会
静岡県労働金庫
静岡東海証券（株）
しずおか焼津信用金庫
静銀ティーエム証券（株）
静銀ビジネスクリエイト（株）
島田掛川信用金庫
（株）清水銀行
住友生命保険（相）
静清信用金庫
損害保険ジャパン（株）
第一生命保険（株）
東京海上日動火災保険（株）
とぴあ浜松農業協同組合
豊橋信用金庫
日本銀行静岡支店
日本生命保険（相）
沼津信用金庫
浜松磐田信用金庫
三ヶ日町農業協同組合

製造業

（株）河合楽器製作所
スズキ（株）
はごろもフーズ（株）
浜松ホトニクス（株）
（株）ヤタロー
ヤマハ発動機（株）
ヤマハモーターソリューション（株）
ローランド（株）

サービス業（教育・広告・ホテルなど）・医療福祉

（株）内田洋行ITソリューションズ
（株）SBSプロモーション
（株）エヌ・ティ・ティ・データ
サーラエナジー（株）
（株）しずおかオンライン
（株）静岡新聞社・静岡放送（株）
（福）聖隷福祉事業団
（株）中日新聞社
（福）天竜厚生会
（株）TOKAIホールディングス
（株）日テレ アックスオン
日本郵便（株）
日本放送協会
浜松商工会議所
（株）船井総合研究所
（株）マイナビ

卸売・小売業

（株）遠鉄百貨店
（株）杏林堂薬局
鈴与商事（株）
（株）長坂養蜂場

運輸・旅行業

遠州鉄道（株）
（株）ジェイアール東海ツアーズ
静岡鉄道（株）
名古屋鉄道（株）
（株）ハマキョウレックス
富士山静岡空港（株）

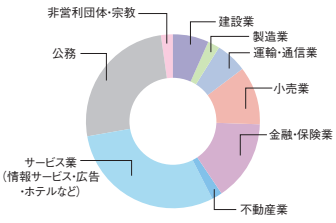
建設業

大和ハウス工業（株）
積水ハウス（株）

大学院進学

東京学芸大学
静岡文化芸術大学
筑波大学
名古屋大学

就職データ



（2023年度実績）

- 建設業　…7%
- 製造業　…2%
- 運輸・通信業　…6%
- 小売業　…11%
- 金融・保険業　…15%
- 不動産業　…2%
- サービス業（情報サービス・広告・ホテルなど）…30%
- 公務　…26%
- 非営利団体・宗教　…2%

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

文化政策学部 芸術文化学科 定員55名

今日の社会における
芸術の可能性を求めて。

複数形のArtsで表記される今日の芸術。

音楽、演劇、絵画、映像など単体で表現することもあれば、

複数のジャンルがコラボレートして、新しい芸術ジャンルを生み出すこともあります。

芸術が社会でその力を発揮するためには、芸術が市民に受け入れられなくてはなりません。

芸術を生み出す芸術家のほかにも、芸術を学問的に研究する人、

美術館や劇場など芸術組織の運営に携わる人や、

より広い視点から政治や経済の仕組みを考える人などが必要となります。

芸術文化学科では、多角的な視野に立って芸術と芸術を支える社会システムの両面を理解し、

多様な分野で芸術の持つ力を社会に活かすことのできる人材を養成します。

取得可能な資格 ▸▸▸ 詳しくはp076をご覧ください。

- 図書館司書
- 博物館学芸員
- 社会調査士

人文科学と社会科学を多角的に学ぶ、充実したAAAE※カリキュラム

芸術文化学科は芸術や文化について多角的に学ぶことができる学科です。芸術を主専攻としながらも政治・経済・経営・法律等についても十分な理解を持とうとする学生、芸術について深い知識を持ちつつ社会科学の知識を駆使できる専門家や官民の政策プランナー等を志望する学生などを求めています。芸術文化学科のプログラムは芸術運営教育者協議会（Association of Arts Administration Educators、AAAE）に正会員として加盟し、AAAEが定期的に策定するカリキュラムスタンダードを参照しながら、芸術文化の分野におけるグローバルな人材育成を目指しています。

※ AAAE（芸術運営教育者協議会）は、高等教育機関でアートマネジメント教育に携わる関係者のネットワーク。アメリカにベースをおく非営利組織で、1975年に創設されました。大学等のアートマネジメント教育プログラムのカリキュラムスタンダードを定期的に策定・更新するなど、教育の質を高めるための先進的な取り組みをしています。

政策とマネジメント

- 芸術文化政策の理論
- 芸術文化政策の国際比較
- 現代社会と芸術文化
- 文化施設の管理と運営
- アートマネジメント
- 文化財保護政策

文化と芸術

- 文化と芸術
- 音楽史
- 演劇史
- 美術史（西洋）
- 美術史（日本・東洋）
- 現代芸術論
- 芸術特論
- 鑑賞と批評

芸術運営の実践

- 劇場プロデュース論
- 展示プロデュース論
- 舞台運営論
- 舞台技術論
- 博物館実習 など

○ 芸術文化学科での学びの基礎は、高等学校の「地歴・公民」です。
○ 「地理」で学ぶ地域文化と「日本史」「世界史」で学ぶ文化史を深めるのが、美術史、音楽史、演劇史等の科目です。
○ 「倫理」で学ぶ思想や哲学が美学につながり、「現代社会」「政治経済」の学びが「政策とマネジメント」の科目群の基礎となります。

3つの系統からなる専門的な科目群

1 芸術・文化を理解する

多様な芸術、文化のありようについて学び、その諸相を探究します。歴史的認識の醸成と、最新の知識の修得によって、豊かな芸術、文化の内容を理解し、それらが現代に生きる私たちの感覚、意識をどのように形づくっているかを考えます。

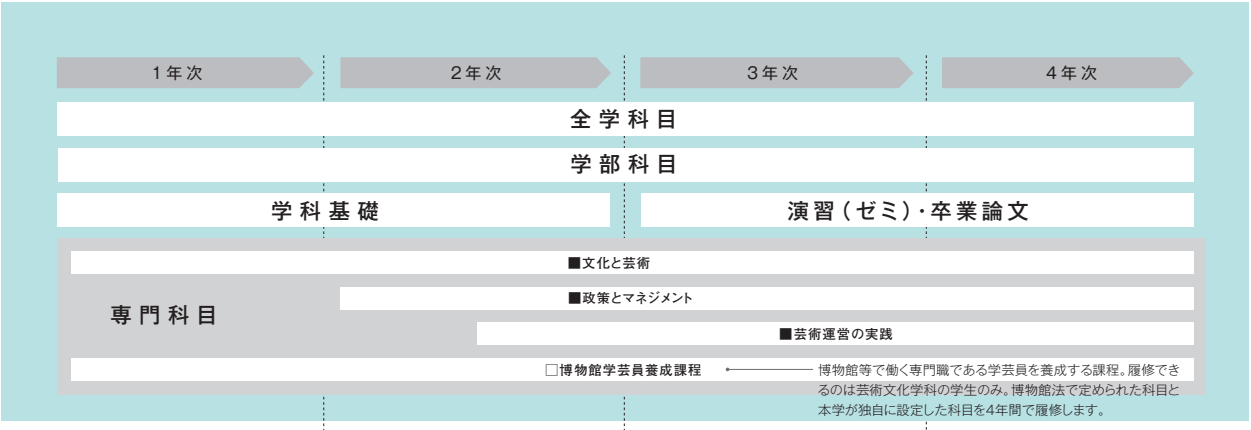
2 芸術を社会科学の視点から学ぶ

人間の芸術活動を理解するためには、芸術作品や芸術家について理解するだけでは不十分です。芸術文化学科では、文化経済学等を基礎として、様々な制度・政策や国・自治体・企業等による支援、そして芸術組織等の経営について学びます。

3 2つの側面から多角的に学ぶ

芸術文化学科では「文化と芸術」「政策とマネジメント」というカリキュラムにおける2つの柱を設け、芸術や文化について人文科学と社会科学の両面から学びます。加えて、実践にも対応できる科目も開講し、理論と実践とのバランスのとれたカリキュラムを用意しています。入学定員55名に対し14名の専任教員を擁し、きめ細かい少人数教育を行います。

芸術文化学科で学ぶ4年間



4年間の流れ

新しい視点の開拓

◎芸術文化を多様な側面から捉え、アカデミックな見方の可能性を体感する。◎1年次から多くの専門科目を開講。◎興味のある分野から、自分なりの新しい視点を開拓する、大学生としての学習をスタート。

芸術を多角的に捉える

◎諸芸術に関する基礎理論の充実。◎芸術を支える様々な条件や環境を、人文科学的な観点からだけでなく、社会科学的な視点からも捉える力を養う。◎「芸術文化基礎」で、自分がこれから関心を深めていく領域と濃密に向き合い、確信を持ってアプローチする力を養う。

知識と実践力を身につける

◎各自ゼミに所属し、自分が深めようとする研究領域の手がかりを見つけ、身につけた基礎知識と研究方法を活用し、独自の課題に取り組む。◎「芸術特論」などで、より専門的な知識や思考法を学びつつ、「芸術運営の実践」などの科目群を積極的に活用しながら、知識と実践を結びつける。

テーマを深化させる

◎卒業論文のテーマを決め、論文の完成を目指す。◎ゼミを通して培ってきた専門領域の知識を深め、これまでに学んだことを総動員して、大学生活の集大成とする。

開講科目例

▶▶▶ カリキュラム一覧はp090以降をご覧ください。

近代日本の音楽文化を振り返り、未来を創造する

「音楽史Ⅰ·Ⅱ」【1~4年次／専門科目】

私たちは、当たり前のようにピアノやギターの音楽を楽しんでいますが、それはどのような道筋をたどってきたのでしょう。音楽史Ⅰ·Ⅱは、これからの音楽文化を構想·創造するために、西洋や日本における過去の音楽を丁寧に振り返り、再考することを目的としています。

アートを運営する組織を取り巻く環境を学ぶ

「アートマネジメントA·B」【2~4年次／専門科目】

公共性を持つ非営利芸術組織のマネジメントであるアートマネジメントの各論を学びます。非営利芸術組織の特徴、および日本のそれらが持つ課題を踏まえて、課題解決のために必要となる、より専門的な領域についての理論的、実践的な知識を身につけます。

研究対象としての美術作品の見方を実地に学ぶ

「鑑賞と批評Ⅰ·Ⅱ」【3·4年次／専門科目】

実際に様々なジャンルの展覧会等に行き作品を観察することで、作品についての基本的知識を学ぶとともに、どのように作品を見るか実体験を通して修得します。その作品観察をもとに思考し記述する力を身につけるため、見学後は毎回テーマを設定しレポートを作成します。

実地や実践で学ぶ学芸員資格課程の総仕上げ

「博物館実習」【3年·4年次／資格科目】

1年生から資格課程で学んできた知識や理論を、実際の体験に落とし込み、学芸員として働く実感を得てもらう科目です。学内での資料の取り扱いや学外の館園実習を通して、学芸員として必要な技能を修得し、卒業後に博物館で働く心構えを養うことを目的としています。

ゼミ（卒業研究演習一覧）

ゼミナール（演習）とは

3年次前期から始まるゼミナール（演習）では、共通の関心を持つ学生が集まり、毎週行われる授業のほか、現場研修やフィールドワークが企画されるなど、専門的な少人数の授業が行われます。担当教員が個別のアドバイスを行い、4年次には卒業論文の執筆に展開していきます。

現地調査を通じて音楽と社会に向き合う
担当教員：梅田英春 教授

世界中の音楽は社会と深く関わっています。ゼミ生は民族音楽学の基礎を学んだ後、国内外で音楽に関するフィールドワークを一人で行い、その成果をもとに音楽と社会のつながりについて考えます。

過去の音楽文化から「現代社会」を考える
担当教員：奥中康人 教授

地方創生の掛け声のもとで ―「B級グルメ」や「ゆるキャラ」のように―音楽を利用するのはもうウンザリ。身近な音楽に目を配り、文化や芸術の枠組み自体を再考してゆくことを目的としています。

残された美術作品に向き合う
担当教員：片桐弥生 教授

日本美術史の基本的な研究方法を、実際に作品をじっくり見て、研究論文などを読むことで身につけます。残された美術作品が制作当時、何を意図して作られ享受されていたのかを明らかにすることを目指します。

西洋の音楽文化・音楽と社会の関係を探る
担当教員：上山典子 教授

西洋を中心とする音楽文化や、音楽と社会、音楽と政治、音楽と戦争などをテーマに、基本文献から最新の論文までを読み、議論を重ねることで、知識と視野を広げていきます。

文化・芸術活動を担う人々や団体を見る
担当教員：高島知佐子 教授

文化・芸術活動を経営の視点から分析します。フィールドワークを通して、現場の人々の工夫や苦労を学術的に紐解きます。近現代社会に関する文献を多読し、理論と現場から思考力・分析力を身につけます。

現代芸術・視覚文化への理論的アプローチ
担当教員：谷川真美 教授

多様な形態をみせる現代の芸術や、日常生活をとりまく様々な視覚文化について、芸術の歴史と思想を手がかりとしながらその本質について考え、私たちの生きる現代とはどういうものかを考えます。

演劇・劇場の学問は現場から生まれる
担当教員：永井聡子 教授

演出理念、空間、運営のメカニズムを分析する力を養います。帝国劇場、築地小劇場、東京宝塚劇場が海外の演劇史と作品を革命的に変えたように、観客が仕上げる演劇の本質を理論と実践から探究します。

舞台芸術創造環境と地域社会に関する研究
担当教員：佐藤良子 准教授

厳しい課題に直面する地域社会を踏まえ、音楽や舞台芸術を取り巻く環境・制度をテーマに、フィールドワークを交えた質的調査によって実態を把握し、国や自治体による支援のあり方を考察します。

博物館・美術館の機能と役割を考える
担当教員：田中裕二 准教授

社会のニーズが多様化し、博物館に求められることも変わり、運営には学芸員だけではなく多彩な人材が必要とされています。博物館が直面する現状と課題を認識し、博物館の最適な運営手法や社会的な役割を考えていきます。

劇作品を内（内容）と外（背景）から考える
担当教員：稲山 玲 講師

戦後日本の劇作家たちが生み出した作品の中から具体的な作品を取り上げ、そのテキスト、演出を分析します。加えて、上演当時の社会背景、制作環境を調査することで総合的に作品を考察します。

西洋演劇の創造と国際演劇交流の研究
担当教員:田ノ口誠悟 講師

台詞劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど西洋出自の舞台芸術の分析手法を学びます。また、西洋演劇の日本における受容、海外戯曲翻訳・翻案といった越境的な演劇文化の交流についても考察します。

芸術文化を通して皆が憩える広場を創る
担当教員：南田明美 講師

芸術文化を通して社会的弱者が声をあげやすい場を創るには、どのような要素が必要なのか。そもそも芸術文化の力とは何なのか。質的調査を通して、それらの問いを追究していきます。

西洋の美術作品から美術と社会の関係を考える
担当教員:藪田淳子 講師

西洋の美術作品が生み出された社会背景や政治経済、各地域の文化交流に留意しながら、西洋美術史の基礎を学びます。先行研究を整理して作品分析を行い、美術と社会の関わりについて考えます。

ゼミ紹介（一例）

一人ひとりが自分ごととして、地域における舞台芸術創造環境の「これから」を探究する

ゼミでは、音楽や舞台芸術分野を中心に、アーティストや企画・制作者をはじめとする担い手や、その方々の活躍の場である文化施設や音楽祭等と、地域との関わりに着目し、国や自治体の文化政策を検討します。文化芸術を生み出し、生業とし、守り育てていく環境について、学生の皆さんが実体験や研究を通して自ら感じ、考えたことを出発点に、地域社会で文化芸術活動を持続可能にしていくための方策を探っていきます。

ゼミ担当教員の声

佐藤良子 准教授 ｜ 舞台芸術政策論／地域文化振興論

ゼミ生の声

東村歌恩 ｜ 芸術文化学科 3年 三重県立四日市南高校出身

公立文化施設の運営について関心があり佐藤ゼミに入りました。新設ゼミということもあり、ゼミ生3人の少人数でじっくり学べるのも魅力です。現在は芸術文化振興基金の助成事業について研究中。調査方法としてインタビュー調査の理論を学び、ゼミで招いた文化財団の方に取材を行い、実践することができました。今後の自分の研究に取り入れていきたいと思います。

少人数のゼミならではの密度の濃い学びが魅力。研究に必要な調査方法も身につけることができた

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

●●● 在学生の声

演劇と社会を近づける学びと活動に今は夢中。感動や喜びを届けたい

演劇を学びたいと思うようになったのは、高校の演劇部時代に周囲の人たちの演劇への関心の薄さや、表現が舞台から客席へ一方通行であることに疑問を感じたから。演劇を多くの人々にとって身近なものにしたいと思い、芸術と社会を近づける方法を学べる本学科を選びました。1年次から演劇に関する授業をめいっぱい取り、2年次からはそれ以外の分野も学ぶことで、芸術に対する幅広い考え方を知り、「芸術とは何か、何のためにあるのか」と自分に問いかけ、考える機会が増えました。今は演劇教育や演劇的手法を使った取り組みの学びを深めています。地域連携演習の一環として、小中学生に演技のワークショップを行う「出張お芝居!ぶちまり」への参加は、大きな転機となりました。芝居を通して、初めて会う人や新しい出会いを提供できる、そんな瞬間に立ち会えることへの感動、喜びにはまっています。SUACは自主的に活動をしている人が多く、たくさんの気づき、知らなかった世界に出会えるきっかけにあふれた場所です。ぜひ体験してみてください。

庄司琳絵 SHOJI Tamae

芸術文化学科 3年　東京都立昭和高校出身

高3のとき 演劇部に所属。「演劇・社会・大学」のワードで検索し、SUACを探し出す

1年次 演劇に関わる授業をめいっぱい受講。「出張お芝居!ぶちまり」に参加

2年次 日本の演劇や芸術教育の歴史を学ぶ中で、演劇教育に興味を持つ

3年次 演劇が学べる稲山ゼミを専攻。ぶちまりでの活動を通して、様々な出会いが広がる

「芸術活動する人を支えたい」。入学当初の思いを育み、成長させた4年間

中学、高校と吹奏楽部で活動していた経験から、芸術活動をする人々を支えたいと思うようになり、アートマネジメントが学べる本学科に進学しました。文化政策論や芸術社会学、マーケティング論など様々な授業で知見を広め、専攻した南田ゼミでは、どのようにすれば芸術を通して皆が憩える広場をつくれるか、社会的包摂についても学んでいます。1年次からボランティアとして、「掛川文化クラブ」という地域文化クラブの活動にも参加。教員の働き方改革を目的に部活動の地域移行が進む中、小中高生が自由に音楽を楽しめる場づくりの可能性を感じ、楽器の演奏指導をしながら卒業論文のテーマとして研究しています。SUACの中でも芸術文化学科の学生は、それぞれ何か好きなことがあり、“思いの炎”を持っていると感じます。その対象が美術なのか、音楽、舞台芸術なのかは様々ですが、まだ炎を持っていなくても、焚きつけてくれる出会いがある大学です。私の炎は「人を支える仕事がしたい」という思いにつながり、卒業後も育んでいこうと思います。

石川彪吾 ISHIKAWA Hyogo

芸術文化学科 4年　静岡県立掛川西高校出身

高3のとき 先生からアートマネジメントが学べるSUACを紹介される

1年次 前期はコロナ禍、後期からキャンパスへ。掛川文化クラブの活動に参加

2年次 軟式野球サークルで野球を楽しむ日々。学生らしい生活を満喫

3年次 南田ゼミを専攻。インターンシップに参加し、営業職に手ごたえを感じる

4年次 就職内定を得る。掛川文化クラブの活動も継続しつつ卒業論文作成中

進路 株式会社USEN-NEXT HOLDINGS

芸術文化学科の知と実践の力

社会における芸術のあり方を考える

ホスピタルアートプロジェクトしずおか（HAPS）

アートやデザインで療養環境を良くするホスピタルアート。HAPSでは、年齢や経験にかかわらず、病院にいるすべての人が参加できるワークショップや展覧会等を学生が病院職員やアーティストと共に一から企画・運営しています。活動を継続するための、数年先まで見据えた資金調達、会計などの仕組みづくりも学生が担います。支援企業の方が準備作業に参加するなど、多様な人々の協力で成り立っている活動です。HAPSを通して、アーティストや病院利用者・職員、支援者、学生が新たな気づきを得て、芸術、医療、さらには社会のあり方を考えるきっかけになることを目指しています。

4年間の学びの集大成

卒業論文発表会

卒業研究は、まず7月に開催される「卒業論文テーマ発表会」が最初の関門です。それから半年の期間を調査・執筆にあてて、1月末に提出することになります。さらに芸術文化学科では、この研究成果を発表するために、毎年2月に「卒業論文発表会」を開催しています。テーマは古今東西の芸術に関するものから、芸術文化政策・アートマネジメントに関わるものまで多種多様。卒論発表会には、卒業生も、新年度入学予定者も集まるので、「ゲイブン」での4年間にわたる研究の集大成に接しながら、交流する機会にもなっています。2023年度は各ゼミから選ばれた11本の発表が行われました。

Webサイトで過去の
卒業論文題目が見られます。

卒業生の主な進路（抜粋）

公務

静岡県庁（行政・警察行政）
静岡市役所
浜松市役所
掛川市役所
三島市役所
豊橋市役所
岐阜市役所
松本市役所

製造業

スズキ（株）
（株）石舟庵
チャコット（株）
（株）デンソー
浜名湖電装（株）
矢崎総業（株）

金融・保険業

遠州中央農業協同組合
（株）静岡銀行
（株）常陽銀行
第一生命保険（株）
日本生命保険（相）
浜松磐田信用金庫

卸売・小売業

天方産業（株）
ネッツトヨタ静浜（株）
（株）安心堂
資生堂販売（株）
（株）ハンズ
ヤマハミュージック東海（株）

ガス・運輸・旅行業

遠州鉄道（株）
近畿日本鉄道（株）
中部国際空港旅客サービス（株）
（株）TOKAIホールディングス
サーラエナジー（株）
（株）ラグーナテンボス

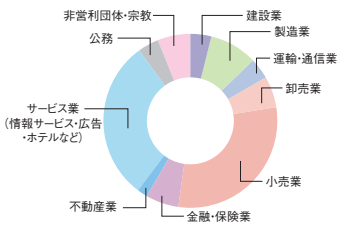
サービス業・その他

国立大学法人静岡大学（職員）
（株）全国商店支援センター
テレビ静岡システムクリエイツ（株）
（株）ドリームプラザ
日本郵政（株）
LEGOLAND Japan（同）

大学院進学

静岡大学
静岡文化芸術大学
成城大学
立命館大学

就職データ



（2023年度実績）

- 建設業　…4%
- 製造業　…9%
- 運輸・通信業　…4%
- 卸売業　…6%
- 小売業　…30%
- 金融・保険業　…6%
- 不動産業　…2%
- サービス業（情報サービス・広告・ホテルなど）…30%
- 公務　…4%
- 非営利団体・宗教　…6%

芸術文化に係る仕事

文化財団民間劇場、美術館、指定管理者（企業）

（株）エスピーエスたくみ
（株）共立ファシリティ・マネージメント
（株）ケイミックスパブリックビジネス
サントリパブリシティーサービス（株）
（株）シグマコミュニケーションズ
（株）博多座
（株）ヤタロー
（独）日本芸術文化振興会
（公財）静岡県文化財団
（公財）三重県文化振興事業団
（公財）静岡市文化振興財団
（公財）浜松市文化振興財団
（公財）横浜市芸術文化振興財団
（公財）名古屋市文化振興事業団
（公財）しまね文化振興財団
（公財）豊橋文化振興財団
（公財）豊田市文化振興財団

実演団体、コンテンツ制作（舞台芸術・映像など）

（株）アリス館
（株）テレビ山梨
（株）SBSプロモーション
（株）キョードー東京
（有）劇団かかし座
（株）静岡新聞社・静岡放送（株）
（株）宝塚舞台
人形劇団むすび座
（株）ビーエーシー
浜松ケーブルテレビ（株）
（株）若尾綜合舞台

学芸員資格関連

磐田市香りの博物館（学芸員）
小泉八雲記念館（学芸員）
（公財）平野美術館（学芸員）
和光市役所（学芸員）
日本通運（株）関東美術品支店
（株）スペース
（株）丹青ディスプレイ
（株）墨仁堂

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

学科を横断する学び

文化政策学部 3学科内：国際文化学科／文化政策学科／芸術文化学科

文明観光学コース

世界中の人々が、魅力的な出会いを求めて旅をする観光のグローバル化が進む中、観光は日本や地域の経済を活性化させる重要な分野として注目されています。本コースは、文明史をふまえ、新たな地域の宝（観光資源）の発掘や文化・芸術を活用した観光事業の開発に携わる人材の育成を目指します。

コースの詳細は
公式Webサイトへ

目指す人物像

新しい観光資源の発掘

◎名所・旧跡や食・温泉などの観光資源に加え、文化遺産や産業遺産、芸術文化活動など、新しい観光資源の発掘を担える人材を育成します。

観光分野における地域活性化

◎浜松市内を中心として三遠南信地域で行うフィールドワークの体験を活かし、地場産業や伝統文化を踏まえて、観光分野における地域活性化を推進できる人材を育成します。

グローバルな視野による貢献

◎実践的な外国語能力と文化・芸術分野の実務能力を備え、グローバルな視野から地域の観光・文化に貢献できる人材を育成します。

コースの仕組み

本コースは、文化政策学部の3学科すべての学生が履修することができます。

◎1年次のガイダンスで、カリキュラム（必修・選択科目、ゼミ選択など）についての説明を受け、該当する科目を1～2年次の間に履修します。

◎2年次に、ゼミ説明会や面談などを経た上で、文明観光学ゼミを選択します（一定の定員があります）。

◎3年次から、文明観光学コース専任教員によるゼミに所属し、卒業研究の指導を受けます。

◎文明観光学コースを履修した学生には、文化政策学部各学科の卒業証書に加え、文明観光学コースの修了証を授与します。

開講科目例

文明と観光

■担当教員…横山俊夫 学長 ほか　■開講年次…1年次前期

文明観光学コースの基礎となる必修科目です。まず「文明」と「観光」の概念が多様であることを示して、その上で、現代の世界や日本の諸地域に望まれる「文明」を考えつつ、それにかかわる「観光」という現象について考えます。

観光と地理

■担当教員…青木 健 教授　■開講年次…2年次後期

自然環境と社会の関係を解く地理学の視点から、観光について考えます。特に、異なる文化圏の人々が交流し交易した日本の東海道、ユーラシアのシルクロードなどの街道を取り上げ、観光資源としての魅力を探ります。

観光学概論

■担当教員…宮崎千穂 准教授　■開講年次…1年次前期

世界と日本における観光の誕生から、団体旅行などのマスツーリズムへの発展と課題、その後のオルタナティブ・ツーリズムやサステイナブル・ツーリズムへの展開など、観光の歴史的潮流を広い視野から学びます。

写真：静岡県観光協会

オプショナル・スタディーズ

SUAC2025 新カリキュラム

所属学科での専門的な知識に加えて、さらに学びを広げる学科横断プログラム。
テーマに沿ってまとめられた他学科の体系的な科目群を履修し、
物事を総合的・学際的に捉える視点を養います。

プログラムの詳細は
公式Webサイトへ

所属する学科での
専門的な学び

さらに
プラス

他学科科目を中心に
構成されるプログラム

多文化共生プログラム

文化政策学科
芸術文化学科
対象プログラム

【例えばこんな人が対象】

- 日本と世界の社会や文化に関心があり、多様な価値観を身につけたい
- グローバルな視野を持ち、地域や世界で活躍したい
- 多文化共生に関連する研究に取り組みたい

科目例／ ● 多文化とエスニシティ ● 国際協力論 ● 国際労働力移動論 ● フェアトレード論

外国語強化プログラム

【例えばこんな人が対象】

- 外国語能力をさらに強化し、グローバル社会で活躍したい
- 多様な価値観に基づくコミュニケーション能力を身につけ、世界の人々と交流したい
- 外国語を用いて研究に取り組みたい

対象となる言語／ ● 英語 ● 中国語 ● 韓国語 ● フランス語 ● イタリア語 ● ポルトガル語

公共政策プログラム

国際文化学科
芸術文化学科
対象プログラム

【例えばこんな人が対象】

- 国や地方自治体の政策について体系的な知識を身につけたい
- 公務員の業務についての学際的な知識を身につけたい
- 政治・行政・法律などの視点から、海外の経済や企業経営、非営利組織の運営等について研究したい

科目例／ ● 経済学 ● 行政学 ● 地域福祉論 ● マスコミュニケーション論 ● 公共デザイン戦略

経済・経営プログラム

【例えばこんな人が対象】

- 民間企業の経営や非営利組織の運営に必要な知識を体系的に身につけたい
- 経済学・経営学などの視点から、海外の経済や企業経営、非営利組織の運営等について研究したい

科目例／ ● NPO・NGO論 ● マーケティング論 ● グローバルビジネス論 ● 社会統計分析

芸術文化プログラム

国際文化学科
文化政策学科
対象プログラム

【例えばこんな人が対象】

- 芸術を教養として幅広く身につけたい
- 芸術文化（美術、音楽、演劇等）に関連する研究に取り組みたい

科目例／ ● 音楽史、演劇史、美術史 ● 現代芸術論 ● イタリア文化史

※各プログラムの名称・科目構成は変更になる場合があります。

教員紹介

国際文化学科

永井 敦子 NAGAI Atsuko

教授／学科長
西洋史

近世フランスの都市文化を研究し、講義では西洋近代文明にも触れます。ゼミでは外国語文献を使って西洋の歴史と文化を考察します。

青木 健 AOKI Takeshi

教授
宗教学／西アジア文明

古代オリエントからイスラーム期にかけての西アジアの宗教を研究しています。特に、古代ペルシアのゾロアスター教が専門です。

林 在圭 LIM Jaegyu

教授
韓国文化／韓国語

専門は韓国文化・韓国語で、特に日本や韓国の村落社会を対象とした伝統的・基層的な生活文化を研究しています。

Edward Pearse SARICH

教授
英語教育

学生が使える英語を修得できるような支援体制を整えていきます。学生自らの「やりたい」という気持ちを大切にしています。

岡田 建志 OKADA Takeshi

教授
東南アジア史

専門はベトナム史です。20世紀初めのベトナムの民族運動を中心に研究しています。授業では、広く東南アジアの歴史や社会を考察します。

倉本 哲男 KURAMOTO Tetsuo

教授
教職実践学／アメリカ教育学

アメリカ等の教育学の知見を我が国に「輸入する」研究・教育活動と我が国の教職実践を「輸出する」活動を行っています。

佐野 由紀子 SANO Yukiko

教授
日本語学

現代日本語、特に文法の研究をしています。留学生対象の日本語や日本語教員養成課程の授業を担当しています。

Jack RYAN

教授
英語教育

英語への好奇心を引き出し、国際社会で活躍できるよう育成するとともにコミュニケーション能力、読み書き能力の向上も支援します。

高木 邦子 TAKAGI Kuniko

教授
教育心理学／発達心理学

青年期の有能感の特徴と形成要因についての研究と、青年期の対人関係や職業選択要因についての研究をしています。

武田 好 TAKEDA Yoshimi

教授
イタリア語／イタリア文化

研究対象はイタリア語・イタリア文化です。ルネサンス期から近現代に至る文化を個人と国家との関わりから考えていきます。

西田 かほる NISHIDA Kaoru

教授
日本史／文化史

日本近世史、特に宗教史・文化史が専門です。ゼミでは近世以降の史料読解を中心に、身近な歴史・文化・地域を考察していきます。

二本松 康宏 NIHONMATSU Yasuhiro

教授
日本文学／伝承文学

物語や伝説・信仰などが生まれる環境や風土の研究をしています。こだわりたいのはフィールドワークによる感動と実証です。

水谷 悟 MIZUTANI Satoru

教授
日本近現代史

専門は日本近現代史です。明治・大正・昭和期の雑誌による思想運動を、政治・メディア・地域等に注目して研究しています。

美濃部 京子 MINOBE Kyoko

教授
イギリス口承文芸

英語で伝承された昔話や伝説などを研究しています。世界の類話の比較もしています。

兪 嶸 YU Rong

教授
中国経済／開発経済学

中国の格差問題、財政制度について研究しています。特に、経済成長と格差の関係に関心があります。

横田 秀樹 YOKOTA Hideki

教授
第二言語習得／心理言語学／英語教育

第二言語（外国語）習得のメカニズムを、理論言語学に基づいて調べています。また、外国語の学習方法についても研究しています。

石坂 貴美 ISHIZAKA Takami

准教授
国際開発／地域研究（アジア）

途上国のセーフティ・ネット構築に向けて研究・実践に取り組んでいます。国内外の社会課題解決に向けて一緒に探究をしましょう。

内尾 太一 UCHIO Taichi

准教授
文化人類学

この学問の魅力はなんといってもフィールドワーク。他者との出会いを通じて、自分の常識や価値観をアップデートしてみませんか。

崔 学松 CUI Xuesong

准教授
中国文化社会／東アジア国際関係／言語社会学

東アジア国際関係が円滑でない今日、多民族社会の中国など周辺地域と共に逞しく生きる知恵について一緒に考えていきたいです。

佐伯 康考 SAEKI Yasutaka

准教授
国際的な人の移動研究／多文化共生

異質な存在を排除するのではなく、異なるものが混ざり合う中で生じる摩擦を原動力に、新しい価値を共創する方策を考えましょう。

武田 淳 TAKEDA Jun

准教授
開発人類学／環境と開発

フェアトレードや観光を切り口に、開発途上国の貧困や環境問題を研究しています。現場の視点から「地域の発展」を考えましょう。

徳増 克己 TOKUMASU Katsumi

准教授
中東北部と旧ソ連の境界地域史

主に「アゼルバイジャン人」等の民族形成の過程を研究しています。ゼミでは内外の文献を通して近代以降の中東について考えます。

中田 健太郎 NAKATA Kentaro

准教授
フランス文学／視覚文化論

フランスで始まったシュルレアリスム運動について、またシュルレアリスム以降の視覚文化について研究をしています。

西脇 靖洋 NISHIWAKI Yasuhiro

准教授
国際関係論

主としてEU（欧州連合）を事例とした地域統合や、ポルトガルを中心とした南欧諸国の政治外交について研究しています。

福永 達士 FUKUNAGA Tatsushi

准教授
日本語教育

専門は日本語教育です。多文化社会の町である浜松、そして国際社会に貢献できる日本語教育者の育成に取り組んでいます。

宮崎 千穂 MIYAZAKI Chiho

准教授
旅と病の歴史／日本とシルクロード

旅・移動と異文化接触により生じる医学衛生やジェンダー等の社会的問題、文化・芸術の交流について、歴史学的に研究しています。

文化政策学科

四方田 雅史 YOMODA Masafumi

教授／学科長
社会経済史／産業史

日本やアジアに存在する産業やその産地が現在の状況に至った過程や原因について、戦前まで歴史を遡って研究しています。

加藤 裕治 KATO Yuji

教授
文化社会学／メディア論

メディアを通して形成される文化が社会に与える影響について、マスメディアの歴史的研究の立場から考察しています。

小杉 大輔 KOSUGI Daisuke

教授
心理学

人間が社会の中で、何をどのように感じ、考え、行動し、発達するのかについて、心理学的に研究しています。

鈴木 浩孝 SUZUKI Hirotaka

教授
応用ミクロ経済学／産業組織論

複占・寡占市場での企業間の競争や取引について、その仕組みを数理的に解明する研究をしています。

曽根 秀一 SONE Hidekazu

教授
経営学／経営戦略論／経営組織論

経営戦略・組織論、経年的視点から、特に老舗企業や地場産業の存続と衰退について、国際比較も含め研究しています。

田中 啓 TANAKA Hiraki

教授
行政学／政策評価・行政評価

行政機関が有効に機能するための仕組みのあり方や、政策の評価について研究しています。

野村 卓志 NOMURA Takashi

教授
情報アーキテクチャ

情報技術の面から文化政策を考え、より良い生活を達成する社会システムについて研究しています。

林 左和子 HAYASHI Sawako

教授
図書館情報学

公共図書館はなぜ無料なのか、を考えるために、外国の図書館史や児童サービス、特にユニバーサルデザイン絵本を研究テーマとしています。

藤井 康幸 FUJII Yasuyuki

教授
都市・地域計画／まちづくり／創造都市

都市・地域の計画や経営、まちづくりについて、個性的で魅力ある都市、持続可能な都市を意識しつつ、研究しています。

舩戸 修一 FUNATO Shuichi

教授
社会学／地域社会学

農山村は人口減少や高齢化が進んでいます。このような地域の存続可能性を「社会学」の立場から研究しています。

森山 一郎 MORIYAMA Ichiro

教授
経営学／マーケティング論

製造業や小売業のマーケティング戦略について研究しています。これからの市場創造のあり方を共に学んでいきましょう。

小林 淑恵 KOBAYASHI Yoshie

准教授
女性のライフコース／政策／地域福祉

家族形成や就業といったライフコースと政策や福祉制度との関係について研究しています。

塩見 佳也 SHIOMI Yoshinari

准教授
国法学（行政法・憲法）／ドイツ法

法規制の、市民の行動を縛るだけではなく、国家と市場との関係を整備し、価値や情報を生み出す社会的機能や可能性について、考えています。

野島 那津子 NOJIMA Natsuko

准教授
医療社会学／福祉社会論

制度に包摂されない病者・障害者の問題や、ある種の人々の排除を促進させる社会的振り分けのプロセスについて研究しています。

芸術文化学科

高島 知佐子 TAKASHIMA Chisako

教授／学科長
アートマネジメント／経営学

文化芸術団体はどうやって活動を継続、発展させているのか。活動を担う人々、それを支える組織や産業に着目し研究をしています。

梅田 英春 UMEDA Hideharu

教授／文化政策学部長
音楽学

アジア各地の音楽を研究しています。授業では、普段聞き慣れない音楽を通して、音楽と社会の関係について考えます。

奥中 康人 OKUNAKA Yasuto

教授
音楽学

専門は近現代日本の音楽史。特に日本に外国音楽が流入することによって生じる文化変容や土着化現象について研究しています。

片桐 弥生 KATAGIRI Yayoi

教授
日本美術史

私たちの祖先が創り出してきた美術作品には何が求められていたのか、その歴史的位置づけを明らかにしつつ、探っていきます。

上山 典子 KAMIYAMA Noriko

教授／大学院文化政策研究科長
西洋音楽史

専門は西洋の音楽史や文化研究で、音楽が社会の中でどのように生み出され、受容されていくのかに関心があります。

谷川 真美 TANIGAWA Mami

教授
現代美術／芸術学

現代の芸術現象を手がかりに、私たちが生きているこの時代に関わる思想や世界のありようを研究しています。

永井 聡子 NAGAI Satoko

教授
演劇・劇場史／劇場プロデュース論

西洋と日本の演劇・劇場史と舞台芸術の現場を基礎に理論を研究。劇場プロデュースにおける舞台芸術と観客の可能性を探ります。

佐藤 良子 SATO Yoshiko

准教授
舞台芸術政策論／地域文化振興論

音楽や舞台芸術などの活動を持続可能なものとするための政策や地域社会との関わりについて研究しています。

田中 裕二 TANAKA Yuji

准教授
博物館学／日本近代史

博物館の運営や近現代の企業による芸術支援について研究しています。学科では博物館学芸員の資格課程も担当しています。

稲山 玲 INAYAMA Rei

講師
演劇学／現代日本演劇

専門は現代日本演劇です。「王権表象」をキーワードに戦後日本の劇作家たちが生み出した作品を研究しています。

田ノ口 誠悟 TANOKUCHI Seigo

講師
演劇学／西洋演劇史

西洋演劇史を研究しています。台詞劇、バレエ、オペラなど、欧米の舞台芸術が持つ深く多様性に富んだ魅力を一緒に学びましょう。

南田 明美 MINAMIDA Akemi

講師
芸術社会学／アートマネジメント／文化政策論

社会的弱者に寄り添った芸術文化活動について、日本とシンガポールを比較しながら研究しています。「理論と現場の往復」を大切にしています。

藪田 淳子 YABUTA Junko

講師
西洋美術史

西洋美術史を研究しています。美術を通して、様々な時代や国の文化や考え方を学んでみませんか。

※2024年度 在籍している教員を掲載しています。

「人と□」の、より良い関係を考え、提案し、創造する

時代とともに変化する人間や文化の多様性を視野に入れ、すべての人に公平でやさしいデザインによる新しい文化・人間社会の創造を通じて、地域社会の発展や文化の向上に貢献し、国際的に活躍できる人材を育成します。
4年間の学びにおいて、人と人、人と技術、人と環境、人と情報とのより良い関係を考え、創造を支える技術と美的感覚を養い、時代に則した生活文化をつくり上げていくデザイン活動の素養を磨いていきます。

デザイン学部

デザイン学科

社会でのデザインの役割を考える

デザイナーとして基礎となる色彩やデッサン、デザインを取り巻く文化や歴史、社会でデザインが果たす役割などを学び「デザインする」ことを多角的に理解した上で、より良い提案やそれを表現するスキルを習得します。

造形基礎力→応用的造形技法の修得というステップを重視

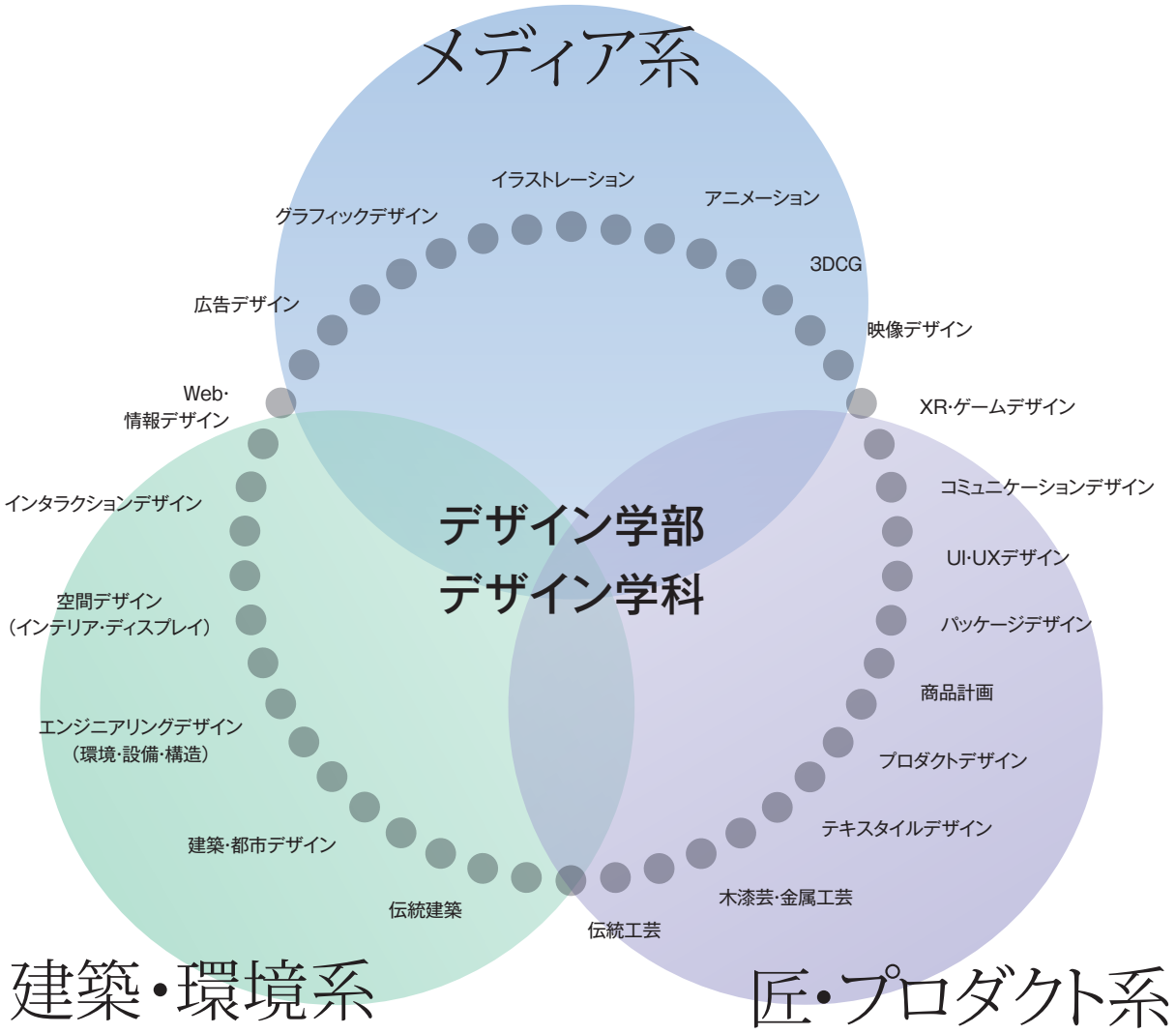
専門科目に先立つデザインに必要なベーシックな技法として、様々な素材や加工法などについて基本を広く学びます。これらの実践的な知識があってこそ、新しく機能的な提案を生み出すことができます。「基礎造形（平面／立体）」では、デザイナーの創造を支える、モノを見る力、成り立ちを理解する力を養います。

充実した工房群で自由な創作活動

様々なデザインを具現化することのできるクレイモデル室・塗装乾燥室・撮影スタジオおよび各種素材（木材・金属・プラスティック・ガラスなど）が加工できる造形系工房が完備されています。また、CG制作やデジタル合成などを行うグラフィックWS室やマルチメディア室の情報系工房、3Dプリンターやレーザーカッターを備え、デジタルファブリケーションに対応した工作室などの実験系工房なども充実しています。これらの多彩な工房群と過ごす4年間は造形の力を伸ばすのに絶好の環境です。

デザイン学部は3つの系を横断し、より広く、より深い学びへ

現在、社会の中でのデザインを取り巻く環境は大きな変化を見せています。かつてのように専門分野の知識や技術さえあれば通用するという状況ではなくなりつつあります。もちろん専門的なノウハウが必要なことは言うまでもありません。ただそれだけではなく、デザインのプロセスにおいて多角的な視点で市場動向を分析したり領域を越境してユニークなコンセプトを立案するなど、いわゆる「考える力」が求められています。この柔軟なデザインの思考力はさまざまな分野の内容を総合的に学ぶことで養われると考えます。本学のデザイン学部は1学科制です。その利点を活かし下記の3つの系にまたがる広範囲で専門性に富んだカリキュラムを用意しています。学生たちはそれぞれの進路を踏まえながら必要な科目を分野にとらわれることなく横断的に履修し、幅広く深い学びを獲得することができます。



デザイン学科で取得可能な資格

◆一級・二級建築士 木造建築士試験 受験資格　◆社会調査士
◆インテリアプランナー登録資格
◆商業施設士補資格（認定校）

※詳しくは p077 へ

デザイン学部

デザイン学科

定員110名

基礎教育から進路までのイメージ

1年次前期 | 1年次後期 | 2年次前期

基礎的な学び

知識を修得する

社会が求める統合的かつ多様なデザイン力を涵養するため、幅広いデザイン領域に共通する概念や理論、現代のデザインへ繋がる歴史やデザインを取り巻く社会環境に関する知識、および国際的なデザイン活動を支える留意事項などを多彩な科目群より学びます。

技術を身につける

豊かな感性と想像力を備えたデザイナーとして社会で活躍するために、自分の発想を平面や立体に的確に表現するなど、デザイナーに必要とされる顧客や社会とコミュニケーションを図る手法を身につけます。また演習を主体とした科目群より新たなアイデアの創造に繋がる造形について学びます。

人にやさしいデザイン

SUACのデザイン教育・研究の基調となるのは、文化・能力・年齢・性別などの違いに関わらず全ての人に平等でやさしいデザインを目指すという理念です。あらゆる立場の人を含むインクルーシブデザインの考え方を理解し、社会の中で幅広く実践できる能力を養います。

専門性を段階的に深める

1年次後期から2年次前期において、3つの系の方向性を意識した科目群によって段階的に専門性を深めていくカリキュラムが設定されています。専門的な知識や造形技法を修得し実践できる力を養います。

学びの方向性を選択

4つの特長

幅広いデザイン知識と技術の修得

1年次から2年次前期までの期間、必修科目や選択必修科目を中心に幅広くデザインの基礎を学びます。特に各分野の概論を履修することで3つの系の特性を理解し学生それぞれが自分の進路の方向性をイメージすることが重要です。

希望と適性をふまえた方向性の選択

デザインの基礎を身につけながらデザイン分野の多様さや選択肢の幅広さを認識します。その上で、自らの興味と適性をふまえつつ希望する進路を見定め、軸足を3つの系のどこに置くかを判断し、専門科目を履修します。

デザイン学科の
Webサイトのご案内 ≫

教員や在学生・卒業生の作品をポートフォリオ形式で見ることができます。

専門的な学び

匠・プロダクト系
- プロダクトデザイン
- 工芸・造形デザイン

メディア系
- グラフィック・コミュニケーション
- 映像・メディアコンテンツ

建築・環境系
- 建築
- インテリア・空間デザイン

横断的な学び

卒業研究・制作

進 路（例）
- ■プロダクトデザイナー
- ■Webデザイナー
- ■エディトリアルデザイナー
- ■グラフィックデザイナー
- ■ゲームデザイナー
- ■インターフェイスデザイナー
- ■商品企画などのプランナー
- ■デザインディレクター
- ■CGデザイナー
- ■家具デザイナー
- ■インテリアプランナー
- ■一級・二級建築士
- ■木造建築士
- ■商業施設士
- ■公務員
- ■伝統工芸作家
- ■大学院進学

卒業研究・制作とゼミについて

3年次後期から担当教員（ゼミ）を選択し、少人数による活動の中で卒業研究・制作に繋がる専門分野の知識や技能を深化させます。

3つの系を横断する専門的な学び

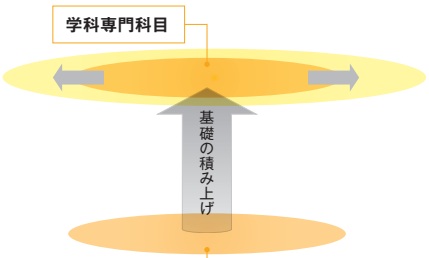
専門的な学びに繋がる多彩な内容が学科専門科目として配置されています。これらの科目には各系の区分が設けられているわけではなく、学生はそれぞれの進路を意識しながら必要な科目を横断的に履修し幅広く深い学びを獲得できます。

多様な活躍の場

現代の社会状況において、デザインを総合的に捉える力を専門分野の実践の中で活かす機会は増えています。各分野のデザイナーという職業を主体として、企業や官公庁など4年間の学びで培われた力を活かすことのできる多様な活躍の場が待っています。

基礎的な学びから多彩な専門科目へ展開するカリキュラム

デザイン学科では1年次から必修科目や選択基礎科目（基礎理論／基礎演習）を設定しデザイナーとして習得すべき総合的な基礎を学びます。そこで身につけた知識や技術が素養の軸となり、その後の学生の進路に対応した多彩な専門科目の履修に活かされます。また、3年次の「専門横断演習」では、異なる専門分野の教員が協働で教育指導を行い、実社会に展開可能なサービス、製品、体験を含めた横断的なデザイン提案に取り組みます。



必修科目・選択必修科目例

●デザイン概論　●基礎造形（平面／立体）　●ユニバーサル／インクルーシブデザイン概論
●プロダクトデザイン概論　●匠造形概論　●グラフィックデザイン概論　●映像構成論　●建築デザイン論
●視覚表現演習　●写真撮影技法　●プログラミング基礎演習　●素材基礎演習　●専門横断演習

基礎的な学び…デザインとは何かを考える

デザインの基本は気づいて考えることです。デザイン学部では芸術的感性だけではなく、歴史・文化・科学の知識を活かしながら身近な暮らしや社会の中に問題を発見する力を重視します。どのようなモノやコトがあればその問題が解決できるのかを1学科制の利点によって培われた総合的な思考で論理的かつ実証的に考え、さまざまな知恵やアイデアを結い合わせ解決策の実現を目指します。このプロセスを通して、デザイン論や手法を具体的に理解しながら社会の幅広い分野の中でデザインの役割を拡張できる人材を育成します。

開講科目例

ユニバーサル／インクルーシブデザイン概論

■開講年次…1年次後期

人の多様性やさまざまな事例を通して「UD／インクルーシブデザイン」の基礎的な知識を体系的に学び、理解を深めるとともに、両学部の学生が、各々のフィールドで「誰もが自立した生活や社会参加できるデザイン」について考える力を身につけます。

デザイン思考

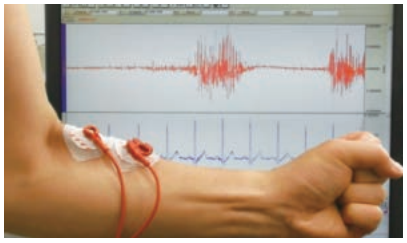
■開講年次…1年次後期

デザイン思考は、デザインプロセスにおける思考方法の一つです。建築やプロダクト、サービスと多岐に渡るデザイン領域で活用され、ユーザー視点を軸としてアイデアを導き出すことを手助けします。この授業ではデザインの基本的な思考法として理解し、実践に用いることを目指しています。

人間工学

■開講年次…2年次前期

人間にとってよりよいモノや空間をデザインする際に必要となる人間工学の考え方や測定の方法について学びます。既存の道具や家具、空間、表示などの事例を通して、分かりやすさや使いやすさを実現するための考え方について理解を深める授業です。



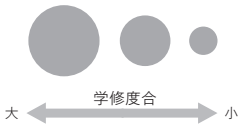
ユニバーサルデザイン演習Ⅱ

■開講年次…2年次後期

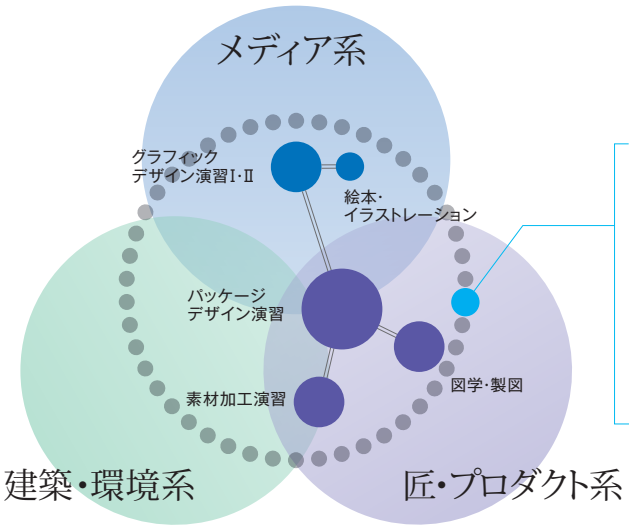
異なる特性を持つ人と共に行動し、観察、分析、ディスカッションを通して、日常生活における課題を提起し、解決策を考えます。「人の感覚や機能の多様性と可能性」を体得することにより、ユニバーサルデザインの本質的な理解が深まります。

専門分野を中心にしながら幅広く知見や技術を養う横断的な科目履修

3つの系にまたがる横断的な科目履修が可能となるカリキュラムによって、学生はそれぞれの進路を意識しながら専門分野を中心に幅広く深い学びを獲得することができます。



横断的な科目履修例



横断的履修のイメージ例

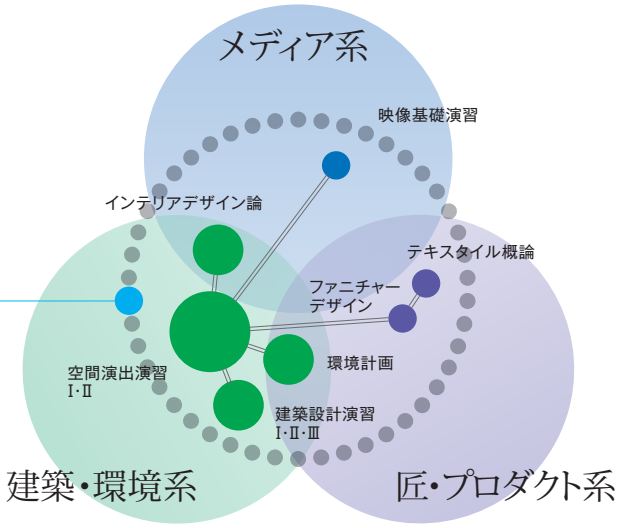
パッケージデザイン
に取り組んでみたい!

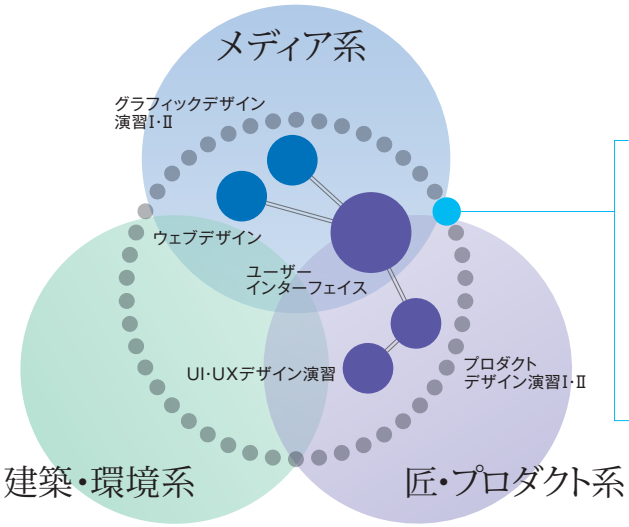
匠·プロダクト系の科目履修に重点を置き、素材や構造などパッケージの道具的機能について学ぶ。またメディア系の科目も履修し、色彩や文字、レイアウトなどパッケージの情報的機能についても学ぶ。

横断的履修のイメージ例

インテリアデザイン
に取り組んでみたい!

建築·環境系の科目履修に重点を置き、建築的な内観設計や構造、設備について学ぶ。またメディア系の科目で映像演出の手法などについて学ぶ。





横断的履修のイメージ例

UI·UXデザイン
に取り組んでみたい!

メディア系と匠·プロダクト系の両方の科目履修に重点を置く。前者ではインターフェイスやインフォグラフィックなどデジタルコンテンツ制作の基本を学ぶ。後者ではUI·UXのプロダクトデザインへの展開について学ぶ。

匠•プロダクト系 Takumi Design & Product Design

基礎的な学び

- デザイン概論
- 基礎造形(平面／立体)
- ユニバーサル／インクルーシブデザイン概論
- プロダクトデザイン概論
- 映像構成論
- グラフィックデザイン概論
- 建築デザイン論
- 匠造形概論
- 視覚表現演習
- 写真撮影技法
- 素材基礎演習
- プログラミング基礎演習

プロダクトデザイン

プロダクトデザインでは、産業活動を通してより良い社会と心豊かな暮らしを実現するための製品やサービスを具現化します。社会を構成するさまざまな人々に魅力ある価値をデザインするために、そのプロセスでは、環境・社会、何よりも人間について深く考える力が必要であり、具現化のためには、外観を含めた機能・分かりやすさ・使いやすさを実現する力が必要です。人間工学やマーケティングなどの講義の他に、自ら検証しながら製品をデザインする演習や課題解決のための各種プロジェクトを通して、こうした能力を身につけます。

1年次ピックアップ科目

プロダクトデザイン概論

プロダクトデザインを学ぶ上での基礎知識習得を目標に、社会や市場、素材や加工技術とプロダクトデザインの関係性について理解し、デザインを具現化するプロセスで必要なデザイナーが身につけるべき技能・技術などについても、さまざまな分野の具体的事例を通して学びます。

工芸・造形デザイン

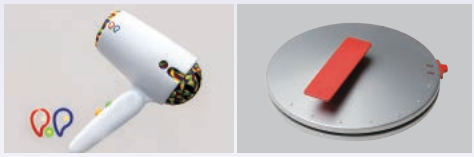
デザインにおいて、素材選びや加工方法を考えて形にすることは、とても重要なことです。古来より我々の生活には、木、土、繊維、金属などのさまざまな素材が用いられてきました。そして長い歴史の中で発展を遂げ、今日では「工芸」という分野が確立され、職人の手業による精度の高いものづくりが海外からも注目を浴びています。本学では日本の伝統的な技法、道具の扱い方などについて学び、手仕事を通して各素材についての理解を深めます。理論と実践の両輪で、社会に還元できる新しいデザインを考えていきます。

1年次ピックアップ科目

匠造形概論

本講義では、造形芸術への理解を深め、現代社会における造形芸術のあり方を学ぶことを目的として、特に工芸技法による造形作品とその作家を具体例に、造形表現に伴う技術および技法と素材から見る特性に焦点を当てます。また、建築空間や総合芸術などに見られる造形芸術を概説します。

2年次ピックアップ科目
プロダクトデザイン演習Ⅰ



手で持って使う機器を題材に製品デザイン開発の入門的なプロセスを体験し、プロダクトデザイン開発に必要な知識とスキルを習得します。モデリングの過程においては、使いやすさの検証とともに、形状や素材の組み合わせによる審美性を追求します。

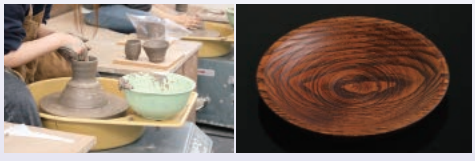
2年次ピックアップ科目
パッケージデザイン演習

内容物の保護・保持・イメージ伝達などのパッケージデザインに必要な特性について学びます。ブランディングを含めた総合的な表現・演出をテーマとして課題制作に取り組むことにより、形・構造・素材・色彩・構成について理解を深め、パッケージデザインの応用的手法を習得します。

2年次ピックアップ科目
素材加工演習

デザインにおいて、さまざまな素材への理解は欠かせません。素材加工演習では、私たちが日常生活において欠かすことのできない身近な素材を用いて、専門的な知識と加工技法を学ぶとともに、その素材や技法の魅力を発見し、新たなデザイン提案に結びつけていきます。

2年次ピックアップ科目
匠造形演習



匠造形演習では工芸分野における、さらに専門的な技法について学びます。各専門工房で、より高度な造形力を習得し、伝統技法についての理解を深めます。さまざまな技法に関する特色を知り、手仕事を通して、日本独自の新たなデザインの展開を模索していきます。

学生作品紹介

2021年度卒　日下部結女／食卓を彩る蒸し器「mim!」（家電、アプリケーション）

2021年度卒　小里弓子／PLUSTAKE（ブランディング・プロダクトデザイン）

2019年度卒　二木 優／モトウッド（教育用小型電動バイク）

2023年度卒　鈴木梨恵琉／七二季折々（染色:筒描き染）

2023年度卒　大平聖羽／寄り添ううつわ（陶芸・ろくろ成形）

2023年度卒　岩本芽依／キミといっしょのさんぽ道（織・つづれ織タペストリー）

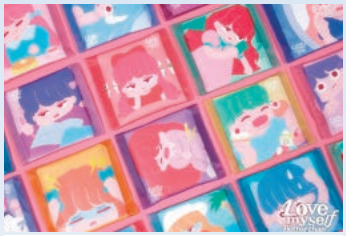
メディア系 Media Design

基礎的な学び

- デザイン概論
- 基礎造形(平面／立体)
- ユニバーサル／インクルーシブデザイン概論
- プロダクトデザイン概論
- 映像構成論
- グラフィックデザイン概論
- 建築デザイン論
- 匠造形概論
- 視覚表現演習
- 写真撮影技法
- 素材基礎演習
- プログラミング基礎演習

グラフィック・コミュニケーション

私たちは日々、無数の情報に囲まれ、他者とコミュニケーションを取りながら生活しています。そのような時代に、情報の本質を正確かつ分かりやすく表現し、適切に伝える能力はとても重要です。印刷やWebなどの多様なメディアへの理解を深め、さらに情報を視覚的に表現するグラフィックデザインの技術を身につけます。広告、パッケージ、イラストレーション、エディトリアル、ブランディングなど、さまざまなデザイン実務に繋がる講義と演習に取り組み、理解と共感を呼び起こすビジュアル・コミュニケーションのデザイン能力を習得します。



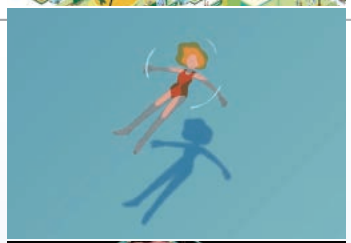
1年次ピックアップ科目

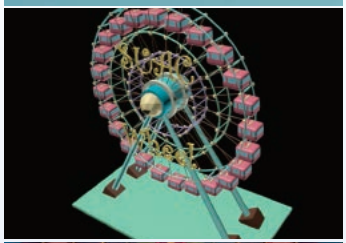
視覚表現演習

グラフィックデザインをはじめ、さまざまなデザイン分野で活用可能な視覚表現の基礎を学びます。文字やシンボルマークなどをデザインする上での基本的な考え方を理解し、課題制作を通じて表現技術を身につけます。視覚表現を専門とする複数の教員によるオムニバス形式の授業です。

映像・メディアコンテンツ

現代のメディアデザインの中核をなす、映像制作のためのさまざまな手法を体系的に学びます。アニメーションの基礎からCGや実写撮影、画像合成など、多彩な映像作成技法の演習を通して、ユニークで質の高い映像コンテンツを生み出す表現力を養います。また、現代ではテクノロジーを活用した「新たな体験・経験」を生み出すデジタルコンテンツの分野に拡張され、インタラクションデザインを中核とした学びや現代アートからインスタレーション、ゲームの技術や知識を身につけ、感性を生かしたエンターテイメントの創作の可能性を学びます。

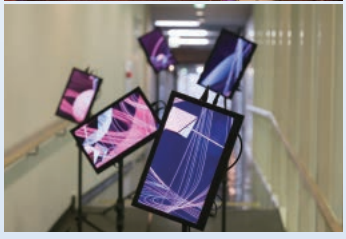




2年次ピックアップ科目

サウンドデザイン

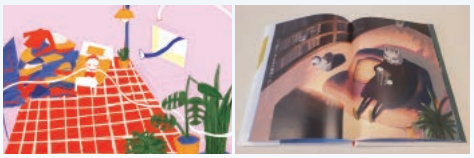
サウンドデザインは音楽制作に始まり、映像制作、ゲーム、ライブパフォーマンスからサウンドアートまで、幅広い分野にわたります。音楽だけではなく、言葉、環境音、ゲームのサウンドエフェクトなど、多岐にわたるサウンドのデザインを学びます。



2年次ピックアップ科目
グラフィックデザイン演習II

第三者にメッセージを伝えるビジュアル・プロモーションをテーマとして複数のデザイン成果物を制作し、グラフィックデザインの実践的な能力を高めます。「何のために」「誰に」「何を」伝えるかという目的性を踏まえた表現を追求し、グラフィックデザイン本来の役割について体験的に学習します。

2年次ピックアップ科目
絵本・イラストレーション演習



「ことばと絵によって物語る生き物」である絵本と、イラストレーションについての専門的な知識と技術を身につけます。優れた作品表現を観察して、色彩・かたちとコンテクスト・構造・物語などとの関係を理解し、イラストレーションおよび絵本の制作を通して表現力・構成力・統合力を養います。

2年次ピックアップ科目
3DCG演習II

3DCGの作業工程であるモデリング、アニメーション、レンダリングを学びながらキャラクターデザイン、カメラワーク、ライティングなどの専門分野も網羅的に学びます。3DCG制作のツールの習得だけではなく、3DCGの表現力も高めていきます。

3年次ピックアップ科目
エンターテイメントデザイン

五感を刺激するエンターテイメントシステムを題材に、未来のコミュニケーションメディアのあり方を考察します。メディアアート、映像、ゲーム、Web、広告、マンガなどのデザインの現場で展開する最新の事例を学び、自ら創り出すための方法について学びます。

学生作品紹介

2022年度卒　黒田亜佑美／文豪酩酊酒（ポスターデザイン・パッケージデザイン）

2022年度卒　伊藤大希／賢者（手描きイラストレーション）

2022年度卒　一本亜未/感じるスパイス（パッケージ・ブランディングデザイン）

2022年度卒　中山珠里／Wost Stage /（3DCGアニメーション）

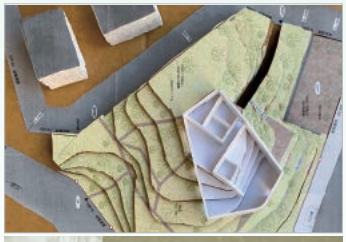
2022年度卒　松場舞歌／みえるオノマトペ（ストップモーションアニメーション）

2020年度卒　櫻井菜摘／UNLOCK（ノベルゲーム）

建築・環境系 Architecture & Landscape Design

建築

一般に「建築」は、一つひとつの「建物」を指すと思われるかもしれませんが、本来「建築」は、人々が安心して生活できる空間を作り出すプロセスや、その結果生み出される空間や環境を含んだ概念です。この「建築」という概念に基づき、建築・都市・ランドスケープなどを対象に、環境デザインやエンジニアリングデザインなどのデザイン理念を重ね、社会のニーズに対応することを学びます。必要な科目の履修により、一級・二級建築士、木造建築士の受験資格が得られます。またインテリアプランナー、商業施設士の資格に挑戦する学生もいます。

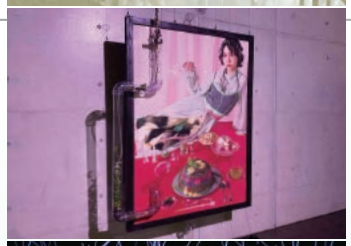
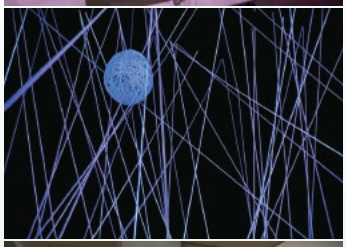


1年次ピックアップ科目
建築デザイン論

建築デザインの実現に関わる要素、技術、およびそれらの背景となる思想について学び、建築デザインへの理解を深めます。近代から現代を中心とした具体的事例を対象として、周辺環境との関わりや構造形式、機能との関係など、多様な視点からの分析を通して学習します。

インテリア・空間デザイン

私たちの暮らしは空間の中で営まれています。空間を学び知ることは、自宅や学校、職場、商業施設、公園など実在する場あるいは場面で、生活の質を向上させていく手がかりとなるものです。また今日、ICTの進展に伴い登場したメタバースやインターネット上の仮想空間についての取組みも盛んに行われ、こうした新たな空間領域も学びの対象とします。「インテリア・空間デザイン」は、概論、歴史的背景、専門知識、空間演出方法などを幅広く修得することはもとより、インテリア・空間デザイン関連の実務を意識した実践演習を行います。

1年次ピックアップ科目
空間デザイン

「空間をデザインする」ことは自然や人間社会に対してどのような役割を担っているのか、その楽しさや重要性を学びます。空間デザインを理解することによって、空間は生活の中のさまざまな時間を創造してくれることに気づき、その要因の歴史的背景や現代における表現手法を読み取る感覚を育てます。

基礎的な学び

- デザイン概論
- 基礎造形(平面／立体)
- ユニバーサル／インクルーシブデザイン概論
- プロダクトデザイン概論
- 映像構成論
- グラフィックデザイン概論
- 建築デザイン論
- 匠造形概論
- 視覚表現演習
- 写真撮影技法
- 素材基礎演習
- プログラミング基礎演習

2年次ピックアップ科目
日本伝統建築

日本の伝統建築は、歴史や文化を背景に様式を確立し、継承されてきました。建築様式と技術の歴史、建築を構成する材料や道具についても学びます。文化財政策や保存・活用についても理解を深め、地域の文化資産である伝統建築のあり方も考えます。

2年次ピックアップ科目
建築設計演習 II

地域の環境や景観を念頭に置きながら、公共的な施設の設計や複合施設のグループ設計に取り組むことを通じて、求められる要件を総合的にまとめ空間化することを実践的に学びます。毎週の授業で個別指導を受け、完成時には発表し講評を受けることにより、計画を客観的に評価する視点も学びます。

2年次ピックアップ科目
インテリアデザイン論

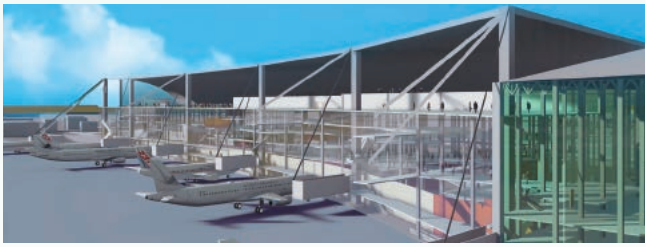
生活に彩りを与えるインテリアデザインについて、歴史や社会潮流の中でどのように育まれてきたか、その豊かさを学びます。インテリアデザインの知識・理論・手法を理解することによって、身近な空間が心身や五感と呼応していることに気づき、美しいインテリア空間をデザインする感覚を育てます。

2年次ピックアップ科目
空間演出演習 II

空間を構成する基本的な要素である「色・光・音」を用いて、住宅やパブリックスペース、商業施設内ディスプレイなどの空間演出のデザイン演習を行います。演習では高度な演出技術を検討し、また、美しさのメカニズムや演出効果を探求することで新しい空間表現や空間演出に挑戦していきます。

学生作品紹介

2022年度卒　田村龍哉／街と樹の緑-木材流通の仮想と現実-（建築設計）



2022年度卒　島屋拓海／新・松山空港 -学びと憩い地の空港 -（建築設計）

2022年度卒 **森田奈那**／まちへの愛着を育む-日常と非日常を横断して考えるまちのあり方-（建築設計）

2022年度卒　柴原望々子/ Nightwalk Hub -夜の散歩道-（空間・建築設計）

2023年度卒　五十川歩希／厳正なるVRゼミ（VR空間設計）

2023年度卒　石田絵莉／服を眺める（ディスプレイ設計）

●●● 学生たちからのメッセージ

「なぜ?」を考えるのが好き。UI・UXデザインで人を幸せに

高校の頃、映像の仕事に興味があり、進路に悩んでいたところ、担任教員から「他の大学と違う面白いことができるのでは」と紹介されたのがSUAC。デザインについては、ほぼゼロからのスタートでしたが、1年次から先生方に直接フィードバックがもらえる環境の中で、力をつけていくことができました。2年次のインターフェイスを学ぶ授業で、ユーザーとつながるUI・UXデザインを学んだことが一つの転機に。「美しいものづくり」というデザインの概念とは別に、「なぜ」を掘り下げる思考をベースとするデザインに出会えたことは私の財産です。

今、興味を持って学んでいるUI・UXデザインでは、ユーザーが抱える課題の本質を見つけ、それを改善するアイデアを提供し、心地よさを感じてもらえるシステムやサービスを生み出すことに魅力を感じています。演習で取り組んだアプリの制作でも、日常で感じた出来事から「あったらいいな」と思うサービスを考えて、形にしていきました。元々、現状分析をするのが好きだったので、リサーチをしっかりしてからアイデアを組み立てていくUI・UXデザインを通して、やりたいことが広がっていく感じです。目標や特技も様々な学生が集まるSUACで世界を広げてみてください。

作品名／無意識のうちに荷物が管理できているアプリ『OUTBAG』
インタビューを通して分かった、持ち物をなくすかもしれないという不安感に着目し、アプリで持ち物の出し入れを管理してカバンの中にある持ち物を確認できるものを提案した。このアプリで必要な持ち物がカバンの中に確実にある安心感を届けることを目指した。

鈴木美優香 SUZUKI Miyuka

デザイン学科 3年　名城大学附属高校出身（愛知県）

笑顔になれるものづくりをプロダクトデザインで

「誰かを笑顔にできる仕事に就きたい」という漠然とした思いから、モノやコトに関われるデザインに興味を持ち、プロダクトデザインを学んでいます。SUACのいいところは、少人数制のため先生との距離が近く、気軽に相談しやすいこと。3Dプリンターを使っての制作が上手くできずに悩んでいた際、素材の特性や操作についてアドバイスをいただき、課題をクリアできました。周りに「いいものを作りたい」という思いの学生が多く、教室が閉まるギリギリまで友達と居残り、作業を続けたこともしばしば。好きなことにのびのび取り組む日々を楽しんでいます。

作品名／インドネシアの食文化に関するデザイン提案
インドネシアは9割近くがイスラム教で、断食文化がある。調査や現地学生へのインタビューで、昼間の断食の反動で夜の食事を食べ過ぎてしまうこと、本来の目的とは異なるが断食期を利用してダイエットを行う人もいるということを知り、断食期に食べ過ぎを防ぐ楽しいアイテムを提案しようと考えた。持ち歩いても飾っても可愛いアイテムを目指した。

3年次に参加した日本インダストリアルデザイン協会（JIDA）が主催するコンペの学生部門では、作品を審査員の前で発表する機会があったのですが、高山ゼミでプレゼンテーションの指導を通して身につけた「伝える力」が発揮できたと感じています。最高賞の評価をいただき、達成感を味わうこともできました。ものづくりは、デザインする力だけでなく、ユーザーの声を聞いたりする「調べる力」やコンセプトを「考える力」など、一つひとつのプロセスも大切。自分が作ったもので、使う人が笑顔になり、楽しい思い出をつくれるようなものづくりに挑戦していきたいです。

兵頭柚衣 HYODO Yui

デザイン学科 3年　愛媛県立宇和島南中等教育学校出身

グラフィック×ガラス 自由に、自分らしい表現を

入学時に学びたいことが漠然としていても、1、2年次で幅広くデザインを学び、自分の興味のある分野を深めていける、それがSUACに進学した理由です。オープンキャンパスの際に感じた、穏やかで創造的な雰囲気も決め手となりました。手を動かすものづくりが好きだったので、様々な素材の特徴や加工方法が学べる演習は積極的に受講。2年次、かわ先生の授業で、絵本やイラストレーションといった「物語る」グラフィックデザインに触れ、その世界観に共感し、産学連携事業による絵本カレンダー制作にも参加しました。今はゼミで、手仕事とデザインの融合で面白いことができないか模索中です。

レーザー加工からガラス加工まで様々なものづくりに取り組める設備が整った環境で、加工方法を学び、デザインに対する考え方も広がりました。耐熱ガラスに触れたことでガラスにも興味を持ち、授業外でも自主制作に取り組むように。教員からのアドバイスもあり、耐熱ガラスのアクセサリーの企画販売をする会社への就職につながりました。SUACは「作ること」が好きな人には素晴らしい環境です。授業や施設の充実はもちろん、ものづくりが好きな仲間が集まった環境も最高! いろいろな価値観や学びに出会いながら、自分の「好き」を大切にして頑張ってください。

作品名／風景を着る〜型染で楽しむ遠州の風景シャツ〜
「遠州の魅力を着て、見て、肌で感じる型染めシャツ」をコンセプトに、遠州の風土を染めで表現し、その魅力を伝える洋服を制作。身につけることで遠州織物の風合いや着心地を肌で感じられると共に、着物のように目で見ても楽しい服を目指した。

肥田実祝 HIDA Minori

デザイン学科 4年　岐阜県立加茂高校出身

自分発のデザインではなく、真に求められる建築空間を

中学の頃から建築について学びたいと考え、数学や物理学を中心に学ぶ工学系の大学ではなく、デザインの視点から建築を捉えたいと思いSUACを選びました。建築分野だけでなくデザインの幅広い学びに触れられるのがSUACの魅力で、グラフィックデザインの知識が建築のサイン計画に役立ったり、木工の知識が伝統木造建築の理解を深めたり、インタラクションの光や映像の演出が建築空間デザインに通じたり…と、専門的な学びと共に多角的な視点を身につけることができました。専門分野を深く学ぶも良し、視野を広げて幅広く学ぶも良し、未来に結びつく学びができる大学がSUACです。

3年次に取り組んだ「浜名湖ガーデンパーク」の施設の改装に関するプロジェクトでは、行政や利用者の目線に立って、敷地条件、環境、予算など様々な制約をクリアしながら要望に応えていく難しさを経験。自分がつくりたいデザインではなく、使う人に真に求められる空間、あるべき建築を追究する重要性に気づくことができました。卒業後は、ハウスメーカーの設計職として、お客様が笑顔になるような住宅を設計したいと考えています。自分の成長のためにも、視野を広げて挑戦していきたいです。

作品名 / 地元を語る、僕らの遊び場（建築設計）
愛知県岡田に暮らす子どもたちが、地域の魅力や歴史、文化を体感し、地域に対する主体的な関わりを創出する遊び場の提案。

竹内悠高　TAKEUCHI Yutaka
デザイン学科 4年　愛知県立東海南高校出身

UI×ゲーム制作。領域を融合する面白さ、楽しさ

私にとって本学科の魅力は、分野をミックスして作品づくりができることです。元々はプロダクトデザインを学びたくてSUACに入りましたが、興味のある授業は何でも顔を出し、手を動かす演習も積極的に挑戦しました。1年次のインタラクション分野の授業でプログラミング言語によるゲーム制作の面白さを実感。UIにも興味を持ち、3年次以降は両方を活用したボードゲームやアーケードゲームを作るようになりました。CG、映像、音楽、CADによる制作など、様々な授業を通してできることが増え、やりたいことを探究できたと思います。

作品名／YAHIRADE（リズムゲーム）
「手を叩く」動作を加えたアーケードリズムゲーム。押しボタンと両手に装着するバンドを用いて、楽曲のリズムに合わせて演奏する。単純にボタンを押すだけでなく、ボタンを押す手を指定したり、両手で叩いたりするなどの斬新な操作を取り入れている。

的場ゼミの演習で制作したアーケードゲームが浜松科学館に展示され、実際に来場者に遊んでもらい反応を得られたことは、意義深い経験となりました。高校生の頃は、まさか自分がゲームを作るとは思ってもいませんでしたが、SUACで様々な授業を受ける中で、多くの先生方と関わり、知識やスキルはもちろん、価値観も広がったと感じています。「何かに挑戦したい」と思った時に、自分の“引き出し”がいっぱいある人間になれるのがSUACの強み。卒業後は、エンタメ業界でものづくりから企画提案まで、何でもやってみたいと期待が膨らんでいます。

佐々木健輔　SASAKI Kensuke
デザイン学科 4年　奈良県立橿原高校出身

領域や専攻に縛られずつくりたいものを探究できた

幅広くいろいろな学びを経験したかった私にとって、専門分野が分かれず、垣根を越えて授業も選択でき、工房も充実したSUACは一石二鳥の環境でした。入学当初は、建築・住居学に興味があったので、建築を軸としながら、ものをつくる実技の授業を両立して学んでいましたが、ゼミ専攻にあたり、残りの大学生活はものづくりに集中する道を選択しました。さらにデザインを学ぶためにフランスへ留学し、様々な国籍の人と交流。想像を超えた経験を通して、デザインや思考の背景、そこに根づく文化についてもより知りたい、学びたいと考えるようになりました。

木工、金属、プラスチック、クレイモデルなど、ものづくりはほぼ経験し、ゼミでは染色を専攻。4年間という自由に使える限りある時間を使い、様々なことにチャレンジし続け、今はバーナーワーク（ガラス工芸）に興味を持って取り組んでいます。SUACでの学びを通して感じたことは「人生は一生、学ぶものがある」ということ。素材と向き合い、手を動かし、思考や表現の幅を広げていく、ものづくりの楽しさに人生を見出すことができました。環境が整っていないと「できない」ことがたくさんあるのも事実です。SUACで人生の可能性を広げてください。

作品名 / 懐合（かいあわせ）
対という共通テーマの中で「貝合わせ」に着目し、西洋化志向が進む現代の日常に寄り添う新しい貝合わせのカタチを考え、筒描き染で染めた布をアクリル板と仕上げることでオブジェや絵画のように楽しめる作品を制作した。

鈴木梨恵琉　SUZUKI Riel
デザイン学科 4年　愛知県立杏和高校出身

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

●●● 工房紹介

造形系

木材加工室 木材加工

専門的な木材加工を行うための多種多様な機械を設置しています。木材加工専門の助手が常駐しており、制作をサポートします。◆主な機器／バンドソー、パネルソー、カンナ盤、刃物類

ガラス工房 バーナーワークによるガラス加工、作品の制作

ホウケイ酸ガラス（耐熱ガラス）を、約2,000℃に加熱して加工するための設備を設置しています。変化するガラス特有の物性や加工法を手を動かして学びます。◆主な機器／ガスバーナー、ハンドトーチ、ガラス旋盤、徐冷電気炉

金属工房 彫金・鍛金・鋳金技法による金属素材の加工と造形

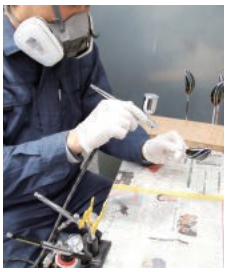
金属素材の性質や加工技術について、作品制作を通じて学ぶための道具や設備が豊富に揃っており、金工分野における表現手段と造形力を養うことができます。◆主な機器／アーク溶接機、ガス溶解炉、高周波遠心鋳造炉

プラスチック加工室 プラスチック加工

プラスチック加工の実習や、プラスチック樹脂を用いた注型・モデル制作を行います。NCトリミング加工機も設置しており、専門的な制作作業が行えます。◆主な機器／NCトリミング加工機、真空成型機

塗装乾燥室 塗装

自動車一台を塗装できる大型塗装ブースや、有機溶剤を吸収する装置、細かな塗装を行えるエアブラシ装置など、作品の仕上げ塗装に最適な環境です。◆主な機器／大型塗装ブース、塗料吸気装置、スプレーガン、エアブラシ



クレイモデル室 クレイモデル制作

フルスケールモデル用レイアウトマシンが導入されており、乗用車などの実物大モデルや縮小モデルなどをクレイ（粘土）で制作することができます。◆主な機器／フルスケールモデル用レイアウトマシン、クレイオーブン

情報系

マルチメディア室 サウンド編集・デジタルコンテンツ制作

iMacが設置された工房です。グラフィックデザイン、ゲーム・Webコンテンツの制作、サウンドの録音・編集などを行います。◆主な機器／サウンドスタジオ、iMac

グラフィックWS室 デジタルコンテンツ制作

3DCG制作やゲーム開発、映像のデジタル合成やノンリニア編集など、映像をはじめとするデジタルコンテンツ制作のための作業を行います。◆主な機器／PC（各種ソフトウェア）

その他の工房

造形系　金属加工室、ドライモデル室、立体工房、製図室、平面工房、染色工房、CADCAM室、暗室、録音スタジオ、総合組立アトリエ

情報系　電子制御機器製作室、OA室、CG工房

実験系　構造実験室、人体機能実験室、UDラボ、生物機能実験室

木彫工房　木彫制作、漆塗装

木彫制作に必要な設備に加え、器製作のための木工轆轤、漆塗り専用の塗り部屋や、漆風呂を完備しています。◆主な機器／漆風呂、木工轆轤

陶芸工房　陶芸制作

電動轆轤、真空土練機、たたら機や酸化・還元焼成が可能な大小2基の電気窯など、陶芸に必要な設備が充実しています。◆主な機器／電気窯、電動轆轤、たたら機、真空

テキスタイル工房　テキスタイル作品制作

染めの設備、高機や卓上機が各種あり、織やミシンワーク、フェルトワークなど繊維やテキスタイル関連の造形設備があります。◆主な機器／スウェーデン・フィンランド・ニュージーランド・日本の手機、手紡ぎ機、ミシン、染色設備

撮影スタジオ　写真撮影・映像撮影

ポートレート撮影や、制作した作品の写真撮影など、様々な用途で撮影を行います。天井にはバンクライトが取り付けられており、操作盤で位置、角度などを調節することができます。◆主な機器／ホリゾント、バンクライト、LEDライト、スタンド類

デッサン室　デッサン・描画制作

石膏像をはじめ、様々なモチーフが準備されていて、それらをデッサンすることができます。デザインに不可欠な観察力と表現力を養うことができます。◆主な機器／光を選択できる分割天井照明

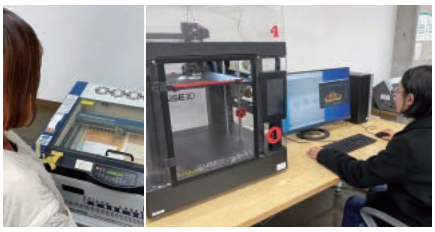
実験系

空間演出実験室　大判印刷

大型プリンター7台を備えた印刷室です。最大でB0サイズまでのカラー印刷に対応し、授業課題のプレゼンテーションシートや自主制作作品の出力に使われています。◆主な機器／大型プリンター、PC

工作室　デジタルファブリケーション

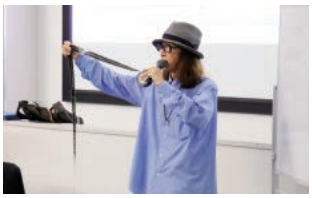
CADやCGで作成したデザインデータをもとに3Dプリンターやレーザー加工機を用いて、制作を行います。◆主な機器／レーザー加工機、3Dプリンター、カッティングプロッタ



デザイン学科の知と実践の力

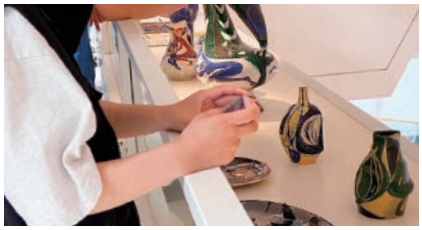
実務経験のある教員による実践的な講義・演習

企業などでデザイナーとして豊かな経験をもった教員が多く在籍するデザイン学科では、実践的な講義や演習が展開されています。経験を活かした講義内容や、オムニバス形式で行う多様な企業等から講師を招いた特別講義などを通じて、学生は学習意欲や知的好奇心を高め、キャリアデザインにつなげます。



国際交流を通じて養うグローバルなデザイン感覚

長期休暇を利用して短期日程で行われる語学研修やサマースクールをはじめ、半年から1年の長期留学など、デザイン学科では多様な価値観と歴史と文化を学び、国際的なデザイン感覚を養うため、多くの学生が留学に挑戦しています。現地の学生やデザイナーと英語でコミュニケーションをとり、グループワークやディスカッションを重ねてプレゼンテーションを行うなど、海外に赴いてこそできる様々な経験が可能です。



デザインコンペに挑戦！多くの作品が採用

学生を対象に実施される外部団体が主催するデザインコンペティションに、デザイン学科の学生たちは積極的に挑戦しています。応募したグラフィックやプロダクトなどのデザインが採用され、実際に社会の中で多くの方々の目や手に触れることは、デザインを学ぶ上で最も勉強になることのひとつです。2023年度も公共事業やイベント、地域振興などの多くの場面でSUAC生の活躍が目立ちました。

デザイン学部卒業展・デザイン研究科修了展（通称：卒展）

４年間の学びの集大成である卒業制作を展示する「卒展」は、４年生自らが企画・運営を行います。毎年 2月に学内全体を会場として開催され、一般にも公開されます。課題に向き合いながら培った知識や技術を総動員し取り組む卒業制作。思いがこもった多種多彩な作品が並びます。

取得可能な資格

▸▸▸ 詳しくはp077をご覧ください。

建築士　受験資格

インテリアプランナー登録資格

商業施設士補資格（認定校）

社会調査士

卒業生の主な進路

（抜粋）

製造業

アイシン・エィ・ダブリュ（株）
アイリスオーヤマ（株）
いすゞ自動車（株）
（株）イトーキ
エンケイ（株）
大阪シーリング印刷（株）
（株）オリバー
柏木工（株）
（株）河合楽器製作所
河淳（株）
キヤノン（株）
共和レザー（株）
起立木工（株）
（株）クボタ
クリナップ（株）
（株）ケイ・ウノ
（株）小糸製作所
コクヨ（株）
（株）コルグ
コンビ（株）
サンスター文具（株）
サンワサプライ（株）
（株）システック
（株）シマノ
シャープ（株）
（株）シャンソン化粧品
（有）春華堂
スズキ（株）
（株）鈴木楽器製作所
スタンレー電気（株）
（株）SUBARU
セーラー万年筆（株）
セイコーエプソン（株）
ダイハツ工業（株）
タカラスタンダード（株）
デコラテックジャパン（株）
東芝テック（株）
TOTOバスクリエイト（株）
トクラス（株）
トヨタ自動車（株）
（株）豊田自動織機
トヨタ自動車東日本（株）
トヨタ車体（株）
（株）日産オートモーティブテクノロジー
（株）日本カラーエンジニヤーズ
日本たばこ産業（株）
パナソニック（株）
浜松ホトニクス（株）
林テレンプ（株）
（株）バンダイ
（株）日立製作所
日立グローバルライフソリューションズ（株）
富士ゼロックス（株）
ブラザー工業（株）
フランスベッド（株）
プラス（株）
プリヂストンサイクル（株）
（株）本田技術研究所
（株）マキタ
マツダ（株）
三菱自動車工業（株）
（株）ムーンスター
矢崎化工（株）
（株）ヤタロー
（株）ヤマニパッケージ
ヤマハ（株）
ヤマハ発動機（株）
（株）リヒトラブ
レック（株）
レンゴー（株）
ローランド ディー.ジー.（株）

ハウジング・建設業

アサヒハウス工業（株）
（株）池田建築設計事務所
（株）一条工務店
（株）イリア
（株）金沢伝統建築設計
サーラ住宅（株）
住友林業（株）
須山建設（株）
セキスイハイム東海（株）
積水ハウス（株）
（株）大成住宅
大東建託（株）
大和ハウス工業（株）
飛島建設（株）
（株）中村組
中村建設（株）
（株）平成建設
堀部安嗣建築設計事務所
（株）ミサワホーム静岡
三井デザインテック（株）
三井ホーム（株）
（株）ミルックス
（株）類設計室

卸売・小売業

（株）エフ・ディ・シィ・プロダクツ
オルビス（株）
（株）カインズ
（株）サマンサタバサジャパンリミテッド
シーラック（株）
シャディ（株）
（株）千趣会
（株）東京インテリア家具
（株）TASAKI
（株）ニトリ
（株）ブシロード
（株）ユナイテッドアローズ

金融・保険業

JAとぴあ浜松
日本生命保険（相）
しずおか焼津信用金庫

放送・広告業

（株）朝日メディアプレーン
（株）エイエイピー
静岡エフエム放送（株）
（株）静岡新聞社
太陽企画（株）
（株）テレビ朝日クリエイト
（株）名古屋テレビ事業
（株）日企
（株）日本テレビアート
（株）博展
（株）博報堂プロダクツ
（株）メディア東京

情報・専門サービス業

（株）アクアプラス
（株）アドウィル
（株）アドブレイン
（株）インテリジェントシステムズ
UO
MGS照明設計事務所
（株）オープンスマイル
（株）オムニバス・ジャパン
（株）カプコン
（株）京都アニメーション
（株）ゲームスタジオ
（株）コーエーテクモホールディングス
（株）コナミデジタルエンタテインメント
（株）Cygames Pictures
（株）Sun Asterisk
（株）GKインダストリアルデザイン
（株）GKグラフィックス
（株）ジイケイ設計
（株）GKダイナミックス
（株）ziba tokyo
（株）JR西日本コミュニケーションズ
（株）シミズオクト
スズキ教育ソフト（株）
（株）STUDIO4℃
（株）スペース
（株）セガ
（株）大和工芸
（株）丹青社
（株）TBSトライメディア
（株）テクノサイト
（株）DMM.com　ラボ
（合）デザイン・アープ
東映アニメーション（株）
（株）東急設計コンサルタント
トランスコスモス（株）
（株）ナビタイムジャパン
パナソニック映像（株）
（株）ピーエーワークス
（株）フジヤマ
（株）プレックス
ポリゴンマジック（株）
（株）ホンダテクノフォート
（株）MIXI
ヤマハモーターエンジニアリング（株）
（株）ユークス
（株）ランドマック

その他サービス業

磐田商工会議所
（株）オリエンタルランド
（株）ジー・コミュニケーション
（株）四季
（公財）静岡市文化振興財団
（株）Teable
テクノリサーチ（株）
ポラス（株）

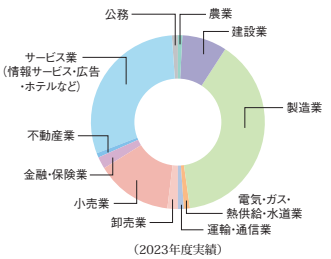
公務

静岡県警察本部
愛知県警察本部
伊東市役所
掛川市役所
浜松市役所
静岡市役所
尼崎市役所
神戸市役所
豊橋市役所

大学院進学

京都芸術大学
京都工芸繊維大学
慶應義塾大学
静岡大学
静岡文化芸術大学
筑波大学
東京藝術大学
東京都立大学
東京造形大学
名古屋市立大学

就職データ



（2023年度実績）

※分類は本学の区分によるものです。

●●● 教員紹介

デザイン学科

藤井 尚子 FUJII Naoko

教授／デザイン学部長・学科長
テキスタイルデザイン／染色

布を用いてQOL（生活の質）を向上させるデザインを研究しています。一枚の布に広がるデザインの可能性を、一緒に探求しましょう。

儀村 克郎 ISOMURA Katsuro

教授
パブリックデザイン

ストリートファニチャーから街路まで、家具から建築空間まで、公共の場のデザインについてデザインプロセス・造形・ライフサイクルを研究します。

岩崎 敏之 IWASAKI Toshiyuki

教授
構造デザイン

アイデアを形にするために構造は不可欠です。建築のみならず、すべてのデザインに通じる構造の考え方を伝授します。

植田 道則 UEDA Michinori

教授
建築とインテリアの空間デザイン

日本の美意識が育んできた内外空間デザインを、インタラクティブな発想を伴いながら、探求しています。

迫 秀樹 SAKO Hideki

教授
人間工学

体格や筋力、嗜好など一人ひとり違う人間の特性を捉える手法や、それを活用したものづくりを研究しています。

佐藤 聖徳 SATO Kiyonori

教授
プロダクトデザイン

人の五感をテーマに自然科学を中心とした作品制作を行い、プロダクトデザインに活かしていく研究を進めています。

Jérôme BOULBÈS

教授
3DCGデザイン／メディアアート／アートアニメーション

3DCGデザイン、最先端テクノロジー、バーチャル・リアリティ（VR）、拡張現実（AR）等を用いた作品制作および研究をしています。

高山 靖子 TAKAYAMA Yasuko

教授
プロダクト・サービスデザイン

グローバルな視野で人と社会をデザインで結ぶプロダクトとサービスの研究をしています。

日比谷 憲彦 HIBIYA Norihiko

教授
グラフィックデザイン

文字やシンボル、色彩などのエレメントを平面・立体・空間に展開し、ブランドや施設のイメージ形成を図る手法を研究しています。

的場 ひろし MATOBA Hiroshi

教授
メディアアート／インタラクションデザイン

新しいテクノロジーを活かしたアートの制作と、システムの使いやすさや使う楽しさの向上の研究を進めています。

和田 和美 WADA Kazumi

教授
メディアアート／Webデザイン

映像を中心に扱ったインスタレーションやWebサイト等、インタラクティブな空間を制作・研究しています。

荒川 朋子 ARAKAWA Tomoko

准教授
テキスタイル／繊維造形

「繊維」から導き出される、造形の表現性と可能性、その広がりと奥深さに強く惹かれ研究活動をしています。

百束 朋浩 HYAKUSOKU Tomohiro

准教授
映像学／映像技術

映像の分野で表現と技術の両面から制作・研究を行っています。総合芸術である映像は科学と芸術の両方を学ぶ必要があると考えています。

松江 幸子 MATSUE Sachiko

准教授
プロダクトデザイン

人を主役に、物やサービスとの接点にある物語を深め、生活や社会をより良く美しいものにするデザインを共に探究しましょう。

松田 達 MATSUDA Tatsu

准教授
建築意匠／3DCAD／都市計画

建築と都市を連続的に捉え、デザイン・研究活動を行っています。空間の新しい可能性について、共に探求していきましょう。

宮地 良治 MIYACHI Yoshiharu

准教授
インターフェイスデザイン（UI/UXデザイン）

生活者視点のUXデザインで課題を捉え、製品やサービスの使いやすさを体感できるUIデザインの制作・研究を行っていきます。

王 雪陽 WANG Xueyang

特任助手
現代陶芸

陶芸は、技巧を駆使して個性が表現された独創的な作品を作れることも魅力です。ぜひ非一緒に面白い陶芸作品を制作しましょう。

西山 雄大 NISHIYAMA Yudai

特任助手
建築意匠設計／近代建築史

建築の設計実務と近代史研究の両面から、「デザイン」へのアプローチを試みて活動しています。創る苦悩を一緒に楽しみましょう。

丹羽 あや NIWA Aya

特任助手
グラフィックデザイン／保存修復

グラフィックデザインの制作・研究を行っています。そのほかに主に繊維の保存修復の研究も行っています。

根木 隆之 NEGI Takayuki

特任助手
3DCGデザイン／映像デザイン

映像というコンテンツが持つ力について、3DCGをベースに様々な映像表現の研究・制作を通して、一緒に考えていければと思います。

小浜 朋子 OBAMA Tomoko

教授

ユニバーサルデザイン(UD)／デザインリサーチ

UDの概念をもとに、多様なユーザ・生活環境をあらゆる角度からリサーチし、現実と未来をつなぐデザインアイデアを探求していきます。

亀井 暁子 KAMEI Akiko

教授

建築設計／サスティナブルデザイン

建築空間を地域・都市、さらには広域的な視点から捉えるアプローチで、周辺環境と持続的に発展するあり方を探求しています。

かわ こうせい KAWA Cosei

教授

絵本／イラストレーション

ことばや絵で伝えられる物語を通して、どのように人のこころが動かされるのか探究しています。

佐井 国夫 SAI Kunio

特任教授

グラフィックデザイン

グラフィックデザインの役割はビジュアルコミュニケーションであり、新たな視覚表現のための技術と美意識をいかに育てるかを課題として研究しています。

中野 民雄 NAKANO Tamio

教授／大学院デザイン研究科長

スマートデザイン／建築環境・設備

都市・建築から持続可能(サステナブル)な社会に向けてエコロジーとエコノミーを両立させたスマートデザインを追究しています。

羽田 隆志 HADA Takashi

教授

プロダクトデザイン／魅力工学

特許V.S.システムを採用した2輪車などを設計開発しています。また強い魅力を実現するための企画立案法を研究開発しています。

服部 守悦 HATTORI Moriyoshi

教授

トランスポーテーションデザイン／プロダクトデザイン

クルマを中心に移動機器のデザインを研究しています。次世代モビリティの普遍性と革新性について一緒に考えましょう。

花澤 信太郎 HANAZAWA Shintaro

教授

建築設計／都市デザイン

建築設計と都市デザインが専門分野です。これからの建築や都市空間について一緒に考えてみませんか。

小川 直茂 OGAWA Naoshige

准教授

グラフィックデザイン／インフォグラフィック

高度情報時代における情報表現と情報伝達のあり方について、視覚的な観点での研究・制作活動に取り組んでいます。

中川 晃 NAKAGAWA Akira

准教授

空間デザイン／デザイン経営

TV局とテーマパークに20年勤め、映像から空間、舞台まで幅広く携わってきました。皆さんの創造のお手伝いができればと思います。

新妻 淳子 NIITSUMA Junko

准教授

日本伝統建築

日本の伝統建築と近世建築普請活動に関する研究をしています。伝統建築から直に日本の意匠や技術を学び新たな創造を目指します。

丹羽 哲矢 NIWA Tetsuya

准教授

建築／地域／景観デザイン

人々が暮らす空間を包括的にデザインしています。多くの人が共有できる建築理念を具体的な空間にする発見的なデザインプロセスが研究テーマです。

小田 伊織 ODA Iori

講師

木工芸／漆芸

日本の伝統技法を用いて、木と漆を素材としたアート作品や日常的な器などを幅広く制作し、造形表現を探求しています。

古賀 真弥 KOGA Masaya

講師

金工

金工の伝統技法を基にアート作品や装飾品などの制作を通して、金属ならではの質感や色彩表現を活かした新たな表現方法を研究しています。

羽島 昂平 HASHIMA Kohei

特任助手

プロダクトデザイン

3DCADでモノのデザインの多様性を研究しています。デザイン・モノを形にしていく喜びや楽しさを一緒に体感しましょう。

藤石 清香 FUJIISHI Sayaka

特任助手

デジタルファブリケーション／インタラクションデザイン

デジタルとリアルの間をつなぐコンテンツの研究をしています。モニターの中だけで完結しない新しい体験を一緒に作りましょう。

山口 貴一 YAMAGUCHI Takakazu

特任助手

現代芸術／現代彫刻／環境彫刻

木材を素材の中心として様々な作品を制作・研究することにより、社会と芸術の関係性を探求しています。

横地 敬 YOKOCHI Takashi

特任助手

金属造形

多様な表情をみせる金属の性質を活かしたアート作品や日用品の制作・研究を通して、豊かな暮らしを探ります。

※2024年度 在籍している教員を掲載しています。

教育・研究を支える3つのセンター

文化・芸術研究センター

学部・研究科の連携による研究活動を推進するとともに、
学術・文化芸術に関わる研究成果の情報発信を行います。

文化・芸術研究センターWebサイトへ

教員特別研究の支援

教員特別研究費制度のもと、教員の積極的で学際的な研究活動を支援し、2学部の連携を推進しています。

研究成果の発信

研究成果発表会や静岡文化芸術大学学術リポジトリ、研究紀要で公表し、行政機関や研究機関の方々へ広く発信しています。

学術リポジトリWebサイトへ

【教員特別研究】建築構造学と歴史学の2つの観点を併せ持った歴史的建造物の構造性能評価をするための方法論を提案。

大学生チームが英語のプレゼンテーションを披露し、実際の企業の問題に対処するためのアイデアを発表するYBM(Young Business Masterminds)に参加

国際交流センター

多文化を理解し、積極的に関わることができるグローバルな視野と地域の視点を併せ持った人材育成のための支援を行っています。

留学支援

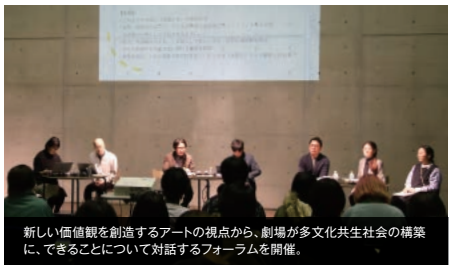
留学を希望する学生のための説明会の開催や留学への支援をはじめ、本学留学生を対象にした支援やイベントを実施しています。

国際交流

海外の交流協定校との交流事業の促進を行いながら、グローバルなプロジェクトを推進します。

多文化共生への取り組み

学生の語学力向上に向けた支援や、多文化共生に関する学生の活動への支援を行っています。



新しい価値観を創造するアートの視点から、劇場が多文化共生社会の構築に、できることについて対話するフォーラムを開催。

【受託事業】静岡県内の伝統工芸産業の活性化を目指した新たな製品開発。生産者とデザイナーの協力のもと、工芸技術を活かした試作品を制作した。

地域連携センター

文化やデザインに関する本学の知見を活かした産業振興や地域づくりのため、産学官民の連携を進めます。

地域・産学官連携の推進

産学官民からの受託事業を積極的に受け入れ、研究成果やプロジェクトとして地域に還元します。

公開講座の開催

地元企業や自治体と連携し、本学の特性・専門性を活かした地域公開講座を開催します。

イベント・シンポジウムの開催

本学の教育・研究の成果を産官学各界および広く地域の皆様にご理解いただくことを目的として、展示、ワークショップ、セミナーなどの各種イベントや、様々な研究分野に関わるシンポジウム等を支援・開催しています。

【公開講座】伝統建築の技と継承に関する公開講座を開催。実際に大工道具を使い、木の感触、木の性質、木の香りなどを受講者が体験した。

【イベント・シンポジウム】天竜区佐久間町の旧山室神社に伝来した神事芸能「花の舞」の面を紹介・展示。講演会や神楽の実演もあわせて開催した。

大学院

文化政策研究科／デザイン研究科

さらなる2年が広げる「文化」「デザイン」の未来像

21世紀は「市民」の時代と言われています。それは、これからは「政府」「企業」ではなく「市民」が主体となり、自分たちの望む社会を創造していくことを意味しています。大学院では、市民社会のリーダーに必要な、様々な価値観を尊重しつつとりまとめていく、課題解決の能力を養成します。

文化芸術とは違うフィールドから進学。視点の違い、アプローチの違いが面白い

学部時代はスポーツや福祉について学び、高齢者とのダンスワークショップへの参加をきっかけにアウトリーチ活動に関心を持ち、深く学ぶために本研究科に進学しました。文化や芸術に様々な角度から向き合う学びの中で、文化施設の運営にも興味が広がり、スポーツと芸術のアプローチの違いに面白さを感じながら研究に取り組んでいます。同じ研究科でも学生の研究内容は幅広いので、自分とは違う視点から意見をもらえるのもSUACならでは。大学院での学びは"孤独な闘い"というイメージでしたが、自然に人が集まり、語り合える研究室での時間はいい刺激になっています。私のように文化芸術に関わる機会が少なかった人でも、これまでの経験を活かして新たな切り口で研究に取り組めると思います。

今碇真央　IMAIKARI Mao
文化政策研究科 1年　出身大学／関西大学 人間健康学部

SUACで気づいた「アートの核」を学ぶ面白さ。将来は、母国の大学で先生になるのが目標

中国の大学でゲームサウンドを学ぶうち、インタラクティブアートに興味を持ち、Webページで見つけた長嶋先生の研究内容に刺激を受け、大学院進学を決めました。ゼミで取り組んだコンピュータ音楽は、サウンドデザインだけでなくビジュアルデザインや数学、コンピュータ技術など様々な分野の学びが含まれ、ソフトウェア等のツールの進化を反映した表現を追究できます。このアートの核となる部分に魅了され、音と光が反応するサウンドインタラクティブ作品を卒業制作として完成させることができました。中国で技術のベースを学び、SUACでより専門性を深め、異なる分野の先生方からインスピレーションを受け、新しい視点を得ることができました。卒業後も勉強を続け、母国で大学の先生になるのが目標です。

王 福瀛　WANG Fuying
デザイン研究科 2年　出身大学／北京電影学院（中国・北京市）

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

［大学院］文化政策研究科　定員10名

現場からの学びを重視した実践的なカリキュラム

文化政策研究科では、専門的な文献研究だけでなく、実践の場でのフィールドワークや調査を重視し、文化・芸術の持つ可能性を可視化・具体化できる人材を育成していきます。院生は以下の3つの研究専門領域から1つを選び、領域横断的で学際的な研究を教員の指導のもと展開していきます。

Arts and Cultural Management

アーツアンドカルチュラルマネジメント

楽団、劇団、美術館などの民間および公立の施設運営、行政の文化政策、文化産業、文化イベントなどのあり方や可能性に関する研究を行います。

Regional Policy and Management

地域政策マネジメント

まちづくりや地域活性化、コミュニティ政策、自治体改革、行政評価など、未来の地域に必要な活動や政策のあり方、可能性に関する研究を行います。

Glocal Studies

グローカルスタディーズ

グローバル化の影響で、世界的規範や法、地域社会にどのような変化が生まれているのか、そして未来の持続可能な社会のあり方や可能性に関する研究を行います。

将来の希望を叶えるため 大学院で専門性を強化 研究と実践で学びを深める

修了生の声

広州雲幕劇場（中国）

覃（タン） 剣倫（ケンリン）さん

文化政策研究科 2020年度修了

入学の動機　本国では音楽系大学でアートマネジメントを専門に学んでいました。劇場のことに興味があり、将来も劇場で働きたいと考えていましたが、当時は劇場の専門知識や経験が乏しかったため、大学院で劇場を学問として研究したいと考えました。劇場学の研究者である永井聡子教授に師事し、SUAC大学院に進学しました。

大学院での学びを現在の仕事へ　大学院は研究の入門段階だと思います。さまざまな知識を学びながら、自分が研究したいことに積極的に取り組んでいくことが大事です。SUAC大学院では研究方法の習得はもちろん、自分の研究能力も強化していく中で、考え方も徐々に変化していきました。文化政策学、アートマネジメント学、劇場学など、同じことでも各学問の視点から見れば、結論が全く違うことも研究の楽しみだと思います。

進路実績（抜粋順）

- 公益財団法人掛川市生涯学習振興公社
- 公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）
- 公益財団法人豊田市文化振興財団
- 公益財団法人名古屋国際センター
- 公益財団法人浜松国際交流協会（HICE）
- 公益財団法人浜松市文化振興財団
- 公立大学法人静岡文化芸術大学
- 株式会社大阪市開発公社
- 特定非営利活動法人 国際舞台芸術交流センター（PARC）
- 特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン
- サントリーパブリシティサービス株式会社
- 株式会社四季
- 株式会社ファミリーマート
- 株式会社北國新聞社
- 静岡県庁
- 静岡市役所
- 浜松市役所
- 【進学】名古屋大学大学院博士課程 一橋大学大学院博士課程

カリキュラム構成の特徴

01 基礎科目

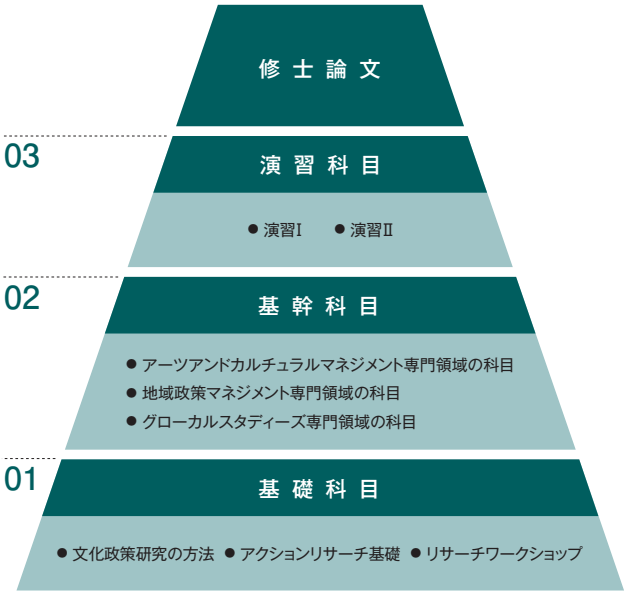
修士論文の構想づくりを進めるための「文化政策研究の方法」と、修士論文の仮説をフィールドワークや現場での調査を通して複数の教員と共に考察していく「アクションリサーチ基礎」「リサーチワークショップ」があります。

02 基幹科目

各分野の概論的な知識を学び、学際的な系譜を学ぶための「領域横断科目」と、「アーツアンドカルチュラルマネジメント」「地域政策マネジメント」「グローカルスタディーズ」に関係した専門的な内容を学ぶ「専門科目」があります。

03 演習科目

演習Ⅰ（1年目）と演習Ⅱ（2年目）から構成されています。演習Ⅰは異なる教員による2つを履修し、領域横断的に学びます。演習Ⅱはさらに1名の教員の本格的指導のもと、論文を完成させていきます。また研究科内での発表会の機会もあります。



修士論文テーマ（例）

- 地域志向型劇団の可能性と課題
  —地域との関係性に注目して—
- 浜松地域における中小ピアノメーカーの軌跡
  —アトラスピアノ製造を事例に—
- 呉市例大祭の動態的研究
  —歴史的変遷と社会的役割の変化—
- バングラデシュのナショナル・アイデンティティ形成
- バングラデシュにおけるテロ対策の変遷
  —2016年のダッカテロ事件後の対応—
- 中国人アートマネジメント人材のキャリア
  —日本留学経験者に着目して—
- 芸術政策を巡る合意形成とローカルアーツエージェンシー
  —ポートランド市の芸術税とパブリックアートプログラムに着目して—
- 静岡県浜松市の在日ブラジル人第2世代のメンタルヘルスをめぐって
- トランスナショナルなコンテンツが持つ可能性
  —日本バラエティ番組に関する対立と調和—
- 社会的包摂とねむの木学園
  —宮城まり子の活動に着目して—
- 公立図書館運営に求められるパートナーシップ
  —中津川市の事例分析—
- 浜松市の自治会における規範維持と合意形成

※修士論文は静岡文化芸術大学学術リポジトリ（https://suac.repo.nii.ac.jp/）をご参照ください。

［大学院］デザイン研究科　定員10名

研究分野

高度情報化、循環型社会への転換、そして高齢化の進展など、大きく変化する時代環境にあって、デザインに要請される内容は多様化し、デザイナーには専門的な能力が幅広く求められるようになっています。デザイン研究科では、そのような社会的要請に応えるために、皆さんがこれまでに身につけたデザインあるいはその他の分野の専門性をベースにして、より高度なデザインの力を磨くための実践的な研究の場を提供します。

大学院で養った思考力とデザインスキルを糧に幅広いアウトプットに繋げる

修了生の声

株式会社セガ
デザイナー
野澤 陽彩さん
デザイン研究科 2022年度修了

入学の動機　以前からクラシック音楽の魅力を若い世代に発信するデザイン手法について研究したいと考えていました。学部で学んでいた視覚的なデザインだけではなく、インタラクティブなデザイン提案など、より多角的に試行錯誤を重ねることができると考え、大学院への入学を決めました。音楽をテーマにする上で、浜松で研究ができるということも大きな決め手になりました。

大学院での学びをさらに深める　大学院のカリキュラムを通し、論理的思考力と幅広いデザインスキルを養いました。その学びを活かして、ヒアリング調査や実際に展示を行うことでニーズを明確にし、若い世代に向けて有効なデザイン手法を多角的に提案することができました。現在の仕事でも日常的に様々なエンタメについて分析し、広く選択肢を持ってアウトプットを考えるようにしています。

進路実績（抜粋・50音順）

- いすゞ自動車株式会社
- 株式会社一条工務店
- 株式会社イリア
- 運城幼児師範高等専科学校（中国、教員）
- 柏木工株式会社
- コイズミ照明株式会社
- 株式会社GKテック
- ジェイアール東海建設株式会社
- 静岡県森町まちおこし協力隊
- 株式会社シャンソン化粧品
- スズキ株式会社
- 株式会社セガ
- チームラボ株式会社
- 中央コンサルタンツ株式会社
- 株式会社電通
- 豊田合成株式会社
- 株式会社乃村工藝社
- 株式会社博報堂プロダクツ
- 浜松市役所
- 株式会社日立建設設計
- 富士通株式会社
- ブラザー工業株式会社
- 株式会社ボークス
- 三井デザインテック株式会社
- 三菱地所レジデンス株式会社
- 三菱電機住環境システムズ株式会社
- 学校法人トキワ松学園 横浜美術大学（教員）
- 【進学】筑波大学大学院人間総合科学研究群デザイン学学位プログラム（博士課程）

カリキュラム構成の特徴

デザイン研究科のカリキュラムは、3つの要素で構成されます。

01 特論科目

各デザイン分野に対応した少人数制の専門科目により構成されます。学生は、各特論科目の履修を通じ、高度な専門知識の習得を図ります。また、学際的な研究能力を高めるために分野を横断する科目履修を基本とします。

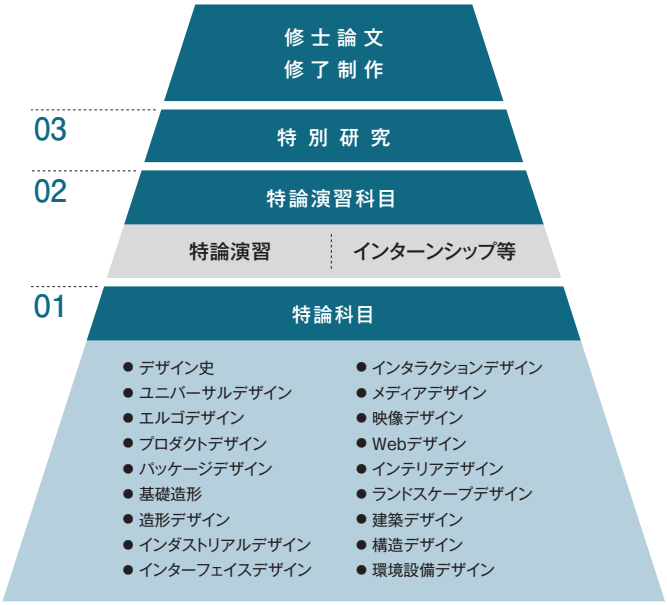
02 特論演習科目

特論演習やインターンシップ等により構成され、特論科目の学修内容を深化・発展させるとともに、実践的な能力を身につけます。特論演習は各特論科目に対応して開講され、学生は、各自の研究計画に沿って科目を選択して履修を進めます。

03 特別研究

指導教員の指導のもと、大学院在学期間を通して研究活動を推進し、その成果を修士論文または修了制作としてとりまとめ、2年次後期に提出します。

デザイン研究科において、所定の単位を修得すれば、一級建築士免許登録要件の実務経験2年として認められます。



修士論文・修了制作テーマ （抜粋・2023年度実績）

- サウンドインタラクティブ装置
- 自動運転によるシェアリング移動空間におけるコミュニケーション研究
  ―社交スタイルを自由に―
- 障害児とともに学ぶ場作りに関する研究
  ―視覚障害児童を対象として―
- 身体感覚を用いた設計手法に関する研究
  ―ひとりの範囲が流動的な居住の集合体の設計を通して―
- 大学と都市との繋がりに関する研究
  ―静岡文化芸術大学の研究・教育・活動を生かす手法を通じて―
- 人間と水景の共生モデルに関する研究
  ―熱海市渚町における親水空間の提案―
- 現代都市におけるアーバンランドアートの研究
  ―浜松中央卸売市場余剰地利活用の可能性提案―
- 視覚に頼りすぎずに移動できるアシストツールの提案
  ―視覚障害者の外出をアシストするためのRFID技術を用いたツールの探究―
- ゲームグラフィックとしてのドット絵の魅力に関する考察とゲーム制作
  ―制限された表現から解き放たれ文化になったピクセルアート―
- Again（3DCGアニメーション）
- 静岡県農林技術研究所茶業研究センターのインテリア設計

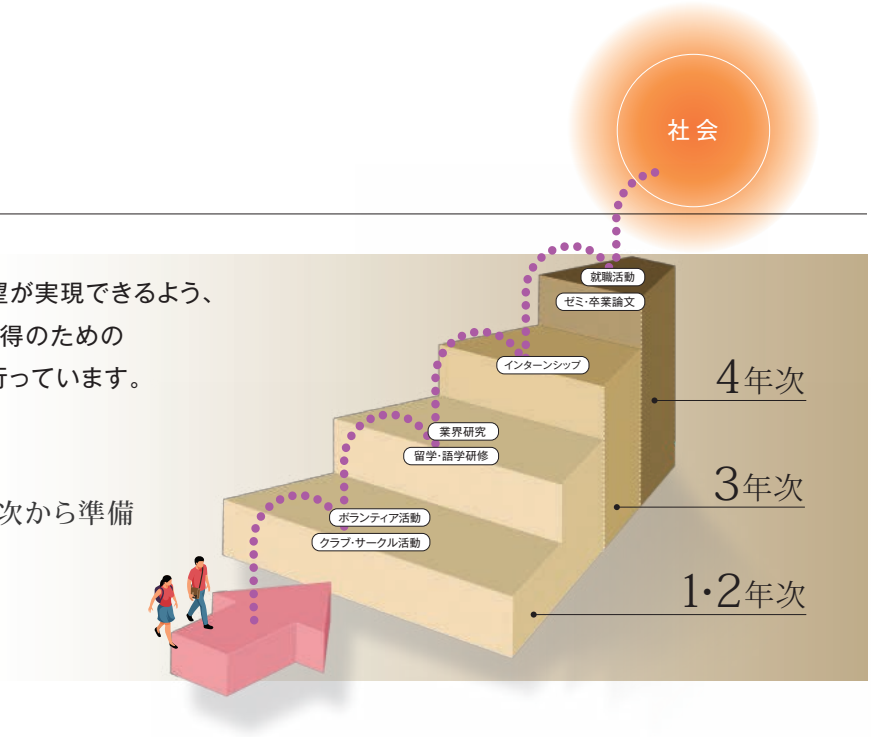
※修士論文・修了制作要旨は静岡文化芸術大学学術リポジトリ（https://suac.repo.nii.ac.jp/）をご参照ください。

キャリアサポート

就職支援

学生生活を通して、将来の夢や希望が実現できるよう、
就職ガイダンスやセミナー、資格取得のための
講座など、様々な就職支援行事を行っています。

将来を見据えた視点で1年次から準備



	1年次・2年次	3年次	4年次
	授業・研究・制作		
	サークル		
	アルバイト		
	ボランティア		
就職活動		・自己分析 ・業界研究 ・企業研究 ・エントリーシート作成準備 ・面接練習	・企業説明会 ・志望動機・自己PR まとめ ・採用試験 　・エントリーシート提出 　・筆記試験 　・面接・グループディスカッション 　・内定
	インターンシップ／オープンカンパニー		
就職支援	・低学年向けキャリア支援セミナー ・ポートフォリオ制作ガイダンス（デザイン学部対象）	・個人面談 ・インターンシップ／オープンカンパニー説明会 ・就職ガイダンス（全学対象） ・就職ガイダンス（デザイン学部対象） ・適性検査 ・業界研究セミナー ・模擬面接・グループディスカッション講座 デザイン職の就職活動について学びます	・就職相談 ・履歴書・エントリーシートアドバイス ・面接練習
		学内企業説明会	
	資格取得等対策講座		

高い就職実績を支える、手厚いサポート

就職希望者決定率

96.2%

（2023年度 卒業生実績）

個人面談

キャリア支援室職員が3年生全員と個人面談を実施し、希望する業種、職種、勤務地などを確認します。ここで得た情報をもとに、学生が希望する進路実現についてきめ細かなサポートをしていきます。

就職ガイダンス

就職活動に必要となる、進路選定や受験対策等テーマごとに座学と実践をバランスよく組み合わせたガイダンスを年間通して実施し、誰でも無理なく就職活動準備が進むようにしています。

デザイン系就職ガイダンス

ポートフォリオの作り方、業界・職種別の動向や実技試験など、デザイン職の就職活動特有の傾向と対策について解説し、デザイン学部生の就職活動をフォローします。

学内企業説明会

本学学生の関心の高い企業を中心に採用担当者を招き、会社概要から募集職種、採用試験などについて説明をしてもらいます。本学OB・OGが参加する機会も多く、生の情報を得ながら参加学生は企業研究を進めています。

資格取得等対策講座

公務員など専門的な対策が必要とされる就職試験に向けたものから、分野に限らず仕事をするにあたって有用と思われる資格など幅広い分野にわたって各種の講座を開講しています。

簿記検定試験対策講座

簿記の知識は社会のあらゆる仕事や生活で役に立ちます。この講座では基本的な商業簿記および記帳、決算などに関する実務を学び、毎年11月に実施される日商簿記検定試験の合格を目指します。

MOS試験対策講座

オフィス事務のスタンダードソフトであるExcelやWordなどの利用能力を証明する資格試験です。試験合格に向けて受験勉強をすることにより、各ソフトの機能を体系的に習得できます。

ファイナンシャル・プランナー検定試験対策講座

貯蓄計画、投資対策、税金対策など、総合的に資産計画を行う専門家であるファイナンシャル・プランナー検定試験の合格を目指す講座で、金融機関や証券、保険会社を志望する学生に人気があります。

秘書検定試験団体受験

ビジネスシーンで必要な一般常識や接遇・マナーといった分野を学ぶ検定です。基本的なマナーを身につけておけば、就職活動の際にも人事担当者や面接官に好印象を与えることができます。

公務員試験対策

公務員試験対策講座

公務員特有の学科試験について、教養と専門の2講座を開講し、1～2年かけて勉強していきます。料金は市価の約半額と格安で受講できます。

公務員試験直前演習講座

公務員試験を直前に控えた5月から6月にかけて模擬問題を中心とした答案練習を行います。公務員志望学生はこの講座を受講し試験対策の総仕上げを行います。

合格者の声

学内で学べる環境に感謝。丁寧な解説と指導で力がついた

浜松で生まれ育ち、地元で働きたい、地域に貢献したいという思いがあり、大学2年次から公務員を目指しました。公務員講座を受講し始めたのは大学3年次から。公務員になるための具体的な取り組み方や、独学で勉強することが不安だった私にとって、学内で受講することができ、受講料の割引もあるのは魅力でした。

講座では、些細な疑問に対しても丁寧な解説やアドバイスをいただけるので、力をつけることができたと思います。合格者報告会で、直近の試験で合格された先輩から勉強方法やモチベーションの保ち方などの話を聞けたことは、とてもためになり、自分も頑張ろうと思えました。

浜松市役所　鈴木美香　国際文化学科 4年　浜松市立高校出身

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

就職内定者からの声

目標に近づくために、一歩ずつ深めていった学びや経験。キャリア支援室の手厚いサポートに感謝

テレビ業界やエンタメ業界に興味があり、テレビ局を中心に就職活動する中で、番組制作会社も視野に入れるようになりました。「SBS静岡放送×SUAC」の地域連携演習や、地元新聞社との連携プロジェクトなど、メディア業界の知識を学びつつ、業界の方々との人脈もつくりました。自分から積極的に行動を起こすことで、様々な学びや体験を重ね、目標に近づいていくことができました。

キャリア支援室の方々には、エントリーシートの添削や面接対策、Webテスト対策を教えていただき感謝しています。テレビ局の選考は、面接も4次、5次と続くためハードルが高く、心が打ちひしがれた時もありましたが、話を聞いてもらえる場所があることが心の支えになりました。最終的に地方テレビ局と番組制作会社の両方から内定をいただき迷いましたが、東京をフィールドとする制作会社でチャレンジしていこうと決心。目指してきた世界で頑張ります。

須佐寛太　文化政策学科 4年　和歌山県立桐蔭高校出身

4年間の流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
コロナ禍。 テレビ業界、エンタメ業界に興味のある人たちとコミュニティをつくる	SBS静岡放送との地域連携演習を受講。メディア業界の方々と人脈をつくる	テレビ局はキー局をはじめ11社にエントリー。ESや課題の提出、面接をこなす 12月頃から、テレビの制作会社にも興味を持つ	日テレ アックスオン 内定通知 教育実習 教員免許（高校公民）取得見込み アメリカ横断一人旅 社会調査士 取得見込み

早くから自分の方向性を探り、絞り込んだ就職活動。自分の強みを伝えるポートフォリオは大事なツール

2年次からデザイン事務所でアルバイトをするなど、就職活動に対する意識は早かったと思います。3年次からはキャリア支援室の説明会にも毎週参加し、適性を探るために営業職のインターンも経験しましたが、自分がしたいのは企画・課題解決の部分から携われるデザインだと気づき、企業のインハウスデザイナーを目指して15社応募。通過した3社の中から1社のインターンシップに絞り、内定をいただくことができました。

就職活動の力になったのはポートフォリオです。制作した当初は見た目の良さを意識して作品を並べましたが、作品制作に至ったプロセスやデザインに対する自分の考え方を詰め込むことを意識。自分が大事にしている部分を伝えるため、文章が多いポートフォリオになりましたが、企業側にも自分の色が伝わり、価値観がマッチする就職活動ができました。広告系からプロダクト、UI・UXと様々なことに携わることができそうなので、今後の未来が楽しみです。

杉山奈々穂　デザイン学科 4年　愛知県立千種高校出身

4年間の流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
普通自動車第一種運転免許取得	Web系デザイン事務所でアルバイト	毎週水曜はキャリア支援室 マイナビ、リクナビにプレエントリー インターン参加（営業職） ポートフォリオ制作 インハウスデザイナー職　15社応募3社通過 パナソニック（株）のインターンシップ参加	パナソニック（株）内定 気になる企業のデザイン職に応募 三菱鉛筆 最終選考

取得可能な資格等／文化政策学部

	国際文化学科	文化政策学科	芸術文化学科
1 中学校教諭一種	国語/英語	社会	ー
1 高等学校教諭一種	国語/英語	公民	ー
2 図書館司書	○	○	○
3 博物館学芸員	ー	ー	○
4 日本語教員養成課程	○	ー	ー
5 社会調査士	○ ※	○	○ ※

※ 他学科科目（文化政策学科科目）の履習が必要なため、計画的な履習が必要です。

1 教育職員免許状［中学校教諭一種・高等学校教諭一種］

中学校教諭一種・高等学校教諭一種の免許状を取得できる教職課程を設けています。教職課程を履修し、必要な科目の単位を修得するとともに教育実習（2〜4週間）、中学校一種はさらに特別支援学校・社会福祉施設などで介護等体験実習（7日間以上）を行うことが必要です。教員として就職するには教員採用試験に合格することが条件となります。

2 図書館司書

図書館で専門的職務に従事する職員に求められる資格です。司書課程を履修し、必要な科目の単位を修得することで資格が得られます。また、課程科目を履修する中で、大学での学修や仕事上で必要となる、情報・資料・文献の探索方法や組織化などに関する知識や技術を身につけることができます。

3 博物館学芸員

博物館で資料の収集・保管・展示・調査研究のほか、これらの関連事業について専門的事項に携わる職員となるための資格です。美術館、資料館、水族館、動物園、植物園などでも専門職として活躍できます。学芸員養成課程を履修し、必要な科目の単位を修得するとともに博物館実習を行うことで資格が得られます。

4 日本語教員養成課程

日本語教員養成課程は、日本語を母語としない人に日本語を教えるための必要な知識・技能を学び、日本語教師として日本語学習者を指導する高い能力をもつ人材を養成する課程です。なお、本学の日本語教員養成課程は、文部科学省より課程（※）の確認を受けたものであり、同課程を修了する方は、国家資格「登録日本語教員」の登録に必要となる研修、及び試験の一部が免除されます。

※「必須の教育内容50項目に対応した日本語教員養成課程等」及び「平成12年度報告に対応した日本語教員養成課程等」

5 社会調査士

社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等を捉えることのできる能力を有する人材に対して、一般社団法人社会調査協会が与える資格です。社会調査士の資格によって、調査報告書を適切に評価したり、自ら調査を企画・実施・分析したりできる一定の能力を有する人材であることをアピールすることができます。

合格者の声

教育実習で現場を体験し、なりたい教師像を描けるように。
楽しい英語の授業を目指し、主体性のある子どもを育てたい

オープンキャンパスで教職課程を履修している在学生から、「教職課程の先生が優しくて、熱意を持って教えてくれるからおすすめ」という言葉に惹かれ、SUAC に進学しました。教職課程は通常の講義に加えてプラスαで履修しなければならないため、履修講義数の多い1、2年次は、並行して受講するのが大変でした。学年が上がるにつれ、講義内での発表や資料作り、模擬授業の機会などが増えましたが、できることが増えていくことが励みに。努力と熱意で乗り越えることができました。教育実習では、生徒たちが自分で考え、行動し、それに対するフィードバックを教師が行うサイクルが確立していたことに驚き、学びと気づきの多い3週間でした。学外では、塾の個別指導のアルバイトや中学校での授業のサポート、特別支援学校でのボランティアなど、自主的に生徒と関わり教える経験を積むように心がけました。教育を通して主体性のある生徒を育てていける教員になりたいです。

静岡県教育委員会（中学校教員）　鈴木優奈　国際文化学科 4年　静岡県立袋井高校出身

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

取得可能な資格等／デザイン学部

	デザイン学科	
1 建築士受験資格	○	建築士受験資格は、所定の単位を取得した場合に得られます。
2 インテリアプランナー登録資格	○	インテリアプランナー登録資格は、所定の単位を取得した場合に得られます。
3 商業施設士補資格（認定校）	○	
4 社会調査士	○	他学部他学科科目（文化政策学科科目）の履修が必要なため、計画的な履修が必要です。

1 一級・二級建築士 木造建築士試験 受験資格

建築士は建築物の設計および工事監理を主業務とし、建設会社や建築設計事務所、官公庁などで活躍できます。定められた科目の単位を取得し卒業することで、建築士資格を得るための試験を受験する資格を取得できます。さらに本学卒業後、本学大学院デザイン研究科に進学し、所定の科目の単位を取得すれば、免許登録要件としての実務経験年数（2年）として認定されます。

2 インテリアプランナー登録資格

インテリアプランナーは、インテリアプランニングにおける企画・設計・工事監理を行うインテリアに関する知識と技術に習熟した専門家のことです。設計製図試験に合格・登録し、所定の実務経験を経ることにより、インテリアプランナー資格を得られます。本学の所定の単位を取得することで、合格後の実務経験が免除されます。また、20歳以上の人に受験資格があり、在学中でも学科試験に合格・登録すると、アソシエイトインテリアプランナーの称号が付与されます。

3 商業施設士補資格（認定校）

商業施設士補資格とは、商業施設の企画・設計・デザイン・監理等に関する知識を有していることを証した資格制度です。本学の所定の単位を取得し、商業施設士補資格講習会を受講修了することにより資格が取得できます。最短で2年生の段階で商業施設士補を取得することができ、商業施設士補資格取得後は在学中でも商業施設士資格試験にチャレンジすることもできます。

4 社会調査士

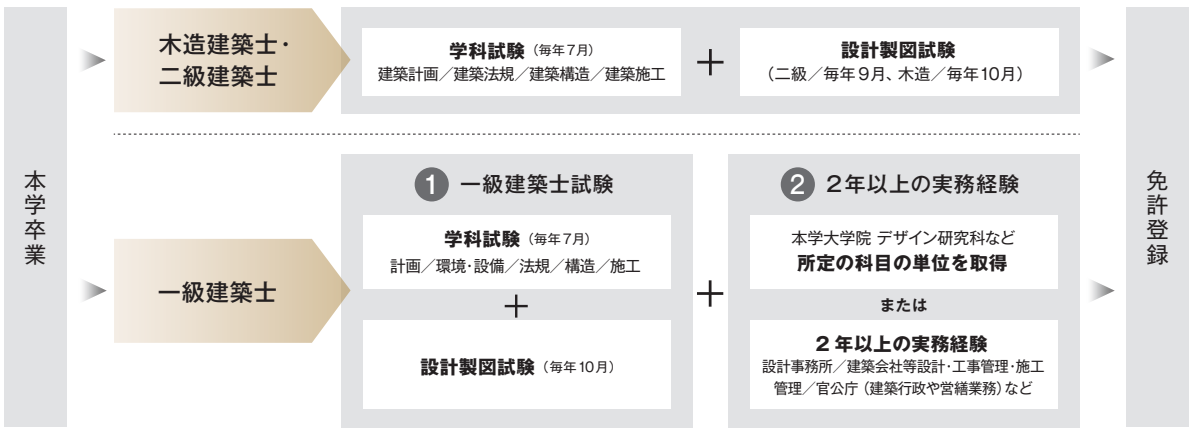
社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等を捉えることのできる能力を有する人材に対して、一般社団法人社会調査協会が与える資格です。社会調査士の資格によって、調査報告書を適切に評価したり、自ら調査を企画・実施・分析したりできる一定の能力を有する人材であることをアピールすることができます。

建築士資格取得の流れ

※受験資格や免許登録要件は2024年3月時点のものです。「建築士法」の改正等により変更されることがあります。

本学で取得を目指す場合

所定の科目の単位を取得し、本学デザイン学部を卒業することで、
「一級建築士試験」および「二級建築士試験」「木造建築士試験」の受験資格を取得できます。



※一級建築士免許登録のためには、❶❷ の両方を満たす必要があります。

国際交流

留学経験者の声

留学を通して、日本と世界のことをもっと学びたくなった

Q 留学しようと思ったきっかけや目的を教えてください

高校では英語科で学び、オーストラリアに語学研修で1カ月留学。長期留学を視野に入れ協定大学があるSUACへ進学しました。海外の大学で学んだことのない専門分野を英語で学び、新たな知識を吸収し将来のキャリアに活かし、価値観が異なる人々に出会うことを目的に、20歳という節目にチャレンジをし、人生に変化をもたらしたいと留学を決意しました。

Q 留学中に得たもの、成長したと感じることはありますか?

専門分野の授業は難しい用語も多く、課題はネイティブ学生の10倍時間がかかりましたが、日常生活でも英語を使い、語学力は劇的に伸びました。様々な人と出会うことで、自分の世界観の狭さ、未熟さに気づかされると同時に、もっと学びたい、知りたいと思うように。日本にいるだけでは見えてこないものがたくさんあると痛感しました。現地での生活は試練もありましたが、乗り越える度に強くなれた9カ月間。将来は海外で活躍したいと考えるようになりました。

2年次に9カ月間 留学 | 廣瀬波貴 国際文化学科 2年 静岡県立浜松湖南高校出身

留学の流れ

1年次	2~3年次
4月 留学の準備開始	2~11月 オーストラリア留学
●IELTS、TOEIC資格勉強開始 ※産学国際ワークショップに参加	●ビザ取得、入学許可証等の取得 ※模擬国連に参加

言語を学ぶことは、世界を広げることだと留学で実感

Q 留学先の大学では、どのような経験をしましたか?

英語だけでなく英語圏の文化も学びたいとイギリスに留学しました。授業は決められたテーマについて英語で意見を交わす会話中心のスタイルで、初めて聞く表現や単語など最初は戸惑いましたが、イギリス英語に生で触れるいい機会になりました。会話をする際、文法や語順の違いによる日本人独特のクセに意識が向くようになり、成長を感じています。

Q 留学で得たこと、良かったと思うこと

授業や寮での暮らしでイタリア、スペイン、エクアドルなど様々な国籍の留学生と交流することができました。休日には旅行をしたり、ロンドンを訪れたり、帰国直前に観劇したシェイクスピア劇では“As you like it”を聞き取ることができました(笑)。留学はハードルが高いと思っていても、丁寧に伝えれば会話もできるし何とかなります。ぜひトライしてください。

3年次に1カ月間 | 寺下大晴 国際文化学科 3年 愛知県立一宮興道高校出身

留学への支援

本学学生の留学支援のために

- SUACによる奨学金・奨励金制度
- 日本学生支援機構による奨学金制度
- 海外協定校で取得した単位の本学卒業認定単位への換算(4年間での卒業も可能) 等

海外からの留学生支援のために

- 単位互換、留学生宿舎の提供 等【交換留学生】
- 授業料減免制度、奨学金制度(SUAC、日本学生支援機構)等【私費留学生】
- 留学生交流会・研修旅行の実施

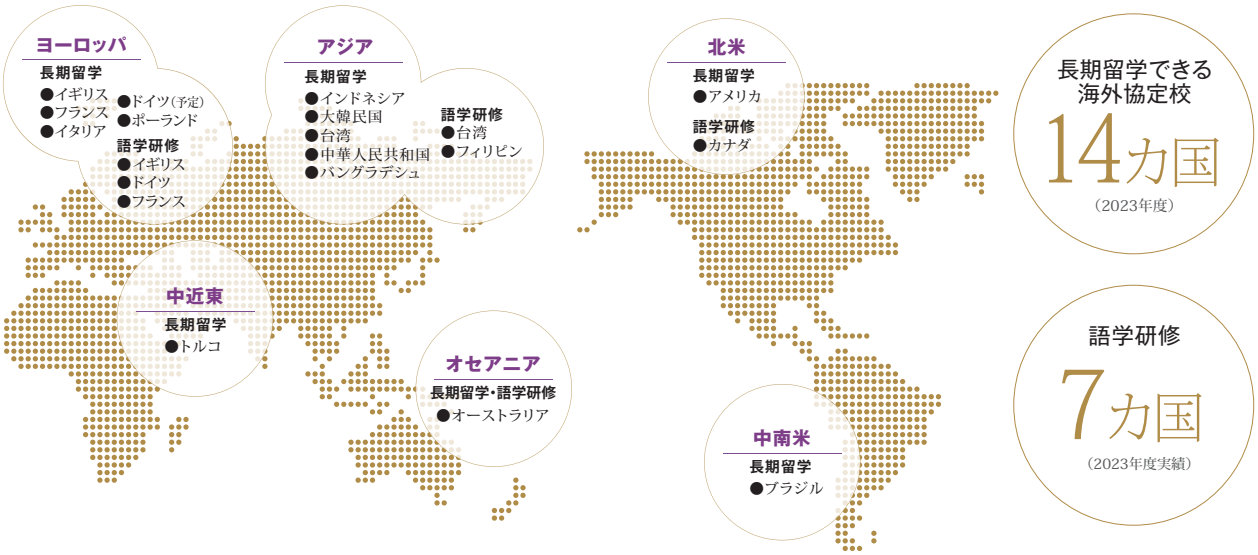
派遣留学生危機管理サービス

本学主催の留学・語学研修生には、指定の海外旅行保険を用意しています。これにより、海外での万一の事件・事故への対応力を高め、迅速なサポートを可能にします。備えを万全にして、充実した留学生活にできるよう環境を整えています。

※学生の学年表記は取材時(2023年度)のものです。

世界に広がる留学先

本学の基本理念である「国際社会に貢献する開かれた大学」の実現に向けて、海外の多様な大学と交流協定を結び、
様々な交流事業を展開してグローバルに活躍できる人材の育成を目指しています。



長期留学できる海外協定校
14カ国
(2023年度)

語学研修
7カ国
(2023年度実績)

海外協定校（19校）(2024年3月現在)

フィンドレー大学 ／アメリカ合衆国

1882年に開学し、現在は経営学部・教育学部・医療学部・教養学部、薬学部、理学部の6学部からなる総合大学。オハイオ州に位置し、学生数約4,000人、地域との結びつきが強く、留学生に対するサポート体制も充実しています。

イズミル経済大学 ／トルコ

2014年より産学共同国際ワークショップで交流を深め、2015年に交流協定を締結しました。イズミル経済大学（2001年創立）は、2大学院、7学部、2専門学校からなる総合大学で、英語で授業を行い、外国籍の教員が多数在籍する国際色豊かな大学です。デザイン学部を有しており、今後もデザインワークショップ開催、留学生受け入れなど交流を行っていきます。

ブルゴーニュ大学 CIEF ／フランス

ブルゴーニュ大学は、1722年創立、フランスのブルゴーニュ地方に5つのキャンパスを持つ国立総合大学で、学生数30,000人、教員数4,000人を数えます。国際フランス語センターは、ディジョン市のメインキャンパス内にあり、大学の学部に相当する一機関として毎年3,000人以上の留学生を受け入れています。本学は2011年から語学研修学生の派遣を行っています。

ボローニャ大学 ／イタリア

1088年の創立で「世界最古の大学」とも言われている国立の総合大学です。イタリアのエミリア・ロマーニャ州の州都であるボローニャ市にあり、在籍学生数は10万人を超えています。アートマネジメント研究の分野においては、総合芸術学科（1970年創立）が先進的研究拠点となっています。

その他の提携校

- アイルランガ大学／インドネシア
- ウェールズ大学トリニティ・セント・デイビッド／イギリス
- BESIGN／フランス
- 国立高等装飾美術学校／フランス
- ルール大学ボッフム／ドイツ
- ワルシャワ美術アカデミー／ポーランド
- サザンクロス大学／オーストラリア
- サンパウロ大学／ブラジル
- ウダヤナ大学／インドネシア
- 国立台湾師範大学／台湾
- ダッカ大学／バングラデシュ
- 湖西大学校／大韓民国
- 華東師範大学／中華人民共和国
- 上海工程技術大学／中華人民共和国
- 浙大城市学院／中華人民共和国

語学研修

実体験を通じて異文化への理解を深めることは、真の国際人としての感性を養う上で、欠くことのできない条件です。本学では世界に通じる人材育成を目指して、世界各国への研修を実施するなど、語学研修の充実に努めています。（毎年プログラム内容を見直しています）

2023年度 語学研修先

- ヴィクトリア大学／カナダ：英語
- チチェスター・カレッジ／イギリス：英語
- サザンクロス大学／オーストラリア：英語
- デ・ラ・サール・アラネタ大学付属語学センター／フィリピン：英語
- ブルゴーニュ大学CIEF／フランス：フランス語
- 国立台湾師範大学／台湾：中国語
- F+Uアカデミー／ドイツ：イタリア語、ドイツ語

海外留学プログラム

本学では多くの学生がグローバルな視野やスキルを培えるよう、多彩な留学プログラムを提供しています。

韓国文化体験プログラム

実施期間／2023年8月7日～8月19日（13日間）
場　　所／湖西（ホソ）大学校（韓国）

本学と交流協定を締結している湖西(ホソ)大学校（韓国）の文化体験プログラム。語学を学びつつ様々な角度から韓国文化を体験できるよう、韓国語学習の授業と文化体験が組み込まれています。アクティビティーでは、韓国映画の鑑賞、K-POPやマッコリ作りなどを体験。ソウルツアーでは景福宮や青瓦台、大統領館などを訪問し、韓国文化に対する理解を深めました。さらに、「バディ」という湖西大学校の学生と一緒に活動できる時間が設けられており、現地の学生と交流できる貴重な機会となりました。参加者からは、「日韓関係など心配な面もあったが、出会ったどの方も優しく接してくれて嬉しかった」「現地の人に自分の韓国語を褒めてもらえて前より自信が持てるようになった」といったコメントが寄せられ、語学学習の実践の場や、互いの文化を理解し、自国を振り返る機会となりました。

イタリアンデザインサマースクール

実施期間／ 2023 年 8 月 27 日～9 月 10 日（14 日間）
場　　所／ボローニャ大学およびベルティノーロ研修センター（イタリア）

本学と交流協定を締結しているボローニャ大学（イタリア）のデザインサマースクール。世界最古と言われるイタリアのボローニャ大学にて、約2週間にかけてデザインを学びます。イタリア、アメリカ、ブラジル、イラン、ベトナム、台湾、日本などの世界各国から計30名が集まり、授業やメンバー間のやりとりは英語で行われました。本学からはデザイン学科の学生が参加。授業は主に座学、Visit（企業見学や美術館など）、プロジェクトワークに分けて行われました。5人ずつ6グループで行ったグループワークの課題は、「自然（nature）から発想し、機能を持った机をデザインする」。海外メンバーのスケッチ力やCADスキルの高さに良い刺激を受けました。2週間という限られた時間でしたが、参加学生は、共に高め合える仲間との出会いや新たな文化と価値の発見など、海外に赴いてこそできる様々な経験をすることができました。

語学パートナー

留学生と日本人学生が互いの母語を教え合う「語学パートナー」。自然な言い回しやネイティブな発音を教え合える環境で、言語の交流だけでなく、お互いの文化についても会話するなど、身近な国際交流の取り組みとなっています。

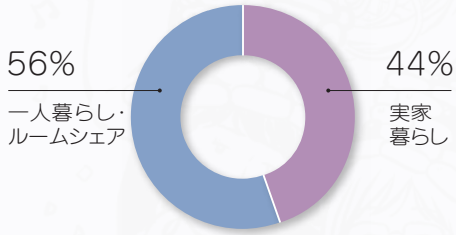
CAMPUS-LIFE

キャンパスライフ in SUAC

新たにはじまる大学生活。
学業やクラブ活動、課外活動を通じた
様々な出会いと経験が待っています。

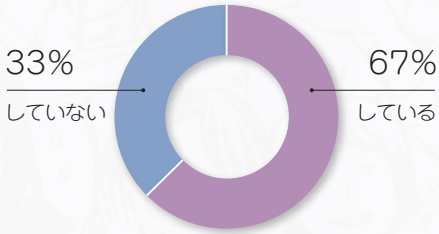
STUDENTS' DATA

一人暮らし or 実家暮らし



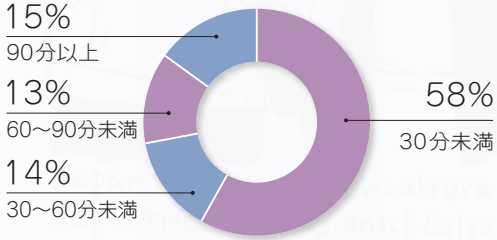
「一人暮らし」と「実家暮らし」の比率は、「一人暮らし」が少し多め。愛知県東部出身学生は実家から通う人もいます。
一人暮らしの家賃は、**4万円〜5万円**が最も多いようです。

アルバイトしてる?



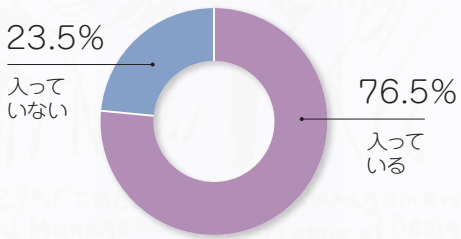
アルバイト期間は長短ありますが、**約9割の学生にアルバイト経験**があります。職種は飲食店が最も多く、学内アルバイトもちらほら。

通学時間はどのくらい?



通学手段の約半数が「徒歩」「自転車」ということもあり、30分未満が最多。**最寄り駅のJR浜松駅からは徒歩約15分**のアクセスです。

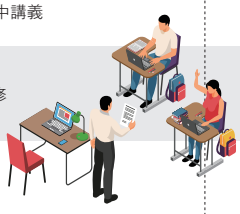
クラブ・同好会に入ってる?



全体で約8割の学生がサークルに所属。特に学部1、2年次は活発に活動しています。複数のクラブ・同好会や学内外活動に参加する学生も。「面白そう」と思ったら、まずは参加してみる積極性が大事ですね。

イベントカレンダー

		学内行事＆講義	主なキャリア支援行事	入試
4月 April	前期授業	●入学式 ●ガイダンス	公務員試験直前講座（学内） ●【全学対象】第１回就職ガイダンス ●【デザイン系】第１回就職ガイダンス	
5月 May	前期授業		公務員試験直前講座（学内） ●【全学対象】第２回、第３回就職ガイダンス ●【デザイン系】第２回就職ガイダンス ●適性検査（5~6月）	●大学院募集要項配信（5月上旬）
6月 June	前期授業		公務員試験対策講座（学内） 個人面談（3年） ●インターンシップ／オープンカンパニー説明会 ●２年生向けキャリアセミナー ●文化施設等への就職説明会 ●大学院進学説明会	
7月 July	前期授業		公務員試験対策講座（学内） ●筆記試験対策講座 ●１年生向けキャリアセミナー ●業界研究セミナー ●起業に関する説明会	●入学者選抜要項配布（7月下旬）
8月 August	夏季休暇	●前期試験 ●前期集中講義	公務員試験対策講座（学内）	●8/3～4　オープンキャンパス
9月 September	夏季休暇	●語学研修	公務員試験対策講座（学内）	●学生募集要項（学校推薦型選抜、特別選抜）配信（9月下旬） ●9/18　大学院入試（A日程）
10月 October	後期授業		公務員試験対策講座（学内） ●【全学対象】第４回就職ガイダンス ●採用担当者による企業説明会	●学生募集要項（一般選抜）配信（10月下旬）
11月 November	後期授業	●碧風祭（大学祭）	公務員試験対策講座（学内） ●【デザイン系】第3回、第４回就職ガイダンス ●【全学対象】第５回就職ガイダンス ●２年生向け就職ガイダンス	●11/23 学校推薦型選抜（公募制／英語重点型公募制） 特別選抜 （社会人／文化政策学部帰国生徒・外国人留学生）
12月 December	後期授業	●後期集中講義Ⅰ	公務員試験対策講座（学内） ●【デザイン系】１～２年生向けガイダンス（ポートフォリオ制作） ●【全学対象】第６回就職ガイダンス ●模擬面接・グループディスカッション講座	
1月 January	後期授業	●後期集中講義Ⅱ	公務員試験対策講座（学内） ●学内個別企業セミナー説明会 ●【全学対象】第７回就職ガイダンス ●模擬面接・グループディスカッション講座	●1/18～19　大学入学共通テスト
2月 February	春季休暇	●後期試験 ●後期集中講義Ⅲ ●デザイン学部卒業展	公務員試験対策講座（学内） ●６大学主催合同企業セミナー ●学内個別企業セミナー ●芸術学生のための合同企業説明会	●2/8　大学院入試（B日程） ●2/25～26　一般選抜（前期日程） ●2/25　特別選抜 （デザイン学部帰国生徒・外国人留学生）
3月 March	春季休暇	●卒業式	公務員試験対策講座（学内）	●3/12　一般選抜（後期日程）



※入試関連日程の詳細は Webサイトでご確認ください。

SUACの"推し"を教えてください!

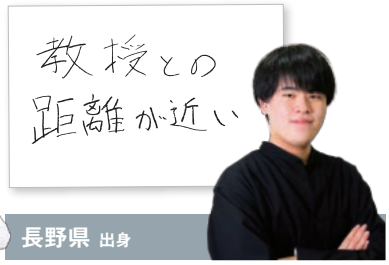
全国から個性豊かな学生が集まるSUAC
先輩たちのメッセージが届きました。

兵庫県 出身

吉田瑞希　デザイン学部 デザイン学科 1年
兵庫県立明石高校出身

静岡県 出身

遊佐萌々香　文化政策学部 国際文化学科 2年
静岡県立伊豆中央高校出身



長野県 出身

林 海斗　デザイン学部 デザイン学科 3年
長野県飯田OIDE長姫高校出身

島根県 出身

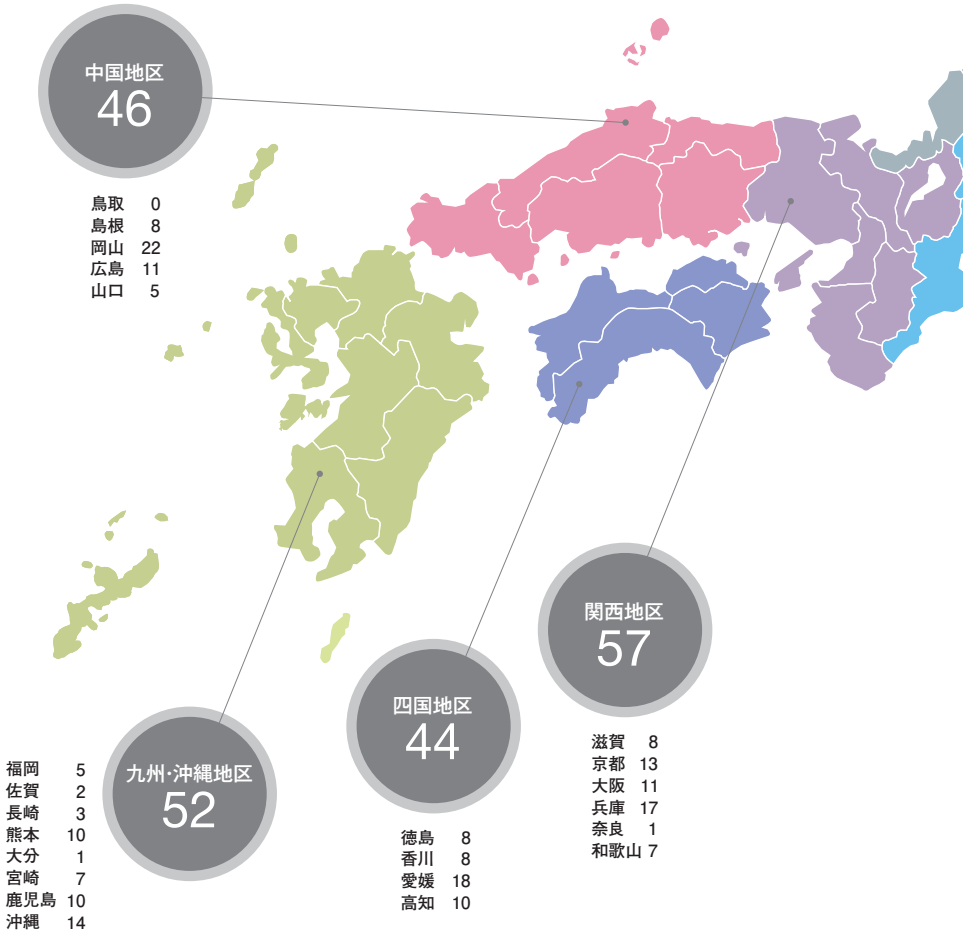
横田章仁　デザイン学部 デザイン学科 2年
島根県立浜田高校出身

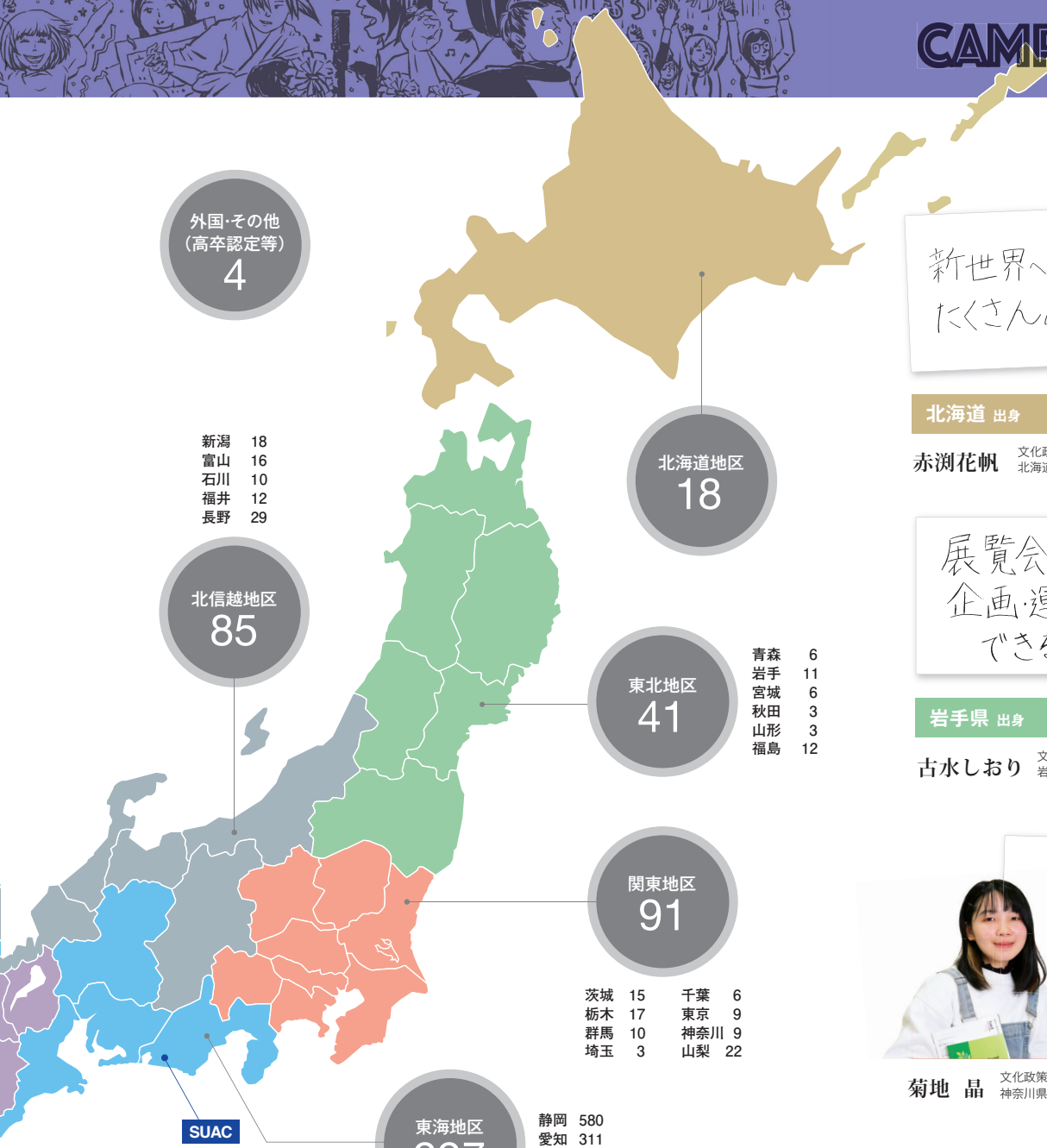
高知県 出身

野島小晴　文化政策学部 文化政策学科 2年
高知県立高知追手前高校出身

宮崎県 出身

藤﨑青海　文化政策学部 芸術文化学科 3年
宮崎県立宮崎西高校出身





赤渕花帆　文化政策学部 文化政策学科 2年
北海道帯広三条高校出身

古水しおり　文化政策学部 芸術文化学科 3年
岩手県立大船渡高校出身

菊地 晶　文化政策学部 国際文化学科 1年
神奈川県立光陵高校出身

出身国 **4カ国**

出身県 **46都道府県**

在籍者数 **1,476人**

在籍者数

（2024年4月1日現在）

学部	学科	1年生	2年生	3年生	4年生	学科計
文化政策	国際文化	103	114	105	139	461
	文化政策	60	62	61	66	249
	芸術文化	59	56	59	65	239
	学部計	222	232	225	270	949
デザイン	デザイン	120	121	118	127	486
	学部計	120	121	118	127	486
2学部計		342	353	343	397	1,435

	研究科	1年生	2年生	研究科計
大学院	文化政策	5	12	17
	デザイン	11	13	24
2研究科計		16	25	41

※学生の学年表記は取材時（2023年度）のものです。

教えて先輩！ SUACライフの過ごし方

新たなつながりから得られる価値観 目の前に広がる世界を楽しんで

文化政策学部とデザイン学部の垣根がないキャンパスでは、様々なイベントや展示会が開催され、つねに色鮮やか。ワクワクした学生生活で自分の興味を広げてくれます。先生から紹介された活動には積極的に参加。知的財産を活用するアイデアを提案するコンペでは、学生だけでなく学外の幅広い職業の方々と話す機会も得られ、良い成果を残せました。今後も大学生の立場を活かして、新たな取り組みにも挑戦していきたいです。

1年後期 *Weekly schedule*

時限	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1 9:00~10:30			英語コミュニケーションⅡA		
2 10:40~12:10	中国語コミュニケーションⅡA	国際関係論		中国語コミュニケーションⅡB	
3 13:00~14:30	英語表現法	静岡学		現代日本語表現	
4 14:40~16:10	ポルトガル語コミュニケーションⅡA	国際文化基礎論		マルチメディア英語Ⅱ	文化人類学
5 16:20~17:50	国際文化入門A	現代社会と教育		ポルトガル語コミュニケーションⅡB	

英語模擬国連（JEMUN）

世界の課題解決を目指して英語でコミュニケーション

学生による国連会議のシミュレーションを行う「英語模擬国連」に参加。他大学の学生と一緒に世界が直面する様々な課題への理解を深め、議論しました。語学力の向上と国際的な視野が深まりました。

尾上 桜
ONOUE Sakura
文化政策学部 国際文化学科 1年
静岡県立浜松湖南高校出身

様々なことに挑戦できた1年目 デザイン思考を活かして作品で表現したい

SUACに入学して1年目、自分が興味のある分野以外にもどんどん挑戦しています。「デザインの生み出し方」を実践的に学ぶため、SUACのある地元遊園地の周年プロジェクトに参加。地域や来園者の声に耳を傾けながら、企業との仕事の仕方やスケジュール管理、作品制作など、デザイナーとしての多くのことを学びました。充実した学びの環境や励まし合える友人たちが集まるSUACで、今後も新しいことや作品制作にチャレンジしたいと思います。

1年後期 *Weekly schedule*

時限	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1 9:00~10:30		中国語コミュニケーションⅡA	生体機能論	中国語コミュニケーションⅡB	情報社会論
2 10:40~12:10		基礎演習F（匠領域）		映像メディア論	
3 13:00~14:30	ユニバーサル／インクルーシブデザイン概論	↓			
4 14:40~16:10		基礎演習E（インタラクション領域）		マルチメディア英語Ⅱ	文化人類学
5 16:20~17:50		↓		情報処理A	デザイン思考

★ サークル（軽音楽部）　★ アルバイト（飲食店）

碧風祭での学内装飾

大学祭を彩る装飾を学生の手作りで実現！

大学祭「碧風祭」では、会場となる学内全体の装飾を友人たちと担当。装飾作品を制作するときには金属工房で溶接をしました。作りたいと思ったものを実現できる設備があるのがSUACの魅力です。

松井涼輔
MATSUI Ryosuke
デザイン学部 デザイン学科 1年
佐賀県立唐津東高校出身

クラブ 同好会

登録団体
※2024年3月時点

体育系 *Sports*

スポーツ
- ○ バドミントン部
- ○ アルティメットサークル
- ○ バレーボール部
- ○ 硬式テニス部
- ○ 女子フットサル部
- ○ バスケットボール部
- ○ サッカー同好会「S-LAB」
- ○ 軟式野球部「スパイラルズ」
- ○ 陸上サークル「SuActive」

武道
- ○ 合気道部
- ○ 弓道部

ダンス・舞踊
- ○ ダンス部「URR」
- ○ ストリートダンスサークル「闇鍋」
- ○ よさこいサークル「浜松学生連 鰻陀羅」

文化系 *Culture*

伝統文化
- ○ 書法倶楽部「彩筆會」
- ○ 着物倶楽部
- ○ 茶道部
- ○ 華道サークル「花籠」
- ○ 文芸かるたサークル

舞台芸術
- ○ 現代劇創作サークル「ecru」
- ○ 音響照明技術研究会「P@tch-code」
- ○ 演劇等活動サークル「劇院中心」
- ○ 出張お芝居!ぶちまり

デザイン・ものづくり
- ○ プロダクトデザインサークル「COCOON」
- ○ 建築研究会「ken-ken」
- ○ 陶芸部
- ○ BALLOON ARTS
- ○ アクション映像制作サークル「MEIKU A NEW ONE」
- ○ 映画制作チーム「bf」
- ○ モノづくり同好会「MONO」
- ○ アクセサリー同好会「ロザンヌ」
- ○ けものみち ／ 2D グラフィックス作品制作
- ○ 創作サークル「夢現研究会」

胸を張って「音楽が大好き」と言える私に学びたいこと・やりたいことに全力で!

幼い頃から楽器に親しみ、演奏者ではない立場で芸術を学びたいと思いSUACに入学。弦楽合奏同好会に所属して演奏活動は継続中です。自分のやりたいことを学生だけで実現するのは大変ですが、やりがいもあります。学科の講義では自分の知識や考えをアップデートする刺激的な毎日です。大学4年間はあっという間。最後の1年も全力で取り組みながら、卒業研究ではこれまでの学びを活かしてオリジナリティのあるものにしたいです。

3年後期 Weekly schedule

時限	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1 9:00~10:30					文化施設の管理と運営
2 10:40~12:10			美術史(西洋)Ⅱ	芸術文化政策の理論	
3 13:00~14:30	美術史(日本・東洋)Ⅱ			現代芸術論D	観光社会学
4 14:40~16:10			芸術文化演習ⅠB		社会心理学
5 16:20~17:50				異文化と教育	

★ アルバイト(販売)　★ サークル(弦楽合奏)　★ サークル(弦楽合奏)

弦楽合奏同好会

仲間と音楽をする喜び 自分を表現する大切な場所

まだ立ち上がって3年目の弦楽合奏同好会。活動を軌道に乗せるため、運営で難しさはありますが、仲間と協力して取り組んでいます。演奏を続けられる場所があることに幸せを感じています。

大西春乃
ONISHI Haruno
文化政策学部 芸術文化学科 3年
島根県立出雲高校出身

学内外からの刺激でモチベーションUP! 自由度の高い学びでのびのびと学ぶ

デザイン学部の魅力は柔軟なカリキュラム。自分の興味関心を深める授業選択ができます。2年次には友人や教員からの誘いで、建築設計のコンペに参加。学外の方とコミュニケーションをとることで、新たな情報や知識を得ることができました。SUACと他大学との比較や自分の足りない部分に目を向ける機会となっています。コンペを通して学習意欲が高まり、現在は独学でプログラミングを勉強して、AIを活用した建築設計を試案中です。

3年後期 Weekly schedule

時限	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1 9:00~10:30					構造力学Ⅱ
2 10:40~12:10			建築設計総合演習Ⅰ	映像メディア論	建築法規／構造計画Ⅱ
3 13:00~14:30		スポーツ科学			
4 14:40~16:10					
5 16:20~17:50				施工計画	

★ ★ ★ アルバイト(飲食店)

建築研究会「ken-ken(ケン・ケン)」

建築の魅力を伝える オープンカフェを出店

建築に興味がある学生が集まるサークル「ken-ken」に所属しています。今年の碧風祭では、サークルメンバーで木材や金属を使って家具を手作り。オープンな雰囲気のカフェを開きました。

熊田知優
KUMADA Chihiro
デザイン学部 デザイン学科 3年
福島県立安積黎明高校出身

その他の文化芸術
- ○ 放送部「SUAC Broadcast Club」
- ○ Enjoy Arts Project ／イベント・ワークショップの企画運営
- ○ 写真同好会「TaP!」
- ○ 漫画研究サークル「Black or White」
- ○ SUAC Kitchen
- ○ ゲーム部「WiTH」
- ○ ボードゲーム同好会「TGC」
- ○ ゲーム制作部「Flap Flag」
- ○ 文芸サークル「兎園会」
- ○ TCG サークル「suTca」／トレーディングカード
- ○ コスプレ同好会「Metamorphose」
- ○ ボカロ同好会「connect」

音楽
- ○ 吹奏楽部「SUAC Wind Ensemble」
- ○ 軽音楽部
- ○ ゴスペルサークル「ごす」
- ○ 弦楽合奏同好会
- ○ ジャズ研究会「BREATH」
- ○ エレクトーンサークル「Tutti」

ボランティア(国際・地域)
- ○ CSN 浜松／子どもの学習支援、イベント運営
- ○ LA-VoC(ラボック)／中山間地域の活動
- ○ Habitat for humanity Alicia／国内外の住居問題ボランティア
- ○ りとるあーす／フェアトレード推進
- ○ 英会話サークル「ESS」
- ○ 観光サークル「cook+s」
- ○ どうまいら!浜松! ／浜松特産品のPR活動、地産地消の推進

その他
- ○ 教職スクランブル
- ○ 謎解き研究会【DetEQtive】
- ○ SUAC Disney Club Believe

学生の自治組織

- ○ 学友会本部
- ○ 碧風祭運営委員会
- ○ 生協学生委員会「GI」

※学生の学年表記は取材時(2023年度)のものです。

キャンパスガイド

1 出会いの広場

2階にありながら人工地盤により緑化された、学生と市民の憩いの広場。各施設とつながる、大学の中心的スペースです。

2 創造の丘

浜松市内が一望できる屋上庭園は、まさに都会のオアシス。山の尾根、波のうねりを思わせる緩やかな起伏が印象的です。

すべての人にやさしい、アクセシブルな自由空間

ユニバーサルデザイン

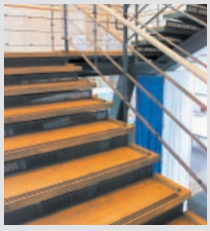
ユニバーサルデザインとは、年齢や性別、能力の如何にかかわらず、すべての人が利用できるようにモノや空間をデザインするという考え方です。あらかじめ多様な人々の利用を想定し、アクセスを可能にしておく配慮が必要とされています。本学では、機能性と審美性を備えた、さりげなく、美しく、できる限り多くの人のアクセスを可能にするユニバーサルデザインを目指しています。

多機能型トイレとサイン

トイレの種類は、男性、女性、多目的の3種類。各々の違いを識別できるよう、入口には手が届く高さに点字を設置しています。

音声でも誘導する案内サイン

案内サインは、大学カラーのブルーを基調に、日本語と英語で表示しています。点字案内板も学内11カ所に設置され、音による誘導も行っています。

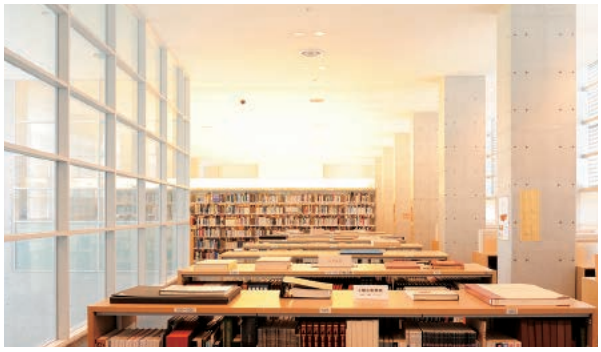


ゆったりとした廊下や階段

廊下も階段も幅が広く、ゆったりとすれ違えるよう設計されています。廊下は無駄な凹凸がなく、階段は踏み面を広くとり、勾配も緩やかです。

キャンパスには、学びに向き合う感性と実力が高まる魅力あふれる環境が整っています。

3 図書館·情報センター



図書館·情報センターは、大学の北西に位置し、約26万冊の図書、約1,700タイトルの新聞·雑誌、約7,600点の視聴覚資料（CDやDVD等）を所蔵しています。館内には、大型の個人用机（キャレル）をはじめとする約240の閲覧席、グループワークやプレゼンテーションに利用できるメディアステーション等のスペースのほか、学生用貸出パソコンを設置。学内無線LAN（SUAC Wi-Fi）も利用可能です。センターWebサイトでは、所蔵資料をはじめ学術論文などをダイレクトに検索できる機能を備え、様々な学術情報の情報源にアクセスできます。また、学外から資料を取り寄せるサービスやレファレンスサービスなどで、学修や調査研究に必要な資料の入手を支援しています。
「図書館·情報センター」の名の通り、学生の主体的な学びを支える「知の拠点」として、図書館の所蔵する資料と、ネットワーク上の情報をもとに、多種多様な学修·調査研究に活用できる環境が整備されています。

メディアステーション

2022年春にリニューアル。タブレットやPCを利用したグループワークやプレゼンテーションなど、多様な学びに対応できるエリアに生まれ変わりました。ガラス面には、デザイナーのイラストを年表風にデザイン。12台のノートパソコンや周辺機器を備え、ル·コルビュジェやルートヴィヒ·ミース·ファン·デル·ローエなど著名なデザイナーの名作家具を集め、実際に見たり触ったり、利用しながら文化やデザインを学ぶ空間です。

図書館·情報センター
Webサイト
https://www.suac.ac.jp/library/

4 大講義室

いわゆる階段教室の講義室で、219名を収容可能。最新のAV機器を完備し、プレゼンテーションの場としても適しています。

5 講堂

603名を収容できる講堂は、ブラウン系色で統一され、落ち着いた雰囲気を醸し出しています。大学の行事、イベントやセミナー、学生の発表の場として利用されています。

6 研究棟

教員研究室が集合する12階建ての建物。研究室訪問にはアポイントメントが必要です。

7 学生ラウンジ

8 購買

9 学生食堂

※学生食堂と購買は静岡文化芸術大学生協が運営しています。

学費・学生支援制度

各種制度により学生の向上心を受けとめ、様々な相談に応じることができる体制が整っています。

入学生に適用する学納金 （2024年度）

区　分	県内の入学者	県外の入学者	摘　要
入学金	141,000円	366,600円	入学時
授業料（年額）	535,800円		

※2025年度の学納金については変更になる場合があります。

学費等の支援制度

修学支援新制度

本学は修学支援新制度の対象機関であり、国が定める要件を満たす学生は、授業料の減免と奨学金の給付をセットで受けることができます。

日本学生支援機構貸与型奨学金

無利子の第一種、有利子の第二種奨学金、さらに入学時特別増額貸与奨学金を取り扱っており、機構が定める要件を満たす学生は、本学の窓口を通じて利用することができます。

長期履修制度

障害等により、履修できる科目数が制限され、４年間での卒業が困難であると認められた学生について、最長で ６年間まで ４年間分の授業料にて在学できる制度があります。

授業料の分割納入制度

授業料を一括して納入することが困難な場合には、申請により分割して納入する制度があります。

民間団体・自治体の奨学金制度

在学中に応募できる奨学金制度を随時ご案内しています。奨学金制度の中には本学の学生が優先的に採用を受けることができる制度が複数用意されています。

留学支援制度

海外に留学する学生に対する独自の支援制度を用意し、留学の形態に応じた支援を行っています。

学生相談

夢や希望にあふれて大学に入学する一方、新たな生活に不安や戸惑いを感じることもあるかもしれません。
本学では、学科・研究科ごとに学生委員（専任教員）を置いているほか、保健室や学生相談室、修学サポート室を設け、
様々な相談に応じる体制を整えています。

オフィスアワー
（教員研究室での個別相談）

学生と教員との緊密なコミュニケーションを図るために、本学ではオフィスアワーを設けています。教室では十分に尋ねられなかった事項や専門分野の説明などを聞くことができます。

保健室

病気やけが等の応急処置や心身の健康に関する相談に応じます。保健室で対応できない場合は、学校医または専門の医療機関を紹介しますので、お気軽にご相談ください。

学生相談室

心の不安、つまずき等様々な相談に、専門のカウンセラーが応じます。直接相談しにくい内容でも、メールにより相談を受けられるので安心です。

修学サポート室

コミュニケーションが苦手、グループワークがうまくできない、身体に障がいがあるなど大学で勉強する上で困っている学生を個別にサポートします。

カリキュラム一覧

文化政策学部
Faculty of Cultural Policy and Management

デザイン学部
Faculty of Design

091 文化政策学部カリキュラム一覧
093 デザイン学部カリキュラム一覧
095 卒業要件単位数一覧
096 全学科目一覧

公式Webサイトでは
さらに詳しいカリキュラム内容をご案内しています。

大学案内よりさらに詳しいカリキュラムに関わるご案内は、公式Webサイト（右記2次元コード）の「カリキュラム」内の「学部カリキュラム」をご覧ください。

文化政策学部

2025年度 カリキュラム一覧

人間的素養・基礎力の養成

全学科目

キャリア形成

導入
- 文化芸術体験演習
- 学芸の基礎

情報・データサイエンス
- ICTスキル基礎
- デジタル表現基礎
- データサイエンス入門

キャリアデザイン
- キャリアデザイン概論
- キャリアデザイン講座
- キャリアデザイン演習

実践演習
- 企画立案演習
- 地域連携演習A・B
- 自主課題演習

教養
- 文学
- 哲学
- 心理学
- 宗教学
- 歴史学
- 文化人類学
- 日本文化論
- 静岡学
- 文明と観光
- ユーラシア文明論
- 法と社会
- 経済学基礎
- 現代の国際社会
- 社会学概論
- 社会調査論
- 情報社会論
- 人権論
- 数学概論
- 科学技術論
- サステナブルデザイン
- 健康科学
- Japanese Cultural Studies
- 音楽と社会
- 芸術と社会
- 色彩・形態論
- 映像メディア論
- 空間デザイン
- デザイン史
- 青年心理学

必修外国語

英語
- 英語中級IA・IB
- 英語中級IIA・IIB
- 英語上級IA・IB
- 英語上級IIA・IIB
- マルチメディア英語I・II
- ビジネス英語I・II

中国語
- 中国語初級IA・IB
- 中国語初級IIA・IIB
- 中国語中級IA・IB
- 中国語中級IIA・IIB
- マルチメディア中国語

フランス語
- フランス語初級IA・IB
- フランス語初級IIA・IIB

ポルトガル語
- ポルトガル語初級IA・IB
- ポルトガル語初級IIA・IIB

韓国語
- 韓国語初級IA・IB
- 韓国語初級IIA・IIB

インドネシア語
- インドネシア語初級IA・IB
- インドネシア語初級IIA・IIB

イタリア語
- イタリア語初級I・II
- イタリア語中級I・II

ドイツ語
- ドイツ語初級IA・IB
- ドイツ語初級IIA・IIB

スポーツ活動
- スポーツ活動A・B

総合
- 特別共同授業A～H

専門領域へのアプローチ

学部科目

文化・芸術
- 音楽文化論
- 演劇文化論
- 視覚芸術論
- 社会思想史
- 市民社会論
- 社会心理学
- 異文化と教育
- 劇場芸術論
- デザイン概論
- 現代デザイン論
- 生体機能論
- 世界建築史

政策・マネジメント
- 文化政策概論
- 経営学
- 非営利セクターの経営
- 地方行政論
- 会計学
- 都市経営論
- アートマネジメント概論
- NPO・NGO論
- 憲法
- 文化政策と法
- 生涯学習と文化
- ジェンダー論
- 多文化共生論
- ユニバーサル／インクルーシブデザイン概論

情報・リテラシー
- 統計学
- 社会科学の方法
- フィールドワークの手法
- プレゼンテーション技法
- ディベート技法
- ファシリテーション技法
- 情報リテラシー論
- 図書館概論
- メディア産業論
- グラフィックデザイン概論

観光
- 観光学概論
- 観光と社会
- グローバル観光論
- 観光と地理
- 観光ビジネス論
- テキスタイル概論
- 日本伝統建築

学科基礎

国際文化学科

学科基礎
- 国際文化概論
- 文章表現技法
- 国際文化基礎論
- グローバル・キャリア・デザイン概論
- ナショナリズム論
- 国際関係論
- 比較文化論

専門外国語
- 英語表現法
- 応用英語 観光英語
- 応用英語 プレゼンテーション英語
- 中国語上級I・II
- フランス語中級IA・IB
- フランス語中級IIA・IIB
- フランス語上級
- ポルトガル語中級IA・IB
- ポルトガル語中級IIA・IIB
- ポルトガル語上級
- 韓国語中級IA・IB
- 韓国語中級IIA・IIB
- 応用英語 通訳
- 応用英語 翻訳
- イタリア語上級

文化政策学科

学科必修
- リサーチ&プランニング基礎
- リサーチ&プランニング応用
- リサーチ&プランニング実習
- 社会学
- 経済学

芸術文化学科

学科基礎
- 芸術文化入門
- 芸術表現A
- 芸術表現B
- 芸術文化基礎A～D
- 芸術文化特講

▶▶▶ 3学科横断型プログラムの「文明観光学コース」及び「オプショナル・スタディーズ」の詳細はp043

専門能力の確立

専門科目

文明観光学コース 演習（ゼミ）・卒業論文

卒業研究

演習（ゼミ）・卒業論文

日本・東アジア	●日本文化史 ●日本文学史 ●現代日本語表現 ●日本文学A・B ●漢文学	●日本史学A・B ●日本語語彙研究 ●日本文学作品研究 ●古文書の調査と読解 ●美術史(日本・東洋)I	●東南アジアの文化と社会A・B ●中国の文化と社会 ●韓国社会論 ●中国古典学 ●アジアビジネス論	●東南アジアの歴史 ●韓国文化史 ●現代の東南アジア
地中海・西欧・北米	●近現代の中東A・B ●イタリア文化史 ●フランス文化論 ●ルネサンス文化史 ●古代ギリシア・ローマ文化と社会	●中東現代史 ●英米文学史 ●西欧・北米文化論 ●英語文学概論A・B	●イギリス文化論 ●西洋史学A・B ●英語学概論I・II ●音楽史I ●ドイツの思想と社会	●美術史(西洋)I・II ●英語文化入門 ●地中海地域文化論
多文化共生	●多文化とエスニシティ ●イスラーム概論 ●日英語比較研究 ●文化交流論 ●国際労働力移動論	●日本語音声学 ●日本語文法I・II ●日本語教授法I・II ●国際協力論 ●国際機構論	●持続可能な社会 ●フェアトレード論 ●日本語教育特論 ●日本語教育の実践と応用 ●Global Studies:Culture and Society A・B	●Global Studies: Global Issues ●国際開発論

演習（ゼミ）・卒業論文・プロジェクト

政策	●政治学 ●法律学 ●行政学 ●行政法	●地域計画論 ●地域情報サービス論 ●地域社会論 ●地方財政論	●創造都市論 ●経済政策論 ●環境政策論 ●地域福祉論	●地域観光論 ●都市デザイン論
経営	●経営戦略論 ●マーケティング論 ●地域ビジネス論 ●社会起業論	●経営財務論 ●産業組織論 ●日本経済論 ●グローバルビジネス論	●金融経済論 ●地域産業論 ●産業遺産と産業史 ●デザインとマーケティング	
情報	●広報・広告論 ●マスコミュニケーション論 ●臨床社会心理学 ●メディア文化論	●組織心理学 ●地域情報論 ●社会統計分析 ●質的調査法	●学術情報論 ●地理学 ●地誌学 ●社会理論	●情報法学 ●公共デザイン戦略 ●外国語文献研究

演習（ゼミ）・卒業論文

政策とマネジメント	●芸術文化政策の理論 ●アートマネジメントA～C ●芸術文化政策の国際比較	●文化施設の管理と運営 ●文化財保護政策 ●現代社会と芸術文化	
文化と芸術	●文化と芸術A～D ●現代芸術論A～C ●芸術特論A～D	●音楽史I・II ●演劇史I・II ●美術史(西洋)I・II	●美術史(日本・東洋)I・II ●鑑賞と批評I・II
芸術運営の実践	●展示プロデュース論 ●保存と修復 ●舞台運営論	●舞台技術論 ●劇場プロデュース論 ●デザイン思考	●空間演出総合計画

※2025年度カリキュラムの科目の名称と構成は、一部変更される場合があります。

デザイン学部

2025年度 カリキュラム一覧

人間的素養・基礎力の養成

全学科目

キャリア形成

導入
- 文化芸術体験演習
- 学芸の基礎

情報・データサイエンス
- ICTスキル基礎
- デジタル表現基礎
- データサイエンス入門

キャリアデザイン
- キャリアデザイン概論
- キャリアデザイン講座
- キャリアデザイン演習

実践演習
- 企画立案演習
- 地域連携演習A・B
- 自主課題演習

教養

- 文学
- 哲学
- 心理学
- 宗教学
- 歴史学
- 文化人類学
- 日本文化論
- 静岡学
- 文明と観光
- ユーラシア文明論
- 法と社会
- 経済学基礎
- 現代の国際社会
- 社会学概論
- 社会調査論
- 情報社会論
- 人権論
- 数学概論
- 科学技術論
- サステナブルデザイン
- 健康科学
- Japanese Cultural Studies
- 音楽と社会
- 芸術と社会
- 色彩・形態論
- 映像メディア論
- 空間デザイン
- デザイン史
- 青年心理学

必修外国語

英語
- 英語中級IA・IB
- 英語中級IIA・IIB
- 英語上級IA・IB
- 英語上級IIA・IIB
- マルチメディア英語I・II
- ビジネス英語I・II

中国語
- 中国語初級IA・IB
- 中国語初級IIA・IIB
- 中国語中級IA・IB
- 中国語中級IIA・IIB
- マルチメディア中国語

フランス語
- フランス語初級IA・IB
- フランス語初級IIA・IIB

ポルトガル語
- ポルトガル語初級IA・IB
- ポルトガル語初級IIA・IIB

韓国語
- 韓国語初級IA・IB
- 韓国語初級IIA・IIB

インドネシア語
- インドネシア語初級IA・IB
- インドネシア語初級IIA・IIB

イタリア語
- イタリア語初級I・II
- イタリア語中級I・II

ドイツ語
- ドイツ語初級IA・IB
- ドイツ語初級IIA・IIB

スポーツ活動

- スポーツ活動A・B

総合

- 特別共同授業A～H

専門領域へのアプローチ

学部科目

デザイン必修

- デザイン概論
- 基礎造形（平面）
- 基礎造形（立体）

デザイン選択

基礎理論
- プロダクトデザイン概論
- 匠造形概論
- グラフィックデザイン概論
- 映像構成論
- 建築デザイン論
- ユニバーサル/インクルーシブデザイン概論

基礎演習
- 視覚表現演習
- 写真撮影技法
- プログラミング基礎演習
- 素材基礎演習
- 専門横断演習

総合演習

卒業研究

専門能力の確立

学部科目

専門理論

- 生体機能論
- デザイン思考
- 建築構造
- 現代デザイン論
- 人間工学
- UXデザイン論
- くらしと創造
- 色彩計画論
- サウンドデザイン
- ゲーム・遊びのデザイン
- 建築空間計画
- インテリアデザイン論
- 空間演出計画Ⅰ
- 構造力学Ⅰ
- 日本伝統建築
- メディア産業論
- フィッティングデザイン
- ユーザーインターフェース
- 地域産業デザイン
- インダストリアルグラフィックス
- 移動のデザイン
- デザインとマーケティング
- テキスタイル概論
- 木のデザイン
- 都市デザイン論
- 空間演出計画Ⅱ
- 構造力学Ⅱ
- 環境計画
- 世界建築史
- インタラクションデザイン
- ファニチャーデザイン
- コミュニケーションデザイン論
- サウンドメディア論
- エンターテイメントデザイン
- 地域計画論
- ランドスケープ計画
- 空間演出総合計画
- 建築材料
- 設備設計
- デザインマネジメント
- プロダクトデザインプロセス
- 装飾文様論
- 絵本論
- グラフィックナラティブ
- 建築法規
- 構造計画
- 建築生産

専門演習

- 図学・製図
- 建築図学・製図
- 製品CAD
- ウェブデザイン
- 建築基礎演習
- 建築CAD
- ユニバーサルデザイン演習Ⅰ
- プロダクトデザイン演習Ⅰ
- CAD表現技法
- 匠造形基礎演習
- 素材加工演習
- グラフィックデザイン演習Ⅰ
- アニメーション基礎
- 映像基礎演習
- 3DCG演習Ⅰ
- 建築設計演習Ⅰ
- 空間表現技法
- 空間演出演習Ⅰ
- ユニバーサルデザイン演習Ⅱ
- プロダクトデザイン演習Ⅱ
- パッケージデザイン演習
- 匠造形演習
- グラフィックデザイン演習Ⅱ
- 絵本・イラストレーション演習
- 映像技法演習
- サウンドデザイン演習
- 3DCG演習Ⅱ
- デジタルコンテンツ演習
- 建築設計演習Ⅱ
- 空間演出演習Ⅱ
- 木造建築演習
- デザイン英語
- プロダクトデザイン演習Ⅲ
- デザイン・アート探究
- グラフィックデザイン演習Ⅲ
- UI・UXデザイン演習
- デジタルプレゼンテーション
- 映像表現演習
- 建築設計演習Ⅲ
- コンピューテーショナルデザイン
- インタラクティブプロダクト演習

学部間共通科目

- 視覚芸術論
- 広報・広告論
- マーケティング論
- 劇場芸術論
- 都市経営論
- 産業遺産と産業史
- 経営学
- ルネサンス文化史
- メディア文化論
- 美術史（西洋）Ⅰ・Ⅱ
- 美術史（日本・東洋）Ⅰ・Ⅱ
- 経営戦略論
- 地域ビジネス論
- 文化と芸術D

- 総合演習Ⅰ・Ⅱ　●建築総合演習Ⅰ・Ⅱ

- 卒業研究・制作

※2025年度カリキュラムの科目の名称と構成は、一部変更される場合があります。

卒業要件単位数一覧

2025年度 カリキュラム

文化政策学部 Faculty of Cultural Policy and Management

学科名	区　分	卒業に必要な単位数	合　計
国際文化学科 文化政策学科 芸術文化学科	全学科目	34単位以上 なお、次の(1)～(3)の28単位を含む (1)【キャリア形成】区分から8単位以上(必修科目「導入」3単位を含む) (2)【教養】区分から12単位以上 (3)【必修外国語】区分から英語または中国語で8単位以上、もしくは英語4単位以上とその他の言語から4単位以上で合計8単位以上	128単位以上
国際文化学科 芸術文化学科	学部科目	32単位以上 なお(1)～(3)の18単位を含む (1)【文化・芸術】区分から6単位以上 (2)【政策・マネジメント】区分から6単位以上 (3)【情報・リテラシー】区分から6単位以上	
国際文化学科	学科科目	62単位以上 なお、次の(1)～(2)の8単位を含む (1)必修科目4単位 (2)【卒業研究】区分から4単位以上	
文化政策学科	学科科目	62単位以上 なお、次の(1)～(4)の56単位を含む (1)【学科必修】区分から10単位 (2)【政策】及び【経営】区分から合わせて28単位以上 (3)【情報】区分から14単位以上 (4)【卒業研究】区分から4単位以上	
芸術文化学科	学科科目	62単位以上 次の(1)～(5)の34単位を含む (1)【学科基礎】区分から10単位以上 (2)【政策とマネジメント】区分から8単位以上 (3)【文化と芸術】区分から12単位以上 (4)【芸術運営の実践】区分から2単位以上 (5)【卒業研究】区分から2単位以上	

デザイン学部 Faculty of Design

学科名	区　分	卒業に必要な単位数	合　計
デザイン学科	全学科目	30単位以上 なお、次の(1)～(3)の28単位を含む (1)【キャリア形成】区分から8単位以上 (必修科目「導入」3単位を含む) (2)【教養】区分から12単位以上 (3)【必修外国語】区分から同一言語で4単位以上	124単位以上
デザイン学科	学部科目	94単位以上 なお、次の(1)～(6)の86単位を含む (1)【デザイン必修】区分から6単位 (2)【デザイン選択(基礎理論)】区分から4単位以上 (3)【デザイン選択(基礎演習)】区分から4単位以上 (4)【デザイン選択(専門理論／専門演習)】区分及び【デザイン選択(学部間共通科目)】区分から60単位以上 (5)【総合演習】区分から8単位 (6)【卒業研究・制作】区分から4単位	

※2025年度カリキュラムの卒業要件の単位数等は、一部変更される場合があります。

全学科目

学習領域		科目名	卒業要件
キャリア形成	導入	●文化芸術体験演習　●学芸の基礎	3単位
	情報・データサイエンス	●ICTスキル基礎　●デジタル表現基礎　●データサイエンス入門	1単位以上
	キャリアデザイン	●キャリアデザイン概論　●キャリアデザイン講座　●キャリアデザイン演習	1単位以上
	実践演習	●企画立案演習　●地域連携演習A　●地域連携演習B　●自主課題演習	1単位以上
教養		●文学　●哲学　●心理学　●宗教学　●歴史学　●文化人類学　●日本文化論　●静岡学 ●文明と観光　●ユーラシア文明論　●法と社会　●経済学基礎　●現代の国際社会　●社会学概論 ●社会調査論　●情報社会論　●人権論　●数学概論　●科学技術論　●サステナブルデザイン ●健康科学　●Japanese Cultural Studies　●音楽と社会　●芸術と社会　●色彩・形態論 ●映像メディア論　●空間デザイン　●デザイン史　●青年心理学	12単位以上
必修外国語		**英語** ●英語中級IA・IB　●英語上級IA・IB　●マルチメディア英語I・II ●英語中級IIA・IIB　●英語上級IIA・IIB　●ビジネス英語I・II **中国語** ●中国語初級IA・IB　●中国語中級IA・IB　●マルチメディア中国語 ●中国語初級IIA・IIB　●中国語中級IIA・IIB **フランス語** ●フランス語初級IA・IB　●フランス語初級IIA・IIB **ポルトガル語** ●ポルトガル語初級IA・IB　●ポルトガル語初級IIA・IIB **韓国語** ●韓国語初級IA・IB　●韓国語初級IIA・IIB **インドネシア語** ●インドネシア語初級IA・IB　●インドネシア語初級IIA・IIB **イタリア語** ●イタリア語初級I・II　●イタリア語中級I・II **ドイツ語** ●ドイツ語初級IA・IB　●ドイツ語初級IIA・IIB	文化政策学部　8単位以上※ デザイン学部　同一言語で4単位以上
スポーツ活動		●スポーツ活動A　●スポーツ活動B	
総合		●特別共同授業A〜H	

※履修方法の詳細はp095をご覧ください。

入試情報

2025年度入学者選抜 概要　●：実施

学　部	学　科	一般選抜		学校推薦型選抜		特別選抜
		前期日程	後期日程	公募制	英語重点型 公募制	社会人 帰国生徒 外国人留学生
文化政策学部	国際文化学科	●	●	●	●	●
	文化政策学科	●	●	●	—	●
	芸術文化学科	●	●	●	—	●
デザイン学部	デザイン学科	●	●	●	—	●

※入試日程、試験科目の詳細は、2025年度入学者選抜要項、学生募集要項等で確認してください。
「一般選抜（前期日程・後期日程）」は、独立行政法人大学入試センターが2025年1月に実施する「大学入学共通テスト」を受験する必要があります。
「外国人留学生入試」は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験する必要があります。

2025年度学生募集要項について　学生募集要項は、以下の通り配布・配信予定です。

名　　称	公表時期（予定）	配布方法等
学生募集要項（一般選抜）	2024年10月下旬	本学WebページからPDFファイルをダウンロード（※）
学生募集要項（学校推薦型選抜）	2024年9月下旬	
特別選抜（社会人・帰国生徒・外国人留学生入試）	2024年9月下旬	
大学院募集要項	2024年5月下旬	

※このうち、一般選抜および学校推薦型選抜については、インターネットによる出願になります。

2024年度入学者選抜　実施結果〈一般選抜〉

学　部	学　科	区　分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
文化政策学部	国際文化学科	前　期	65	151	141	69
		後　期	10	139	33	16
	文化政策学科	前　期	40	147	134	48
		後　期	5	95	34	6
	芸術文化学科	前　期	36	95	84	44
		後　期	5	76	32	5
デザイン学部	デザイン学科	前　期	75 Ⅰ数学 40 Ⅱ実技 35	338 Ⅰ数学 214 Ⅱ実技 124	320 Ⅰ数学 199 Ⅱ実技 121	88 Ⅰ数学 45 Ⅱ実技 43
		後　期	10	192	111	15

2024年度入学者選抜　実施結果〈学校推薦型選抜〉

学部	学科・区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
文化政策学部	国際文化学科 国際文化学科（英語重点型）	18 7	53 14	53 14	18 7
	文化政策学科	10	44	44	10
	芸術文化学科	14	52	52	15
デザイン学部	デザイン学科	25	119	119	25

オープンキャンパス情報

OPEN CAMPUS 2024

開催日（予定）

8/3(土)　**8/4(日)**

実施方法・内容等の詳細は、
公式Webサイトをご覧ください。

◆ お問い合わせは下記まで

静岡文化芸術大学 入試室　〒430-8533 静岡県浜松市中央区中央 2-1-1

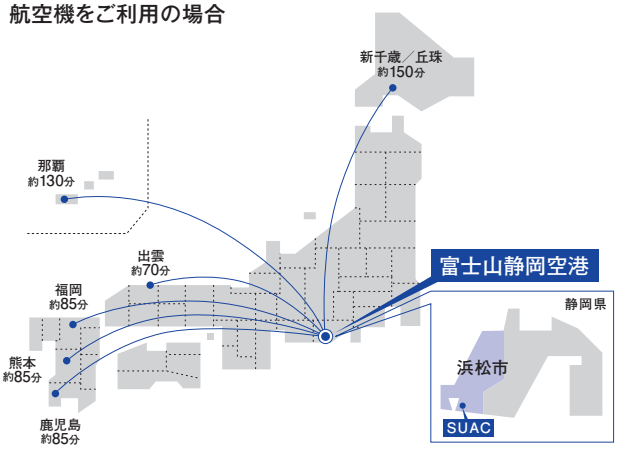
Tel.053-457-6401　**Fax.053-457-6123**

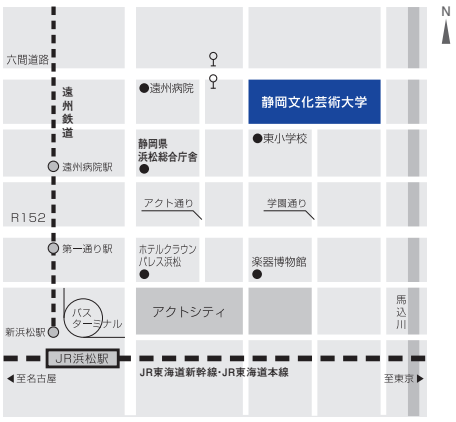
Webサイトアドレス　**https://www.suac.ac.jp/**

2次元コード読み取り
対応型端末をお持ち
の方はこちら

アクセス

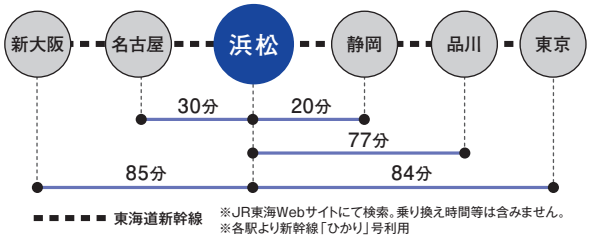
航空機をご利用の場合





◎JR浜松駅より徒歩15分　◎遠州鉄道「遠州病院駅」下車、徒歩8分

新幹線をご利用の場合



※JR東海Webサイトにて検索。乗り換え時間等は含みません。
※各駅より新幹線「ひかり」号利用

浜松駅からバスをご利用の場合

遠鉄バス（約10～15分間隔で運行しています）

浜松駅北口バスターミナル10番のりば→バス停「文化芸術大学」下車

※浜松駅北口バスターミナル10番のりばから出ているバスは、「文化芸術大学」バス停を通ります。ただし、系統番号2番を除きます。

※本学へお越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。

静岡文化芸術大学 2025 大学案内　●発行日／2024年6月　●発行／公立大学法人静岡文化芸術大学　〒430-8533 静岡県浜松市中央区中央2-1-1　●企画・制作／株式会社ビーエーシー

Webへのご案内

公式サイトでSUACの最新情報をチェック。
https://www.suac.ac.jp/

2次元コードをスマホ・携帯電話で読み込むと
Webサイトをご覧いただけます。

各学部の学びや学生生活をはじめ、入学試験や最新イベント情報、
オープンキャンパスなど受験生に役立つ情報を満載しています。
本誌とあわせてぜひご覧ください。

公式SNSアカウント

「静岡文化芸術大学公式 Xアカウント」では、
大学からのお知らせやイベント情報を随時お届けしています。

本学公式
X アカウント
@suac_official

「静岡文化芸術大学公式YouTubeチャンネル」では、
大学の学びや学生の活動を紹介する動画を配信しています。

本学入試室公式
YouTubeアカウント
@suac2000

「静岡文化芸術大学入試室LINE公式アカウント」では、
本学の入試情報や進学説明会情報、学生生活の様子などを発信しています。

本学入試室公式
LINEアカウント
@ycp2163i

出会う
感じる
創造する

SUAC

公立大学法人
静岡文化芸術大学

SHIZUOKA UNIVERSITY OF ART AND CULTURE
Faculty of Cultural Policy and Management / Faculty of Design